

平成 3 0 年度 病院構造改革推進方策実施状況の自己点検・評価

令和元年 9 月
病院局

平成30年度 病院構造改革推進方策実施計画の自己点検・評価(案) 目次

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化	
(1) がん医療	1
(2) 循環器疾患医療(心疾患・脳血管疾患)	6
(3) 糖尿病医療	10
(4) 救急・災害医療	12
(5) 成育医療等(周産期医療・小児救急医療)	15
(6) 精神医療	17
(7) 感染症医療	20
(8) リハビリテーション医療	21
(9) その他の政策医療	23
項目2 診療機能の効率化(再編・ネットワーク化等)	26
項目3 診療体制の充実	29
項目4 医療の信頼性の向上	30
項目5 ICT化の推進	31
項目6 県立病院の建替整備等	32
項目7 臨床研究等の充実	34

II 安心してかかる県立病院の実現

項目1 より安全な病院の実現	
(1) 医療安全対策等の推進	35
(2) 医事紛争への適切な対応	36
項目2 患者の立場に立った医療の推進	
(1) 患者サービスの向上	37
(2) 患者等とのコミュニケーションの推進	39
(3) 県民等への情報発信の推進	40
(4) インフォームド・コンセントの充実等	41
項目3 地域医療連携の推進	42

III 自立した経営の確保

項目1 経営目標の設定と評価の明確化	46
項目2 職員の意識の高揚	49
項目3 収入の確保	
(1) 患者の確保等	50
(2) 診療単価の向上等	53
(3) その他の収入の確保	55
項目4 費用の抑制	
(1) 給与費比率の改善	57
(2) 材料費比率の改善	58
(3) 経費比率の改善	60

IV 安定した医療提供体制の確立

項目1 経営形態の検討	61
項目2 組織・職制等の見直し	62
項目3 適正な人員配置	63
項目4 医師確保対策の推進	
(1) 医師養成システムの構築等	64
(2) 魅力ある環境の整備	66
項目5 看護師確保対策の推進	67
項目6 給与構造改革の取り組み	68
項目7 組織活性化策の推進	
(1) 優秀な人材の確保・育成	69
(2) 働きやすい職場づくり	70

V 各県立病院における経営改善の取組方策

項目1 収益改善・確保対策	
項目2 費用削減・抑制対策	
項目3 経営指標に係る数値目標	
項目4 収支計画	

(評価の考え方)

【目標】

評価	考え方
○ (概ね) 計画どおり実施	・計画通りに取組みを実施した項目 (取組項目の達成が8割以上)
△ 計画をやや下回った	・計画した取組みが一部遅滞、一部未実施の項目 (取組項目の達成が6割以上8割未満)
▲ 計画を下回った	・計画した取組みが未実施の項目 (取組項目の達成が6割未満)

【取組項目】

評価	考え方
◎ 計画を上回る実施	・計画以上の取組みを実施 (目標を2割以上上回る達成)
○ (概ね) 計画どおり実施	・計画通りに取組みを実施した項目 (取組項目の達成が8割以上2割超過未満)
△ 計画をやや下回った	・計画した取組みが一部遅滞、一部未実施の項目 (取組項目の達成が6割以上8割未満)
▲ 計画を下回った	・計画した取組みが未実施の項目 (取組項目の達成が6割未満)

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (1) がん医療

○ 基本方向
がんは、本県における死亡原因の第1位（全死因の30.7%）であり、「兵庫県保健医療計画」及び「兵庫県がん対策推進計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた高度専門医療を提供する。

○ 取組内容

1 病院の役割

(1) がんセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院として高度で専門的な集学的治療を実施するほか、地域がん診療連携拠点病院間の連携強化、拠点病院への研修、診療支援等を行う。また、診断技術、治療技術の向上に寄与するため、バイオバンクの整備などがん研究を充実するとともに、高齢化に伴う合併症等に対応するため、総合診療機能の強化に取り組む。

(2) がんセンター、淡路医療センター、柏原病院は、地域がん診療連携拠点病院として、高度で専門的な集学的治療を実施するほか、地域の医療機関との共同研修を行うとともに、患者や家族に対する支援を充実する。

(3) 尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センターは、地域の医療連携体制における役割を踏まえ、集学的治療を実施する。

(4) 粒子線医療センターは、高度ながん治療を実施するほか、他の粒子線治療施設で対応困難な「肝臓・膵臓・頭頸部」がん患者への取り組みを強化する。

2 診療機能の高度化

(1) 内視鏡手術用支援機器(ダヴィンチ)、IMRT対応のリニアック装置等高度医療機器を導入し、最新治療を提供する。

(2) 専門病棟を有する加古川医療センターにおいて、緩和医療の提供を強化するとともに、がんセンター等がん治療を行う県立病院における緩和ケアセンター等の充実を図る。

(3) 粒子線医療センターの附属施設として、神戸陽子線センターの整備を推進し、小児がん患者に対してより治療効果の高い陽子線治療を提供するとともに、増加が見込まれる成人患者へも最新治療を提供する。

3 地域連携の推進
がんセンターを中心に、県統一のがん地域連携クリニカルパスなどを活用した地域連携を推進する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																							
<p>〔目標〕 国及び県指定がん診療連携拠点病院は、研修、相談、情報提供等拠点病院の役割を着実に果たすとともに、県下統一の地域連携クリニカルパスの整備・推進を図るほか、がんの集学的治療にかかる診療機能の向上に努める。 また、拠点病院以外のがんの専門医療を提供する病院及び診療所においては、それぞれの役割に応じたがん医療の提供を行う。</p>	<p>国及び県指定がん診療連携拠点病院は、研修会等の開催や、県下統一の地域連携クリニカルパスの整備・推進等を行うとともに、がんセンターにおいてゲノム医療・臨床試験センターを開設し、パネル検査等ゲノム医療を推進した。 また、拠点病院以外の病院及び診療所においては、それぞれの役割に応じたがん医療の提供を行った。</p>	○																																																									
<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 国指定がん診療連携拠点病院としての研修会等の開催</p> <p>(1) 都道府県がん診療拠点病院</p> <p>・ 協議会、研修会等の開催回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>開催内容</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">がん</td> <td>協議会、研修会等</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>20</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>がん診療連携協議会</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>同幹事会</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>がん登録実務初級者研修会</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	開催内容	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	がん	協議会、研修会等	21	21	20	100.0%	がん診療連携協議会	1	1	1	100.0%	同幹事会	2	2	2	100.0%	がん登録実務初級者研修会	3	3	4	100.0%	合計		27	27	27	100.0%	<p>1 国指定がん診療連携拠点病院としての研修会等の開催</p>	○ ○ ○ ○		<p>○国指定がん診療連携拠点病院の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>指定年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都道府県</td> <td>がん</td> <td>平成19年1月31日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地域</td> <td>淡路</td> <td>平成19年1月31日</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>平成20年2月8日</td> </tr> </tbody> </table> <p>○国指定小児がん拠点病院の指定状況 こども病院：平成25年2月8日指定</p> <p>○県指定がん診療連携拠点病院の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>指定年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">阪神南</td> <td>尼崎</td> <td>平成27年7月1日</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>平成22年9月3日</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川</td> <td>平成23年2月16日</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	指定年月日	都道府県	がん	平成19年1月31日	地域	淡路	平成19年1月31日	丹波	平成20年2月8日	区分	病院名	指定年月日	阪神南	尼崎	平成27年7月1日	西宮	平成22年9月3日	東播磨	加古川	平成23年2月16日
病院名	開催内容	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																						
がん	協議会、研修会等	21	21	20	100.0%																																																						
	がん診療連携協議会	1	1	1	100.0%																																																						
	同幹事会	2	2	2	100.0%																																																						
	がん登録実務初級者研修会	3	3	4	100.0%																																																						
合計		27	27	27	100.0%																																																						
区分	病院名	指定年月日																																																									
都道府県	がん	平成19年1月31日																																																									
地域	淡路	平成19年1月31日																																																									
	丹波	平成20年2月8日																																																									
区分	病院名	指定年月日																																																									
阪神南	尼崎	平成27年7月1日																																																									
	西宮	平成22年9月3日																																																									
東播磨	加古川	平成23年2月16日																																																									
<p>(2) 地域がん診療連携拠点病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">セミナー等</td> <td>がん</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>柏原</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>175.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">研修会等</td> <td>がん</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>112.5%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>125.0%</td> </tr> <tr> <td>柏原</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>26</td> <td>30</td> <td>26</td> <td>115.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	セミナー等	がん	3	3	2	100.0%	淡路	4	3	4	75.0%	柏原	4	7	5	175.0%	研修会等	がん	8	9	8	112.5%	淡路	4	5	4	125.0%	柏原	3	3	3	100.0%	合計		26	30	26	115.4%		○ △ ◎ ○ ◎ ○	<p>(淡路) セミナー等：住民意見や圏域の課題となっていることを受け、計画4回のうち1回を骨粗鬆症にテーマを変更 研修会等：緩和ケア研修を追加(柏原) がんをテーマとしたオープンセミナーの回数増(3→4)及びがん患者サロンの回数増(1→3)</p>	<p>○がんゲノム医療連携病院の指定状況 がんセンター：平成30年3月27日指定</p> <p>○がん相談支援センター(がん) (相談件数)平成30年：2,556件</p>											
区分	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																						
セミナー等	がん	3	3	2	100.0%																																																						
	淡路	4	3	4	75.0%																																																						
	柏原	4	7	5	175.0%																																																						
研修会等	がん	8	9	8	112.5%																																																						
	淡路	4	5	4	125.0%																																																						
	柏原	3	3	3	100.0%																																																						
合計		26	30	26	115.4%																																																						

実施計画		実施状況				評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）	
・リニアック新規患者数									
(単位：人)									
区分	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①				
国指定	がん	770	760	760	98.7%	○	(柏原) 老朽化による機器不良に伴う稼働数の制限 (尼崎) IMRT 照射患者数の増（前立腺がん、肺がん、術後乳がん）		
	淡路	160	130	163	81.3%	○			
	柏原	95	59	75	62.1%	△			
県指定	尼崎	513	671	516	130.8%	◎			
	西宮	180	160	152	88.9%	○			
	加古川	201	223	245	110.9%	○			
	こども	30	27	25	90.0%	○			
合計		1,949	2,030	1,936	104.2%				
(5) 外来化学療法件数									
(単位：件)									
区分	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①				
国指定	がん	13,500	14,291	12,938	105.9%	○	(柏原) 日赤病院からの乳がん患者の受入れによる増 (尼崎) がん治療患者の増（特に血液内科） (こども) 対象患者の増（主として血液・腫瘍内科）		
	淡路	2,340	2,349	2,409	100.4%	○			
	柏原	700	906	595	129.4%	◎			
県指定	尼崎	7,000	9,316	6,839	133.1%	◎			
	西宮	4,000	3,513	3,656	87.8%	○			
	加古川	2,844	2,667	3,886	93.8%	○			
	こども	160	276	160	172.5%	◎			
合計		30,544	33,318	30,483	109.1%				
(6) 地域連携パスの運用件数									
(単位：件)									
区分	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①				
国指定	がん	240	249	247	103.8%	○	(柏原) 胃がん及び大腸がんの運用件数の増 (尼崎) 乳がん及び肺がんの運用件数の増 (西宮) 大腸がんの連携運用を開始 (加古川) 担当医師の減に伴う乳がんパスの運用件数の減		
	淡路	270	264	242	97.8%	○			
	柏原	24	31	23	129.2%	◎			
県指定	尼崎	45	56	51	124.4%	◎			
	西宮	20	36	29	180.0%	◎			
	加古川	4	3	3	75.0%	△			
合計		603	639	595	106.0%				
(7) 緩和ケア研修会の開催（出席者数）									
(単位：人)									
区分	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①				
国指定	がん	24	26	25	108.3%	○	(淡路) 医師以外の医療従事者が参加 (尼崎) 例年多数の参加希望があり募集定員を拡大 (西宮) 院外医師及び医師以外の医療従事者が参加		
	淡路	15	29	15	193.3%	◎			
	柏原	25	26	26	104.0%	○			
県指定	尼崎	30	36	28	120.0%	◎			
	西宮	18	24	20	133.3%	◎			
	加古川	18	17	18	94.4%	○			
合計		130	158	132	121.5%				

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																								
<p>(8) 緩和ケア病棟（病床）延入院患者数</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="264 231 1115 402"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">病棟</td> <td>加古川</td> <td>3,431</td> <td>5,041</td> <td>5,289</td> <td>146.9%</td> </tr> <tr> <td>柏原</td> <td>7,000</td> <td>6,310</td> <td>6,881</td> <td>90.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">病床</td> <td>淡路</td> <td>120</td> <td>80</td> <td>105</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>1,000</td> <td>978</td> <td>879</td> <td>97.8%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>11,551</td> <td>12,409</td> <td>13,154</td> <td>107.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	病棟	加古川	3,431	5,041	5,289	146.9%	柏原	7,000	6,310	6,881	90.1%	病床	淡路	120	80	105	66.7%	がん	1,000	978	879	97.8%	合計		11,551	12,409	13,154	107.4%		◎	<p>(加古川) 紹介患者の積極受入れによる増 (淡路) 主科での症状コントロールができて いるため</p>							
区分	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																							
病棟	加古川	3,431	5,041	5,289	146.9%																																							
	柏原	7,000	6,310	6,881	90.1%																																							
病床	淡路	120	80	105	66.7%																																							
	がん	1,000	978	879	97.8%																																							
合計		11,551	12,409	13,154	107.4%																																							
<p>【個別取組項目】</p> <p>1 淡路医療センター 淡路圏域がんネットワーク会議の開催</p> <p>2 柏原病院</p> <p>(1) 常勤病理医の配置による術中病理組織検査の充実(拡充)</p> <p style="text-align: right;">(単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="383 671 1095 727"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柏原</td> <td>60</td> <td>78</td> <td>59</td> <td>130.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 休日乳がん検診の継続実施</p> <p>(3) 消化器がんの内視鏡的治療の実施</p> <p style="text-align: right;">(単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="387 863 1093 919"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柏原</td> <td>40</td> <td>49</td> <td>40</td> <td>122.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) I Vナースの育成</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="387 995 1093 1051"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柏原</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>90.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	柏原	60	78	59	130.0%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	柏原	40	49	40	122.5%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	柏原	10	9	10	90.0%	<p>【個別取組項目】</p> <p>1 淡路医療センター 淡路圏域がんネットワーク会議を開催</p> <p>2 柏原病院</p> <p>(2) 休日乳がん検診の継続実施 H30.10.21 実施 (29名受診)</p> <p>3 こども病院</p> <p>・神戸陽子線センターとの連携した小児陽子線治療の実施 (小児陽子線治療の実施人数)</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="383 1214 1093 1270"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども</td> <td>30</td> <td>39</td> <td>3</td> <td>130.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 がんセンター (新)ゲノム医療・臨床試験センターの開設</p>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	こども	30	39	3	130.0%	○	<p>対象症例の増</p>	<p>○こども病院の小児がん拠点病院としての取組</p> <p>平成 24 年度 ・小児がん拠点病院に指定</p> <p>平成 25 年度 ・医療福祉相談員 (MSW) の専従配置 ・長期フォローアップ外来の開設 ・緩和ケアチームの設置</p> <p>平成 26 年度 ・小児がん医療センターを設置</p> <p>平成 28 年度【移転建替】 ・緩和ケア病室の設置 ・全病棟へのプレイルーム配置 ・院内学級の整備 ・ファミリーハウスの拡充 (11 室→16 室) 等</p> <p>平成 29 年度【神戸陽子線センターを開設】 ・粒子線医療センター附属神戸陽子線センターと連携し、患者の晩期合併症等のリスクが少ない陽子線治療を提供</p>
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																								
柏原	60	78	59	130.0%																																								
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																								
柏原	40	49	40	122.5%																																								
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																								
柏原	10	9	10	90.0%																																								
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																								
こども	30	39	3	130.0%																																								
<p>4 がんセンター (新)ゲノム医療・臨床試験センターの開設</p>	<p>4 がんセンター ゲノム医療・臨床試験センターを開設、パネル検査等ゲノム医療を推進</p>	◎	<p>学会や医療機関向け講演会等で PR</p>	<p>○がんセンター</p> <p>・研究部にバイオバンク室を設置 (平成 28 年) (スタッフ 2 名配置)</p> <p>・ゲノム医療・臨床試験センターを設置 (平成 30 年)</p>																																								

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																										
<p>5 粒子線医療センター</p> <p>(1) 粒子線治療の保険適用の積極的PR及び神戸陽子線センターと連携した県内外の医療機関との連携強化による粒子線治療実患者数の確保 (粒子線治療実患者数) (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="353 327 1097 383"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粒子線</td> <td>511</td> <td>469</td> <td>501</td> <td>91.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) アンギオCTの活用等により、難治性がんである「肝臓・膵臓・頭頸部がん」患者への取り組みを強化 ・ 粒子線治療患者における「肝臓・膵臓・頭頸部がん」患者の割合 (単位：%)</p> <table border="1" data-bbox="353 513 1097 569"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粒子線</td> <td>40.2</td> <td>42.6</td> <td>39.7</td> <td>106.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	粒子線	511	469	501	91.8%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	粒子線	40.2	42.6	39.7	106.0%	<p>5 粒子線医療センター</p>	○		<p>○粒子線治療保険適用の状況</p> <table border="1" data-bbox="1568 204 2161 367"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>疾患名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陽子線のみ</td> <td>・小児腫瘍 (限局性の固形悪性腫瘍に限る)</td> </tr> <tr> <td>陽子線及び重粒子線</td> <td>・切除非適応の骨軟部腫瘍 ・頭頸部悪性腫瘍 (口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く) ・限局性及び局所進行性前立腺がん</td> </tr> </tbody> </table>	区分	疾患名	陽子線のみ	・小児腫瘍 (限局性の固形悪性腫瘍に限る)	陽子線及び重粒子線	・切除非適応の骨軟部腫瘍 ・頭頸部悪性腫瘍 (口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く) ・限局性及び局所進行性前立腺がん
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																										
粒子線	511	469	501	91.8%																										
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																										
粒子線	40.2	42.6	39.7	106.0%																										
区分	疾患名																													
陽子線のみ	・小児腫瘍 (限局性の固形悪性腫瘍に限る)																													
陽子線及び重粒子線	・切除非適応の骨軟部腫瘍 ・頭頸部悪性腫瘍 (口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く) ・限局性及び局所進行性前立腺がん																													
<p>6 神戸陽子線センター</p> <p>・ 粒子線治療の保険適用の積極的PR及び粒子線医療センターと連携した県内外の医療機関との連携強化による陽子線治療実患者数の確保 (上記「3 こども病院」の取組みと関連) (陽子線治療実患者数) (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="353 745 1097 801"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陽子線</td> <td>185</td> <td>133</td> <td>6</td> <td>71.9%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	陽子線	185	133	6	71.9%	<p>6 神戸陽子線センター</p>	△	<p>施設認知度が低く、実患者数を十分に確保できなかった</p>																	
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																										
陽子線	185	133	6	71.9%																										

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (2) 循環器疾患医療 (心疾患、脳血管疾患)

- 基本方向
心疾患は本県における死亡原因の第2位(全体の15.1%)、脳血管疾患は第4位(全体の8.7%)であり、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた高度専門医療を提供する。
- 取組内容
 - 1 病院の役割
 - (1) 姫路循環器病センターは、全県の拠点病院として心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。
 - (2) 姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編の検討に併せて循環器疾患にかかる合併症への対応強化を図る。
 - (3) 尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センター、柏原病院は、心疾患、脳血管疾患に対する急性期医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。
 - 2 診療機能の高度化
 - (1) 尼崎総合医療センター等にハイブリッド手術室システムなどの高度医療機器を導入し、最新治療を提供する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																								
【目標】 循環器疾患の急性期医療を提供する病院は、ハイブリッド手術室の活用やカテーテル治療の推進等により、安全で適切な循環器疾患医療を提供する。	循環器疾患の急性期医療を提供する病院は、ハイブリッド手術室の活用やカテーテル治療の推進等により、安全で適切な循環器疾患医療を提供した。	○																																										
【共通取組項目】 1 心疾患	【共通取組項目】 1 心疾患			○ 県保健医療計画(H30.4)に記載されている急性心筋梗塞の急性期医療の機能を有する病院 ① 専門的検査(心臓カテーテル検査、CT検査等)及び専門的診療(大動脈バルーンパンピング・緊急ペーシング等)の24時間対応 ② 経皮的冠動脈形成術(経皮的冠動脈ステント留置術を含む)を年間200症例以上実施 ③ 救急入院患者の受入実績がある ④ 心臓血管外科に常勤医を配置 ⑤ 冠動脈バイパス術を実施																																								
(1) 開心術の件数 (単位：件)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>220</td> <td>169</td> <td>189</td> <td>76.8%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>45</td> <td>34</td> <td>39</td> <td>75.6%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>200</td> <td>168</td> <td>175</td> <td>84.0%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>303</td> <td>295</td> <td>297</td> <td>97.4%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>768</td> <td>666</td> <td>700</td> <td>86.7%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	220	169	189	76.8%	淡路	45	34	39	75.6%	こども	200	168	175	84.0%	姫路	303	295	297	97.4%	合計	768	666	700	86.7%	△	(尼崎) 対象患者の減 (淡路) 人事異動など体制の変化に伴う医師数の減による手術件数の減											
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																								
尼崎	220	169	189	76.8%																																								
淡路	45	34	39	75.6%																																								
こども	200	168	175	84.0%																																								
姫路	303	295	297	97.4%																																								
合計	768	666	700	86.7%																																								
(2) 大動脈瘤ステント術の件数 (単位：件)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>70</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>114.3%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>30</td> <td>27</td> <td>35</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>142</td> <td>114</td> <td>132</td> <td>80.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>242</td> <td>221</td> <td>247</td> <td>91.3%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	70	80	80	114.3%	淡路	30	27	35	90.0%	姫路	142	114	132	80.3%	合計	242	221	247	91.3%	○																	
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																								
尼崎	70	80	80	114.3%																																								
淡路	30	27	35	90.0%																																								
姫路	142	114	132	80.3%																																								
合計	242	221	247	91.3%																																								
(3) 冠動脈形成術の件数 (単位：件)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>615</td> <td>599</td> <td>597</td> <td>97.4%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>120</td> <td>109</td> <td>109</td> <td>90.8%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>66</td> <td>45</td> <td>54</td> <td>68.2%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>210</td> <td>307</td> <td>213</td> <td>146.2%</td> </tr> <tr> <td>柏原</td> <td>100</td> <td>91</td> <td>101</td> <td>91.0%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>624</td> <td>530</td> <td>601</td> <td>84.9%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,735</td> <td>1,681</td> <td>1,675</td> <td>96.9%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	615	599	597	97.4%	西宮	120	109	109	90.8%	加古川	66	45	54	68.2%	淡路	210	307	213	146.2%	柏原	100	91	101	91.0%	姫路	624	530	601	84.9%	合計	1,735	1,681	1,675	96.9%	○	(加古川) 対象患者の増 (淡路)	
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																								
尼崎	615	599	597	97.4%																																								
西宮	120	109	109	90.8%																																								
加古川	66	45	54	68.2%																																								
淡路	210	307	213	146.2%																																								
柏原	100	91	101	91.0%																																								
姫路	624	530	601	84.9%																																								
合計	1,735	1,681	1,675	96.9%																																								
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件を全て満たしている病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神南</td> <td>尼崎(上記条件を全て満たしている) 西宮(①、③は満たすが、②が年間100以上200症例未満の病院)</td> </tr> <tr> <td>中播磨</td> <td>姫路(上記条件を全て満たしている)</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>淡路(上記条件を全て満たしている)</td> </tr> </tbody> </table>	圏域	上記条件を全て満たしている病院名	阪神南	尼崎(上記条件を全て満たしている) 西宮(①、③は満たすが、②が年間100以上200症例未満の病院)	中播磨	姫路(上記条件を全て満たしている)	淡路	淡路(上記条件を全て満たしている)																																
圏域	上記条件を全て満たしている病院名																																											
阪神南	尼崎(上記条件を全て満たしている) 西宮(①、③は満たすが、②が年間100以上200症例未満の病院)																																											
中播磨	姫路(上記条件を全て満たしている)																																											
淡路	淡路(上記条件を全て満たしている)																																											

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																																																	
<p>(4) 経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）の件数 (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="432 247 1149 363"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>40</td> <td>51</td> <td>32</td> <td>127.5%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>64</td> <td>98.1%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>94</td> <td>104</td> <td>96</td> <td>110.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 経皮的大動脈弁バルーン拡張術（BAV）の件数 (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="432 438 1149 555"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淡路</td> <td>50</td> <td>27</td> <td>46</td> <td>54.0%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>150.0%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>54</td> <td>33</td> <td>51</td> <td>61.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 急性期リハの件数 (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="432 630 1149 798"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>7,360</td> <td>7,822</td> <td>7,333</td> <td>106.3%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>1,640</td> <td>2,183</td> <td>1,699</td> <td>133.1%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>6,773</td> <td>6,439</td> <td>6,746</td> <td>95.1%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>12,161</td> <td>14,097</td> <td>12,452</td> <td>115.9%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>27,934</td> <td>30,541</td> <td>28,230</td> <td>109.3%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	40	51	32	127.5%	姫路	54	53	64	98.1%	合計	94	104	96	110.6%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	淡路	50	27	46	54.0%	姫路	4	6	5	150.0%	合計	54	33	51	61.1%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	7,360	7,822	7,333	106.3%	西宮	1,640	2,183	1,699	133.1%	淡路	6,773	6,439	6,746	95.1%	姫路	12,161	14,097	12,452	115.9%	合計	27,934	30,541	28,230	109.3%	<p>2 脳血管疾患</p>	<p>◎ ○ ▲ ◎ ○ ◎ ○ ○ ○ ◎ ○ ◎ △ ◎ ○ ◎ △ ◎ ◎ ○ ○ ◎ ◎ ◎</p>	<p>(尼崎) 対象患者の増</p> <p>(淡路) 対象患者の減 (姫路) 対象患者の増</p> <p>(西宮) 循環器内科のリハ処方の早期化に伴う早期介入件数の増</p> <p>(尼崎) 対象患者の減 (西宮) 重症頭部外傷患者の増 (淡路) 内視鏡手術症例の増に伴う対象患者の減 (姫路) 適応患者の増</p> <p>(尼崎) 対象患者の増 (淡路) 血栓回収術症例の増 (姫路) 適応患者の増</p>	<p>○ 県保健医療計画（H30.4）に記載されている脳卒中の急性期医療の機能を有する病院</p> <p>① 検査（X線検査、CT検査、MRI（拡張強調画像）、血管連続撮影）24時間実施可能（オンコール体制含む）</p> <p>② 適応がある症例では超急性期に血栓回収療法等が24時間当直体制で実施可能</p> <p>③ 血栓溶解療法（t-PA）が24時間当直体制で実施可能</p> <p>④ 外科的治療が必要な場合2時間以内に治療開始（24時間対応）</p> <p>⑤ 急性期リハビリテーションの実施</p> <table border="1" data-bbox="1626 427 2179 587"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">阪神南</td> <td>尼崎（上記条件を全て満たしている）</td> </tr> <tr> <td>西宮（上記条件を全て満たしている）</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）</td> </tr> <tr> <td>中播磨</td> <td>姫路（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>淡路（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）</td> </tr> </tbody> </table>	圏域	病院名	阪神南	尼崎（上記条件を全て満たしている）	西宮（上記条件を全て満たしている）	東播磨	加古川（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）	中播磨	姫路（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）	淡路	淡路（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）
	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																
	尼崎	40	51	32	127.5%																																																																																
	姫路	54	53	64	98.1%																																																																																
	合計	94	104	96	110.6%																																																																																
	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																
淡路	50	27	46	54.0%																																																																																	
姫路	4	6	5	150.0%																																																																																	
合計	54	33	51	61.1%																																																																																	
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																	
尼崎	7,360	7,822	7,333	106.3%																																																																																	
西宮	1,640	2,183	1,699	133.1%																																																																																	
淡路	6,773	6,439	6,746	95.1%																																																																																	
姫路	12,161	14,097	12,452	115.9%																																																																																	
合計	27,934	30,541	28,230	109.3%																																																																																	
圏域	病院名																																																																																				
阪神南	尼崎（上記条件を全て満たしている）																																																																																				
	西宮（上記条件を全て満たしている）																																																																																				
東播磨	加古川（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）																																																																																				
中播磨	姫路（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）																																																																																				
淡路	淡路（上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院）																																																																																				
<p>2 脳血管疾患</p> <p>(1) 開頭術の件数 (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="432 949 1149 1145"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>130</td> <td>86</td> <td>99</td> <td>66.2%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>50</td> <td>62</td> <td>65</td> <td>124.0%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>47</td> <td>101.9%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>35</td> <td>23</td> <td>36</td> <td>65.7%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>104</td> <td>139</td> <td>103</td> <td>133.7%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>372</td> <td>364</td> <td>350</td> <td>97.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 脳血管内手術の件数 (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="432 1220 1149 1417"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>35</td> <td>42</td> <td>37</td> <td>120.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>30</td> <td>105.0%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>17</td> <td>28</td> <td>19</td> <td>164.7%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>86</td> <td>106</td> <td>81</td> <td>123.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>166</td> <td>205</td> <td>200</td> <td>123.5%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	130	86	99	66.2%	西宮	50	62	65	124.0%	加古川	53	54	47	101.9%	淡路	35	23	36	65.7%	姫路	104	139	103	133.7%	合計	372	364	350	97.8%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	35	42	37	120.0%	西宮	20	21	30	105.0%	加古川	8	8	11	100.0%	淡路	17	28	19	164.7%	姫路	86	106	81	123.3%	合計	166	205	200	123.5%	<p>2 脳血管疾患</p>	<p>△ ◎ ○ ◎ △ ◎ ◎ ○ ○ ◎ ◎</p>	<p>(尼崎) 対象患者の減 (西宮) 重症頭部外傷患者の増 (淡路) 内視鏡手術症例の増に伴う対象患者の減 (姫路) 適応患者の増</p> <p>(尼崎) 対象患者の増 (淡路) 血栓回収術症例の増 (姫路) 適応患者の増</p>												
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																	
尼崎	130	86	99	66.2%																																																																																	
西宮	50	62	65	124.0%																																																																																	
加古川	53	54	47	101.9%																																																																																	
淡路	35	23	36	65.7%																																																																																	
姫路	104	139	103	133.7%																																																																																	
合計	372	364	350	97.8%																																																																																	
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																	
尼崎	35	42	37	120.0%																																																																																	
西宮	20	21	30	105.0%																																																																																	
加古川	8	8	11	100.0%																																																																																	
淡路	17	28	19	164.7%																																																																																	
姫路	86	106	81	123.3%																																																																																	
合計	166	205	200	123.5%																																																																																	

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）			
(3) 血栓溶解療法（t-P A）の件数 (単位：件)							
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①			
尼崎	35	12	18	34.3%	▲	(尼崎) 血栓回収療法が主流となっており減 (西宮) 適応患者の増 (加古川) 対象患者の減 (淡路) 早期受診による対象患者の増	
西宮	4	6	4	150.0%	◎		
加古川	2	0	1	0.0%	▲		
淡路	10	12	16	120.0%	◎		
姫路	22	22	34	100.0%	○		
合計	73	52	73	71.2%			
(4) 急性期リハの件数 (単位：件)							
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①			
尼崎	9,940	10,501	9,145	105.6%	○		
西宮	11,000	10,176	11,789	92.5%	○		
加古川	11,600	9,526	10,933	82.1%	○		
淡路	11,729	12,370	12,183	105.5%	○		
姫路	24,573	21,991	23,915	89.5%	○		
合計	68,842	64,564	67,965	93.8%			
(5) 地域連携バスの運用件数 (単位：件)							
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①			
尼崎	120	130	140	108.3%	○		
西宮	50	53	47	106.0%	○		
加古川	15	16	21	106.7%	○		
淡路	120	100	139	83.3%	○		
姫路	206	242	243	117.5%	○		
合計	511	541	590	105.9%			
【個別取組項目】	【個別取組項目】						
1 姫路循環器病センター	1 姫路循環器病センター						
(1) 重症心不全に対する補助人工治療の実施	(1) 重症心不全に対する補助人工治療の実施 補助循環用ポンプカテーテル（インペラ）による治療の開始						
(2) 慢性閉塞再開通デバイスを用いた下肢閉塞動脈治療の実施	(2) 慢性閉塞再開通デバイスを用いた下肢閉塞動脈治療の実施 (単位：件)						
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①			
姫路	13	66	14	507.7%	◎	適応患者の増	
(3) 超急性期脳梗塞に対する血管内治療の実施	(3) 超急性期脳梗塞に対する血管内治療の実施 (単位：件)						
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①			
姫路	18	22	11	122.2%	◎	適応患者の増	

実施計画	実施状況				評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																	
<p>(4) 小切開僧帽弁形成術（M I C S）の実施</p> <table border="1" data-bbox="376 248 1095 304"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>姫路</td> <td>20</td> <td>7</td> <td>25</td> <td>35.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 経皮的カテーテル心筋焼灼術の実施</p> <table border="1" data-bbox="376 379 1095 435"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>姫路</td> <td>446</td> <td>357</td> <td>311</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	姫路	20	7	25	35.0%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	姫路	446	357	311	80.0%		<p>▲</p> <p>○</p>	<p>他の低侵襲術式（インペラ等）との選択の結果として減少</p>	
	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																			
姫路	20	7	25	35.0%																				
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																				
姫路	446	357	311	80.0%																				

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (3) 糖尿病医療

○ 基本方向	糖尿病は適切な治療を行うことなく放置すると重大な合併症を引き起こすことから、引き続き糖尿病に対する高度専門医療を提供する。
○ 取組内容	
1 病院の役割	(1) 加古川医療センターは、糖尿病など内分泌・代謝性疾患医療の全県における拠点的病院として必要な診療機能を整備し、高度専門医療を提供する。 (2) 尼崎総合医療センター、西宮病院、淡路医療センター、柏原病院、姫路循環器病センターは、地域の医療連携体制における役割を踏まえた医療を提供する。
2 診療機能の高度化	姫路循環器病センターにおいて、糖尿病センターを設置し、心疾患等の合併症を有する糖尿病患者への治療体制を強化する。
3 地域医療機関との連携体制の構築	加古川医療センター等において、無治療糖尿病患者や重篤な合併症を有する糖尿病患者の早期診断・治療のため地域の医療機関との連携体制の構築に取り組む。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																																											
<p>〔目標〕</p> <p>保健医療計画に記載されている各病院の役割に応じて、糖尿病に対する高度専門医療を提供するほか、地域医療機関と連携し予防医療も含めた総合的な糖尿病医療を推進する。</p>	<p>保健医療計画に記載されている各病院の役割に応じて、糖尿病に対する高度専門医療を提供するほか、地域医療機関と連携し予防医療も含めた総合的な糖尿病医療を推進したが、入院患者数が減少し、計画値を下回った。</p>	△		<p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病の専門治療の機能を有する病院</p> <p>① 糖尿病の専門的検査、専門的治療の実施（75g O G T T検査、運動療法、食事療法）</p> <p>② 専門職種チームによる教育入院の実施</p> <p>③ 糖尿病患者の妊娠への対応</p> <p>④ 常勤の日本糖尿病学会専門医、又は日本内分泌代謝科専門医がいる</p>																																																																											
<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 新規入院患者数</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>370</td> <td>275</td> <td>349</td> <td>74.3%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>240</td> <td>238</td> <td>221</td> <td>99.2%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>170</td> <td>155</td> <td>131</td> <td>91.2%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>110.0%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>186</td> <td>117</td> <td>168</td> <td>62.9%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>986</td> <td>807</td> <td>888</td> <td>81.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 糖尿病教育入院の実患者数</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>300</td> <td>210</td> <td>273</td> <td>70.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>200</td> <td>185</td> <td>181</td> <td>92.5%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>120</td> <td>117</td> <td>108</td> <td>97.5%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>114.3%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>156</td> <td>110</td> <td>163</td> <td>70.5%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>783</td> <td>630</td> <td>732</td> <td>80.5%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	370	275	349	74.3%	西宮	240	238	221	99.2%	加古川	170	155	131	91.2%	淡路	20	22	19	110.0%	姫路	186	117	168	62.9%	合計	986	807	888	81.8%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	300	210	273	70.0%	西宮	200	185	181	92.5%	加古川	120	117	108	97.5%	淡路	7	8	7	114.3%	姫路	156	110	163	70.5%	合計	783	630	732	80.5%	<p>△</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>△</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>△</p>	<p>[1, 2 共通]</p> <p>(尼崎)</p> <p>血糖コントロールが必要な患者には連携先隣病院への受診を促進していることによる減</p> <p>(姫路)</p> <p>対象患者の減</p> <p>○専門看護師・認定看護師の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>慢性疾患 加古川(1)</td> </tr> <tr> <td>認定</td> <td>糖尿病 尼崎(1)、西宮(1)、こども(1)、姫路(1)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院別人数	専門	慢性疾患 加古川(1)	認定	糖尿病 尼崎(1)、西宮(1)、こども(1)、姫路(1)	<p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病の急性増悪時治療の機能を有する病院</p> <p>① 糖尿病昏睡等急性合併症の治療が可能</p> <p>② 糖尿病の急性合併症の患者を24時間受入可能</p> <p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病の慢性合併症治療の機能を有する病院</p> <p>① 蛍光眼底造影検査、光凝固療法、硝子体出血、網膜剥離の手術が全て実施可能</p> <p>② 腎生検、腎臓超音波検査、人工透析等が全て実施可能（糖尿病腎症）</p> <p>③ 神経伝達速度検査が実施可能（糖尿病神経障害）</p>
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																											
尼崎	370	275	349	74.3%																																																																											
西宮	240	238	221	99.2%																																																																											
加古川	170	155	131	91.2%																																																																											
淡路	20	22	19	110.0%																																																																											
姫路	186	117	168	62.9%																																																																											
合計	986	807	888	81.8%																																																																											
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																											
尼崎	300	210	273	70.0%																																																																											
西宮	200	185	181	92.5%																																																																											
加古川	120	117	108	97.5%																																																																											
淡路	7	8	7	114.3%																																																																											
姫路	156	110	163	70.5%																																																																											
合計	783	630	732	80.5%																																																																											
区分	病院別人数																																																																														
専門	慢性疾患 加古川(1)																																																																														
認定	糖尿病 尼崎(1)、西宮(1)、こども(1)、姫路(1)																																																																														
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件の全てを満たしている病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神南</td> <td>尼崎総合医療センター、西宮病院</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td>中播磨</td> <td>姫路循環器病センター</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件の全てを満たしている病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神南</td> <td>尼崎総合医療センター、西宮病院</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td>中播磨</td> <td>姫路循環器病センター</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>淡路医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件の全てを満たしている病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神南</td> <td>尼崎総合医療センター、西宮病院</td> </tr> <tr> <td>中播磨</td> <td>姫路循環器病センター</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> </tbody> </table>	圏域	上記条件の全てを満たしている病院名	阪神南	尼崎総合医療センター、西宮病院	東播磨	加古川医療センター	中播磨	姫路循環器病センター	圏域	上記条件の全てを満たしている病院名	阪神南	尼崎総合医療センター、西宮病院	東播磨	加古川医療センター	中播磨	姫路循環器病センター	丹波	丹波医療センター	淡路	淡路医療センター	圏域	上記条件の全てを満たしている病院名	阪神南	尼崎総合医療センター、西宮病院	中播磨	姫路循環器病センター	丹波	丹波医療センター																																															
圏域	上記条件の全てを満たしている病院名																																																																														
阪神南	尼崎総合医療センター、西宮病院																																																																														
東播磨	加古川医療センター																																																																														
中播磨	姫路循環器病センター																																																																														
圏域	上記条件の全てを満たしている病院名																																																																														
阪神南	尼崎総合医療センター、西宮病院																																																																														
東播磨	加古川医療センター																																																																														
中播磨	姫路循環器病センター																																																																														
丹波	丹波医療センター																																																																														
淡路	淡路医療センター																																																																														
圏域	上記条件の全てを満たしている病院名																																																																														
阪神南	尼崎総合医療センター、西宮病院																																																																														
中播磨	姫路循環器病センター																																																																														
丹波	丹波医療センター																																																																														

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																								
<p>〔個別取組項目〕</p> <p>1 西宮病院 地域糖尿病センターの充実 ①糖尿病発症早期患者の受入、教育</p> <p>②医師会と連携した糖尿病研究（Nishinomiya Study）の充実（症例数） （単位：例（延症例数））</p> <table border="1" data-bbox="365 379 1081 435"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西宮</td> <td>4,100</td> <td>4,715</td> <td>4,015</td> <td>115.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 加古川医療センター 生活習慣病センターにおける各教室の開催 （単位：回）</p> <table border="1" data-bbox="365 576 1081 632"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加古川</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 リハビリテーション中央病院 （新）糖尿病教育入院の実施（H30 計画：10 人）</p>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	西宮	4,100	4,715	4,015	115.0%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	加古川	43	43	43	100.0%	<p>〔個別取組項目〕</p> <p>1 西宮病院 地域糖尿病センターの充実 ①糖尿病発症早期患者の受入、教育 積極的に受入れ、教育を行った。</p> <p>②医師会と連携した糖尿病研究（Nishinomiya Study）の充実（症例数） （単位：例（延症例数））</p> <table border="1" data-bbox="365 379 1081 435"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西宮</td> <td>4,100</td> <td>4,715</td> <td>4,015</td> <td>115.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 加古川医療センター 生活習慣病センターにおける各教室の開催 （単位：回）</p> <table border="1" data-bbox="365 576 1081 632"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加古川</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 リハビリテーション中央病院 糖尿病教育入院を H30.10 から受入れ開始 （H30 実績：5 人）</p>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	西宮	4,100	4,715	4,015	115.0%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	加古川	43	43	43	100.0%	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>▲</p>	<p>患者の受入れ開始が10月からとなったため</p>	
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																								
西宮	4,100	4,715	4,015	115.0%																																								
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																								
加古川	43	43	43	100.0%																																								
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																								
西宮	4,100	4,715	4,015	115.0%																																								
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																								
加古川	43	43	43	100.0%																																								

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																				
<p>2 加古川医療センター</p> <p>(1) ドクターカーの活用 (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="398 276 1120 331"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加古川</td> <td>97</td> <td>107</td> <td>108</td> <td>110.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 救急患者の積極的な受入れ (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="398 411 1120 467"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加古川</td> <td>6,622</td> <td>6,899</td> <td>6,738</td> <td>104.2%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	加古川	97	107	108	110.3%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	加古川	6,622	6,899	6,738	104.2%		○		
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																				
加古川	97	107	108	110.3%																				
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																				
加古川	6,622	6,899	6,738	104.2%																				
<p>3 柏原病院 救急患者の受入促進</p> <p>①消化器、循環器救急の24時間受入促進（時間外検査件数） (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="259 651 1120 735"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">柏原</td> <td>内視鏡</td> <td>180</td> <td>118</td> <td>143</td> <td>65.6%</td> </tr> <tr> <td>心カテ</td> <td>50</td> <td>57</td> <td>66</td> <td>114.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>②救急対応看護師の育成・資質向上</p>	病院名	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	柏原	内視鏡	180	118	143	65.6%	心カテ	50	57	66	114.0%	<p>3 柏原病院 救急患者の受入促進</p> <p>②救急対応看護師の育成・資質向上 計画どおり年間4名を育成</p>	△	緊急対応が必要な患者の減				
病院名	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																			
柏原	内視鏡	180	118	143	65.6%																			
	心カテ	50	57	66	114.0%																			
<p>4 災害医療センター</p> <p>(1) 高度救命救急センターとして、県下救急隊に研修等を行い、連携強化に努める (研修会回数) (単位：回)</p> <table border="1" data-bbox="320 1042 1120 1098"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害</td> <td>151</td> <td>145</td> <td>151</td> <td>96.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 医師救急医療業務実地修練（病院前医療体制における指導医等研修）への参加 ※ 救急医療に携わっている医師を対象とし、各地域の救急医療の指導者となる医師の養成を目的とした研修会</p>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	災害	151	145	151	96.0%	<p>4 災害医療センター</p> <p>(2) 医師救急医療業務実地修練（病院前医療体制における指導医等研修）への参加 医師6名が病院前研修に参加</p>	○												
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																				
災害	151	145	151	96.0%																				

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (5) 成育医療等(周産期医療、小児救急医療)

○ 基本方向
妊娠から出産、小児、思春期を経て成人への発達、そして妊娠というサイクルに関わる総合的な医療(成育医療)を継続して提供する。
また、周産期医療及び小児救急医療については、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割を踏まえ高度専門医療を提供する

○ 取組内容

1 成育医療
(1) こども病院において、神戸市医療センター中央市民病院等との連携のもと、循環器疾患等のキャリアオーバー患者に対する適切な医療を提供する。

2 周産期医療
(1) こども病院は、建替整備にあわせて総合周産期母子医療センターの機能を充実する。
(2) 西宮病院、淡路医療センターは、地域周産期母子医療センターとして医療を提供する。
(3) 柏原病院は、近隣の周産期母子医療センター等と連携した医療を提供しながら、周産期医療の充実に努める。
(4) 尼崎総合医療センターの総合周産期母子医療センターにおいて、妊婦及び新生児に対する総合的な周産期医療を提供する。

3 小児救急医療
(1) 尼崎総合医療センター及び、こども病院において小児救命救急センター指定を受けるとともに、小児救急医療の機能の充実に図る。
(2) 尼崎総合医療センターにおいて、阪神圏域の拠点病院として小児の2次及び3次救命救急を提供する。
(3) 西宮病院、淡路医療センター、柏原病院において小児の2次救急医療等を提供する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況(令和元年7月の状況等)																																																																																
<p>【目標】 総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センターは、地域の産科医療機関や消防機関と連携して、役割に応じた周産期医療を適切に提供する。 小児の2次、3次救急医療機関については、その役割に応じた適切な小児救急医療を提供する。</p> <p>【共通取組項目】 1 周産期医療</p> <p>(1) ハイリスク妊婦数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>142</td> <td>170</td> <td>143</td> <td>119.7%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>190</td> <td>160</td> <td>205</td> <td>84.2%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>40</td> <td>38</td> <td>55</td> <td>95.0%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>180</td> <td>103</td> <td>150</td> <td>57.2%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>552</td> <td>471</td> <td>553</td> <td>85.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 母体搬送受入数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>120</td> <td>106</td> <td>120</td> <td>88.3%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>135</td> <td>115</td> <td>138</td> <td>85.2%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>120</td> <td>40</td> <td>119</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>380</td> <td>265</td> <td>380</td> <td>69.7%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	142	170	143	119.7%	西宮	190	160	205	84.2%	淡路	40	38	55	95.0%	こども	180	103	150	57.2%	合計	552	471	553	85.3%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	120	106	120	88.3%	西宮	135	115	138	85.2%	淡路	5	4	3	80.0%	こども	120	40	119	33.3%	合計	380	265	380	69.7%	<p>総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センターは、地域の産科医療機関や消防機関と連携して、役割に応じた周産期医療を提供した。 小児の2次、3次救急医療機関は、その役割に応じた小児救急医療を提供した。</p> <p>【共通取組項目】 1 周産期医療</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>▲</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>▲</p>	<p>〔(1),(2)共通〕 (こども) 医師数の減に伴う受入れ可能数の減</p>	<p>参考：現況(令和元年7月の状況等)</p> <p>○周産期医療における県立病院の位置づけ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合周産期母子医療センター(A)</td> <td>尼崎総合医療センター こども病院</td> </tr> <tr> <td>地域周産期母子医療センター(B)</td> <td>西宮病院 淡路医療センター</td> </tr> <tr> <td>協力病院(C)</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>(A)：周産期に関する高度かつ専門的な医療提供(MFICU：6床以上、NICU：9床以上) (B)：比較的高度の医療提供、地域における周産期医療施設との連絡調整等</p> <p>○専門看護師、認定看護師の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>小児看護</td> <td>尼崎(2)、こども(4)</td> </tr> <tr> <td>母性看護</td> <td>西宮(1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">認定</td> <td>新生児集中ケア</td> <td>尼崎(2)、こども(2)</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>尼崎(3)、こども(1)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	総合周産期母子医療センター(A)	尼崎総合医療センター こども病院	地域周産期母子医療センター(B)	西宮病院 淡路医療センター	協力病院(C)	丹波医療センター	区分	病院別人数	専門	小児看護	尼崎(2)、こども(4)	母性看護	西宮(1)	認定	新生児集中ケア	尼崎(2)、こども(2)	小児救急	尼崎(3)、こども(1)
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																
尼崎	142	170	143	119.7%																																																																																
西宮	190	160	205	84.2%																																																																																
淡路	40	38	55	95.0%																																																																																
こども	180	103	150	57.2%																																																																																
合計	552	471	553	85.3%																																																																																
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																
尼崎	120	106	120	88.3%																																																																																
西宮	135	115	138	85.2%																																																																																
淡路	5	4	3	80.0%																																																																																
こども	120	40	119	33.3%																																																																																
合計	380	265	380	69.7%																																																																																
区分	病院名																																																																																			
総合周産期母子医療センター(A)	尼崎総合医療センター こども病院																																																																																			
地域周産期母子医療センター(B)	西宮病院 淡路医療センター																																																																																			
協力病院(C)	丹波医療センター																																																																																			
区分	病院別人数																																																																																			
専門	小児看護	尼崎(2)、こども(4)																																																																																		
	母性看護	西宮(1)																																																																																		
認定	新生児集中ケア	尼崎(2)、こども(2)																																																																																		
	小児救急	尼崎(3)、こども(1)																																																																																		

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																											
<p>(3) 2,500g未満の新生児実入院患者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>257</td> <td>240</td> <td>257</td> <td>93.4%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>120</td> <td>119</td> <td>123</td> <td>99.2%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>60</td> <td>46</td> <td>87</td> <td>76.7%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>230</td> <td>188</td> <td>185</td> <td>81.7%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>667</td> <td>593</td> <td>652</td> <td>88.9%</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	257	240	257	93.4%	西宮	120	119	123	99.2%	淡路	60	46	87	76.7%	こども	230	188	185	81.7%	合計	667	593	652	88.9%	○ ○ △ ○	(淡路) 対象患者の減	○小児救急医療における県立病院の役割 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3次救急</td> <td>小児救命救急センター</td> <td>尼崎総合医療センター</td> </tr> <tr> <td>小児中核病院(A)</td> <td>こども病院</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2次救急</td> <td>小児地域医療センター(B)</td> <td>淡路医療センター 丹波医療センター</td> </tr> <tr> <td>病院群輪番病院</td> <td>西宮病院 丹波医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>(A)：高度専門的な小児医療を実施し、小児救命救急医療を24時間365日体制で実施 (B)：小児専門医療を実施し、24時間365日小児救急への対応が可能</p>		区分	病院名	3次救急	小児救命救急センター	尼崎総合医療センター	小児中核病院(A)	こども病院	2次救急	小児地域医療センター(B)	淡路医療センター 丹波医療センター	病院群輪番病院	西宮病院 丹波医療センター
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																											
尼崎	257	240	257	93.4%																																											
西宮	120	119	123	99.2%																																											
淡路	60	46	87	76.7%																																											
こども	230	188	185	81.7%																																											
合計	667	593	652	88.9%																																											
	区分	病院名																																													
3次救急	小児救命救急センター	尼崎総合医療センター																																													
	小児中核病院(A)	こども病院																																													
2次救急	小児地域医療センター(B)	淡路医療センター 丹波医療センター																																													
	病院群輪番病院	西宮病院 丹波医療センター																																													
<p>(4) 新生児の搬送受入総数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>74</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>47</td> <td>108.3%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>133.3%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>160</td> <td>176</td> <td>161</td> <td>110.0%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>293</td> <td>315</td> <td>284</td> <td>107.5%</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	70	70	74	100.0%	西宮	60	65	47	108.3%	淡路	3	4	2	133.3%	こども	160	176	161	110.0%	合計	293	315	284	107.5%	○ ○ ◎ ○	(淡路) 対象患者の増														
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																											
尼崎	70	70	74	100.0%																																											
西宮	60	65	47	108.3%																																											
淡路	3	4	2	133.3%																																											
こども	160	176	161	110.0%																																											
合計	293	315	284	107.5%																																											
2 小児救急医療	2 小児救急医療																																														
<p>小児の救急車搬送患者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>2,361</td> <td>2,960</td> <td>2,473</td> <td>125.4%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>480</td> <td>437</td> <td>437</td> <td>91.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>135</td> <td>181</td> <td>165</td> <td>134.1%</td> </tr> <tr> <td>柏原</td> <td>230</td> <td>260</td> <td>205</td> <td>113.0%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>1,800</td> <td>1,932</td> <td>1,812</td> <td>107.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,006</td> <td>5,770</td> <td>5,092</td> <td>115.3%</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	2,361	2,960	2,473	125.4%	西宮	480	437	437	91.0%	淡路	135	181	165	134.1%	柏原	230	260	205	113.0%	こども	1,800	1,932	1,812	107.3%	合計	5,006	5,770	5,092	115.3%	◎ ○ ◎ ○ ○	(尼崎) 猛暑による熱中症患者の増 (淡路) 感染症(インフルエンザ等)患者等の増									
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																											
尼崎	2,361	2,960	2,473	125.4%																																											
西宮	480	437	437	91.0%																																											
淡路	135	181	165	134.1%																																											
柏原	230	260	205	113.0%																																											
こども	1,800	1,932	1,812	107.3%																																											
合計	5,006	5,770	5,092	115.3%																																											
【個別取組項目】 1 西宮病院	【個別取組項目】 1 西宮病院																																														
<p>産婦人科セミオープンシステムの運用 ※地域の産婦人科施設と連携する産婦人科セミオープンシステムを運用し、妊婦の利便性を保ちながら安全な周産期医療を提供 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西宮</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>71.4%</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	西宮	7	5	7	71.4%	△	参加可能医師の減少																																		
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																											
西宮	7	5	7	71.4%																																											
2 こども病院	2 こども病院																																														
<p>小児救急患者の積極的な受入れ(断らない医療の実施)(小児救急患者数) (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども</td> <td>7,000</td> <td>11,722</td> <td>8,551</td> <td>167.5%</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	こども	7,000	11,722	8,551	167.5%	◎	断らない救急の徹底及び#7119(神戸市救急電話相談)経由患者の増																																		
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																											
こども	7,000	11,722	8,551	167.5%																																											

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (6) 精神医療

○ 基本方向	ひょうごこころの医療センターにおいて民間病院等では対応が困難な急性期の患者等に対し、専門医療を提供する。 また、淡路医療センターにおいては、地域の実情等を踏まえ精神科医療を提供する。
○ 取組内容	1 光風病院において、認知症疾患医療センターの指定取得を契機に、名称を「ひょうごこころの医療センター」に変更し、児童、思春期から成人、老年まで幅広い年齢層の患者に対して医療を提供していく。 (1) ひょうごこころの医療センターにおいて、精神科の急性期医療、3次救急医療及びアルコール依存症等に対する専門的治療を引き続き提供するとともに、児童思春期センター（愛称：ひかりの森）と地域の保健福祉関係機関等の連携を強化する。 (2) 長期入院患者等の地域移行や精神病床の機能分化が進められる中、ひょうごこころの医療センターにおいて、アウトリーチ（訪問支援）事業の推進及び高度ケア病棟整備等の検討を行う。 (3) ひょうごこころの医療センターにおいて、認知症関連行動障害を有する患者の早期鑑別・早期治療や身体合併症への対応を充実するとともに、医療観察法により入院決定を受けた心神喪失患者に対する医療の提供を検討する。 2 淡路医療センターにおいては、地域の実情等を踏まえ精神科医療を提供する。 3 尼崎総合医療センターにおいて、ひょうごこころの医療センター等との連携により、精神科専門医、救急医等関係診療科医が協力して身体合併症を有する精神疾患患者へ適切に対応する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																
<p>〔目標〕</p> <p>ひょうごこころの医療センターにおいて、児童思春期精神疾患、3次救急医療、アルコール依存症等の専門医療を充実するとともに長期入院患者等の退院促進を図る。</p> <p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 新規入院患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淡路</td> <td>200</td> <td>156</td> <td>186</td> <td>78.0%</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>1,257</td> <td>985</td> <td>1,057</td> <td>78.4%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,457</td> <td>1,141</td> <td>1,243</td> <td>78.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（単位：人）</p>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	淡路	200	156	186	78.0%	こころ	1,257	985	1,057	78.4%	合計	1,457	1,141	1,243	78.3%	<p>ひょうごこころの医療センターにおいて、児童思春期精神疾患、3次救急医療、アルコール依存症等の専門医療を充実するとともに長期入院患者等の退院促進を図った。</p> <p>〔共通取組項目〕</p>	○		○専門看護師・認定看護師の状況												
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																
淡路	200	156	186	78.0%																																
こころ	1,257	985	1,057	78.4%																																
合計	1,457	1,141	1,243	78.3%																																
<p>〔個別取組項目〕</p> <p>1 ひょうごこころの医療センター</p> <p>(1) 児童思春期センターの円滑な運営（地域保健福祉関係機関等との連携強化）</p> <p>・入院患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ</td> <td>14,965</td> <td>17,218</td> <td>17,604</td> <td>115.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（単位：人）</p> <p>・専門医師等によるオープンカンファレンスの開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>120.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（単位：回）</p>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	こころ	14,965	17,218	17,604	115.1%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	こころ	5	6	5	120.0%	<p>〔個別取組項目〕</p> <p>1 ひょうごこころの医療センター</p> <p>(1) 児童思春期センターの円滑な運営（地域保健福祉関係機関等との連携強化）</p>	△ △	<p>(淡路)</p> <p>入院しなくても外来通院で状態を維持できる仕組み（訪問看護ステーション、ホームヘルプサービス等）が整ってきている</p> <p>(こころ)</p> <p>救急患者の入院の減</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>精神</td> <td>尼崎(1)、淡路(1)、こころ(1)、姫路(1)</td> </tr> <tr> <td>認定</td> <td>認知症</td> <td>尼崎(2)、こころ(1)、丹波(1)、がん(1)</td> </tr> <tr> <td>日本精神科看護協会認定</td> <td>精神科看護</td> <td>尼崎(1)、こころ(6)</td> </tr> </tbody> </table>	区分		病院別人数	専門	精神	尼崎(1)、淡路(1)、こころ(1)、姫路(1)	認定	認知症	尼崎(2)、こころ(1)、丹波(1)、がん(1)	日本精神科看護協会認定	精神科看護	尼崎(1)、こころ(6)
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																
こころ	14,965	17,218	17,604	115.1%																																
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																
こころ	5	6	5	120.0%																																
区分		病院別人数																																		
専門	精神	尼崎(1)、淡路(1)、こころ(1)、姫路(1)																																		
認定	認知症	尼崎(2)、こころ(1)、丹波(1)、がん(1)																																		
日本精神科看護協会認定	精神科看護	尼崎(1)、こころ(6)																																		
		○	症例検討を深めるため																																	

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																						
<p>(2) 精神科救急医療センターの充実強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急医療センター入院患者数 (単位：人) <table border="1" data-bbox="497 272 1211 331"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ</td> <td>365</td> <td>404</td> <td>484</td> <td>110.7%</td> </tr> </tbody> </table> 精神科救急医療システムからの入院患者数 (単位：件) <table border="1" data-bbox="497 408 1211 467"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ</td> <td>90</td> <td>63</td> <td>73</td> <td>70.0%</td> </tr> </tbody> </table> 	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	こころ	365	404	484	110.7%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	こころ	90	63	73	70.0%		○				
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																						
こころ	365	404	484	110.7%																						
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																						
こころ	90	63	73	70.0%																						
<p>(3) 退院支援の実施（長期入院患者等の退院促進等）</p>	<p>(3) 退院支援の実施（長期入院患者等の退院促進等）</p>																									
<p>①地域移行の推進による退院支援の強化 (単位：回、人)</p> <table border="1" data-bbox="203 600 1211 710"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">こころ</td> <td>退院支援委員会の開催回数</td> <td>100</td> <td>106</td> <td>133</td> <td>106.0%</td> </tr> <tr> <td>退院調整に関する業務回数</td> <td>9,000</td> <td>10,942</td> <td>9,280</td> <td>121.6%</td> </tr> <tr> <td>退院患者数</td> <td>1,100</td> <td>1,021</td> <td>1,032</td> <td>92.8%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	こころ	退院支援委員会の開催回数	100	106	133	106.0%	退院調整に関する業務回数	9,000	10,942	9,280	121.6%	退院患者数	1,100	1,021	1,032	92.8%		○ ◎ ○	入院患者数の増	
病院名	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																					
こころ	退院支援委員会の開催回数	100	106	133	106.0%																					
	退院調整に関する業務回数	9,000	10,942	9,280	121.6%																					
	退院患者数	1,100	1,021	1,032	92.8%																					
<p>②心理教育の実施（医師、看護師、PSW、CP、OT、薬剤師等） (単位：回、人)</p> <table border="1" data-bbox="203 798 1211 882"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">こころ</td> <td>実施回数</td> <td>190</td> <td>301</td> <td>197</td> <td>158.4%</td> </tr> <tr> <td>患者延参加数</td> <td>2,000</td> <td>2,210</td> <td>2,076</td> <td>110.5%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	こころ	実施回数	190	301	197	158.4%	患者延参加数	2,000	2,210	2,076	110.5%		◎ ○	入院患者数の増						
病院名	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																					
こころ	実施回数	190	301	197	158.4%																					
	患者延参加数	2,000	2,210	2,076	110.5%																					
<p>③多職種によるカンファレンスの実施 (医師、看護師、PSW、CP、薬剤師) (単位：回)</p> <table border="1" data-bbox="497 995 1211 1051"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ</td> <td>1,500</td> <td>1,965</td> <td>1,563</td> <td>131.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	こころ	1,500	1,965	1,563	131.0%		◎	入院患者数の増及びチーム医療の推進													
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																						
こころ	1,500	1,965	1,563	131.0%																						
<p>④作業所・救護施設の利用を促進するため退院前訪問・同行の実施 (看護師、PSW) (単位：回)</p> <table border="1" data-bbox="497 1155 1211 1211"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ</td> <td>370</td> <td>715</td> <td>756</td> <td>193.2%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	こころ	370	715	756	193.2%		◎	入院患者数の増加に伴う退院調整件数の増													
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																						
こころ	370	715	756	193.2%																						
<p>⑤相談員による面接・電話調整 (健康福祉事務所、保健所等との連携推進) (PSW) (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="497 1315 1211 1370"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ</td> <td>29,000</td> <td>34,439</td> <td>28,543</td> <td>118.8%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	こころ	29,000	34,439	28,543	118.8%		○														
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																						
こころ	29,000	34,439	28,543	118.8%																						

実施計画	実施状況				評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）						
⑥訪問看護の実施（看護師）													
（単位：人）													
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	○								
こころ	3,582	3,180	3,509	88.8%									
⑦デイケアの実施（OT、CP、PSW、看護師）													
（単位：件）													
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	○								
こころ	6,100	5,844	6,473	95.8%									
⑧平均在院日数の削減													
（単位：日）													
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	①/②	○								
こころ	69.0	74.4	75.2	107.8%									
(4) アルコール依存症医療の充実													
（一日あたり入院患者数）													
（単位：人/日）													
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	○								
こころ	40.0	34.6	35.5	86.5%									
(5) 外来機能（児童思春期外来を含む）充実強化（外来患者数）													
（単位：人）													
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	○								
こころ	51,278	51,544	50,720	100.5%									
(6)MRI、SPECTの活用（検査回数）													
（単位：件）													
機器	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	▲			地域の医療機関から認知症疾患医療センターへの紹介患者数の伸び悩みや検査のPR不足					
MRI	1,700	304	190	17.9%									
SPECT	1,000	86	88	8.6%									
(7)障害児リハビリテーションの実施													
（単位：件）													
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	○								
こころ	2,318	2,182	2,131	94.1%									

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (7) 感染症医療

○ 基本方向

「兵庫県保健医療計画」に定められた各病院の役割を踏まえ、感染症医療を提供する。

○ 取組内容

1 エイズ治療拠点病院において高度専門医療を提供するほか、エイズ診療協力病院においても機能に応じた医療を提供する。

2 兵庫県新型コロナウイルス等対策行動計画に基づき、尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センター、柏原病院において患者の受入れ体制を整備する。

3 加古川医療センターにおいて、第一種感染症病床及び第二種感染症病床を、尼崎総合医療センター、淡路医療センターにおいて、第二種感染症病床を確保し、新興感染症等に対する医療を提供する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																
<p>〔目標〕 「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割を踏まえ、感染症医療を提供する。</p>	<p>「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割に応じ感染症医療を提供した。</p>	○																		
<p>〔共通取組項目〕 1 第二種感染症指定機関（尼崎総合医療センター、加古川医療センター、淡路医療センター）ほか (1) 平時から新型コロナウイルス等を想定した診療訓練を実施する等、患者の受入体制を整備 (2) 新型コロナウイルス発生時においては、「兵庫県新型コロナウイルス対策行動計画」に基づき、入院患者の受入れや外来診療への協力など、適切な医療を提供</p>	<p>〔共通取組項目〕 1 第二種感染症指定機関（尼崎総合医療センター、加古川医療センター、淡路医療センター）ほか (1) 平時から新型コロナウイルス等を想定した診療訓練を実施する等、患者の受入体制を整備 (2) 受入実績なし</p>	○ - ○		<p>○結核病床設置病院：淡路医療センター（15床）</p> <p>○エイズ医療における県立病院の役割</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エイズ治療拠点病院</td> <td>尼崎総合医療センター 加古川医療センター 淡路医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>○感染症医療機関の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一種感染症指定医療機関</td> <td>加古川医療センター（2床）</td> </tr> <tr> <td>第二種感染症指定医療機関</td> <td>尼崎総合医療センター（8床） 加古川医療センター（6床） 丹波医療センター（4床） 淡路医療センター（4床）</td> </tr> </tbody> </table> <p>○認定看護師の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定</td> <td>感染管理</td> </tr> <tr> <td></td> <td>尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)、姫路(2)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	エイズ治療拠点病院	尼崎総合医療センター 加古川医療センター 淡路医療センター	区分	病院名	第一種感染症指定医療機関	加古川医療センター（2床）	第二種感染症指定医療機関	尼崎総合医療センター（8床） 加古川医療センター（6床） 丹波医療センター（4床） 淡路医療センター（4床）	区分	病院別人数	認定	感染管理		尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)、姫路(2)
区分	病院名																			
エイズ治療拠点病院	尼崎総合医療センター 加古川医療センター 淡路医療センター																			
区分	病院名																			
第一種感染症指定医療機関	加古川医療センター（2床）																			
第二種感染症指定医療機関	尼崎総合医療センター（8床） 加古川医療センター（6床） 丹波医療センター（4床） 淡路医療センター（4床）																			
区分	病院別人数																			
認定	感染管理																			
	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)、姫路(2)																			
<p>〔個別取組項目〕 1 加古川医療センター（第一種感染症指定医療機関） (1) 新型コロナウイルスを想定した診療訓練を実施する等、感染症に対する専門医療の提供体制を整備 (2) 専門医の勤務状況（週1日） 院内感染症外来・ICTミーティング・院内ラウンド（広域抗菌薬ラウンド、血培ラウンド、環境ラウンド）の実施</p>	<p>〔個別取組項目〕 1 加古川医療センター（第一種感染症指定医療機関） (1) 新型コロナウイルスを想定した診療訓練を実施する等、感染症に対する専門医療の提供体制を整備 ・担当部署を対象に受入体制の机上訓練と个人防护服の着脱訓練を実施 ・感染症病棟稼働時のアクションカードを作成 (2) 専門医の勤務状況（週1日） ・非常勤医の確保により、週1回外来診療を実施 ・院内コンサルテーション、広域抗菌薬ラウンド、血液培養陽性患者ラウンドを実施</p>	○ ○																		

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (8) リハビリテーション医療

○ 基本方向	リハビリテーション中央病院及びリハビリテーション西播磨病院においては、全県の中核施設として、安全で質の高い先進的なリハビリテーション医療を追求するとともに、各地域におけるリハビリテーション関係機関と連携し、地域と結びついた一貫したリハビリテーション提供体制の充実を図る。
○ 取組内容	1 リハビリテーション中央病院におけるロボットリハビリテーション、同西播磨病院におけるパーキンソン病等の神経変性疾患等について、診断・医療・リハビリの一貫した医療の充実を図る。 2 急性期病院において、治療後の早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図るとともに、「地域連携バス」等により近隣病院との連携を強化する。 3 がんセンター等において、がんリハビリの充実に取り組み、術後早期の機能回復を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																		
<p>〔目標〕</p> <p>全県の中核施設として、リハビリテーション中央病院及びリハビリテーション西播磨病院においてリハビリテーション医療を適切に提供する。</p> <p>また、急性期病院において、早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図る。</p>	<p>全県の中核施設として、リハビリテーション中央病院及びリハビリテーション西播磨病院においてリハビリテーション医療を適切に提供した。</p> <p>また、急性期病院において、早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図った。</p>	○																																																				
<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 急性期病院</p>	<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 急性期病院</p>																																																					
リハビリテーション実施単位の向上																																																						
(単位：単位)																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>125,642</td> <td>125,721</td> <td>123,383</td> <td>100.1%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>54,000</td> <td>63,140</td> <td>55,283</td> <td>116.9%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>50,500</td> <td>49,821</td> <td>49,420</td> <td>98.7%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>58,833</td> <td>58,506</td> <td>58,497</td> <td>99.4%</td> </tr> <tr> <td>柏原</td> <td>18,000</td> <td>23,736</td> <td>17,121</td> <td>131.9%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>17,900</td> <td>17,905</td> <td>16,812</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>18,500</td> <td>21,356</td> <td>17,146</td> <td>115.4%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>58,608</td> <td>52,197</td> <td>57,348</td> <td>89.1%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>401,983</td> <td>412,382</td> <td>395,010</td> <td>102.6%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	125,642	125,721	123,383	100.1%	西宮	54,000	63,140	55,283	116.9%	加古川	50,500	49,821	49,420	98.7%	淡路	58,833	58,506	58,497	99.4%	柏原	18,000	23,736	17,121	131.9%	こども	17,900	17,905	16,812	100.0%	がん	18,500	21,356	17,146	115.4%	姫路	58,608	52,197	57,348	89.1%	合計	401,983	412,382	395,010	102.6%	○ ○ ○ ○ ◎ ○ ○ ○	(柏原) 体制強化(1名増)に加え、新病院開院に向けて日赤病院から2名の派遣研修を入れたことに伴う増	
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																		
尼崎	125,642	125,721	123,383	100.1%																																																		
西宮	54,000	63,140	55,283	116.9%																																																		
加古川	50,500	49,821	49,420	98.7%																																																		
淡路	58,833	58,506	58,497	99.4%																																																		
柏原	18,000	23,736	17,121	131.9%																																																		
こども	17,900	17,905	16,812	100.0%																																																		
がん	18,500	21,356	17,146	115.4%																																																		
姫路	58,608	52,197	57,348	89.1%																																																		
合計	401,983	412,382	395,010	102.6%																																																		
<p>〔個別取組項目〕</p> <p>1 リハビリテーション中央病院</p>	<p>〔個別取組項目〕</p> <p>1 リハビリテーション中央病院</p>																																																					
(1) 患者1人1日実施単位数の拡大																																																						
(単位：単位)																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般(手術)</td> <td>2.4</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>91.7%</td> </tr> <tr> <td>一般(混合)</td> <td>5.2</td> <td>5.3</td> <td>5.2</td> <td>101.9%</td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td>3.8</td> <td>3.4</td> <td>3.6</td> <td>89.5%</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>5.6</td> <td>5.5</td> <td>5.6</td> <td>98.2%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	一般(手術)	2.4	2.2	2.2	91.7%	一般(混合)	5.2	5.3	5.2	101.9%	障害者	3.8	3.4	3.6	89.5%	回復期	5.6	5.5	5.6	98.2%	○																											
項目	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																		
一般(手術)	2.4	2.2	2.2	91.7%																																																		
一般(混合)	5.2	5.3	5.2	101.9%																																																		
障害者	3.8	3.4	3.6	89.5%																																																		
回復期	5.6	5.5	5.6	98.2%																																																		
(2) 人工関節センターにおける人工関節置換術件数の増																																																						
(単位：件)																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リハ中央</td> <td>310</td> <td>264</td> <td>298</td> <td>85.2%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	リハ中央	310	264	298	85.2%	○																																										
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																		
リハ中央	310	264	298	85.2%																																																		

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																									
<p>(3) 脊椎内視鏡手術件数の増 (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="504 247 1227 303"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リハ中央</td> <td>15</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>53.3%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	リハ中央	15	8	7	53.3%		▲	適応患者の減																
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																									
リハ中央	15	8	7	53.3%																									
<p>2 リハビリテーション西播磨病院</p>	<p>2 リハビリテーション西播磨病院</p>																												
<p>(1) 回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準維持 (単位：%)</p> <table border="1" data-bbox="331 446 1227 694"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>在宅復帰率 (基準 70.0%以上)</td> <td>77%以上</td> <td>79.7</td> <td>80.0</td> <td>103.5%</td> </tr> <tr> <td>日常生活機能評価 10 点以上 (基準 30.0%以上)</td> <td>32%以上</td> <td>32.7</td> <td>34.3</td> <td>102.2%</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション実績指数 (基準 37.0%以上)</td> <td>43.0%以上</td> <td>46.2</td> <td>41.1</td> <td>144.4%</td> </tr> <tr> <td>日常生活機能評価 4 点以上改善 (基準 30.0%以上)</td> <td>52%以上</td> <td>54.1</td> <td>53.5</td> <td>104.0%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	在宅復帰率 (基準 70.0%以上)	77%以上	79.7	80.0	103.5%	日常生活機能評価 10 点以上 (基準 30.0%以上)	32%以上	32.7	34.3	102.2%	リハビリテーション実績指数 (基準 37.0%以上)	43.0%以上	46.2	41.1	144.4%	日常生活機能評価 4 点以上改善 (基準 30.0%以上)	52%以上	54.1	53.5	104.0%		○		
項目	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																									
在宅復帰率 (基準 70.0%以上)	77%以上	79.7	80.0	103.5%																									
日常生活機能評価 10 点以上 (基準 30.0%以上)	32%以上	32.7	34.3	102.2%																									
リハビリテーション実績指数 (基準 37.0%以上)	43.0%以上	46.2	41.1	144.4%																									
日常生活機能評価 4 点以上改善 (基準 30.0%以上)	52%以上	54.1	53.5	104.0%																									
<p>(2) 病床利用率及び1日あたり外来患者数の安定的確保 (単位：%、人)</p> <table border="1" data-bbox="510 774 1227 869"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床利用率</td> <td>95.5</td> <td>94.9</td> <td>95.8</td> <td>99.4%</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>46.0</td> <td>44.1</td> <td>43.4</td> <td>95.9%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	病床利用率	95.5	94.9	95.8	99.4%	外来患者数	46.0	44.1	43.4	95.9%		○												
項目	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																									
病床利用率	95.5	94.9	95.8	99.4%																									
外来患者数	46.0	44.1	43.4	95.9%																									
<p>(3) SPECTによる精度の高い機能診断の実施 (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="510 933 1227 1005"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リハ西播</td> <td>730</td> <td>658</td> <td>550</td> <td>90.1%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	リハ西播	730	658	550	90.1%		○																	
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																									
リハ西播	730	658	550	90.1%																									
<p>(新) (4) 神経難病リハビリテーションセンター（仮称）の設置 ※ パーキンソン病を中心とした神経難病の治療、研修、情報提供・相談などを担う</p>	<p>(4) 神経難病リハビリテーションセンターを設置 (H30.9)</p>	○																											

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (9) その他の政策医療

○ 基本方向	「兵庫県保健医療計画」に定められた各病院の役割を踏まえ、神経難病医療、腎疾患医療、結核医療等を提供する。
○ 取組内容	
1 難病医療	専門医を配置するなど、難病医療の拠点病院・協力病院として必要な機能を整備し、入院治療が必要な重症難病患者に対して、適切な医療を提供する。
2 腎疾患医療	透析患者に対し、良質で安全な医療を提供する。
3 結核医療	淡路医療センターにおいて、引き続き結核医療及び精神疾患と結核の合併症患者への医療を提供する。
4 臓器移植	西宮病院等において、臓器移植を必要とする患者に、適切に臓器の提供及び移植の実施ができるよう体制の充実を図る。
5 骨髄移植、さい帯血移植	(1) 化学療法等では治癒しない白血病や重症再生不良性貧血等の患者に対して骨髄移植の機会を確保するため、尼崎総合医療センター、こども病院、がんセンターにおいて引き続き骨髄移植を実施する。 (2) さい帯血移植は、提供者に身体的負担をかけないことなどから、移植の推進に協力する。
6 緩和医療	専門病棟を有する加古川医療センターにおいて、緩和医療の提供体制を強化するとともに、がんセンター等がん治療を行う県立病院における緩和センター等の充実を図る。
7 アレルギー医療	アレルギー科を設置している病院を中心に適切な医療を提供する。
8 へき地医療	淡路医療センター、柏原病院は、へき地医療拠点病院としての役割を果たす。
9 性差医療	(1) 塚口病院において実施している女性総合外来や性差医療の充実のための研修・情報提供について、尼崎総合医療センターで継続して実施する。 (2) 淡路医療センターにおいて引き続き女性総合外来を実施する。
10 その他の医療	加古川医療センターにおいて、リウマチ科・リウマチ膠原病センター、腎臓内科・血液浄化センターの本格診療を実施する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																														
〔目標〕 難病、結核、臓器移植、認知症等の政策医療について、各病院の役割に応じて適切な医療を提供する。	難病、結核、臓器移植、認知症等の政策医療について、各病院の役割に応じて適切な医療を提供した。	○		○認知症疾患医療センター設置病院（指定日） ・尼崎総合医療センター（H30.10.1） ・淡路医療センター（H21.4.1） ・ひょうごこころの医療センター（H29.1.1） ・姫路循環器病センター（H23.7.1） ・リハビリテーション西播磨病院（H21.11.1）																														
〔共通取組項目〕 1 透析の件数 (単位：件)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>4,107</td> <td>4,514</td> <td>3,791</td> <td>109.9%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>4,300</td> <td>4,333</td> <td>4,176</td> <td>100.8%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>15,300</td> <td>15,421</td> <td>15,158</td> <td>100.8%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>2,000</td> <td>2,360</td> <td>2,223</td> <td>118.0%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25,707</td> <td>26,628</td> <td>25,348</td> <td>103.6%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	4,107	4,514	3,791	109.9%	西宮	4,300	4,333	4,176	100.8%	加古川	15,300	15,421	15,158	100.8%	淡路	2,000	2,360	2,223	118.0%	合計	25,707	26,628	25,348	103.6%	○ ○ ○ ○		
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																														
尼崎	4,107	4,514	3,791	109.9%																														
西宮	4,300	4,333	4,176	100.8%																														
加古川	15,300	15,421	15,158	100.8%																														
淡路	2,000	2,360	2,223	118.0%																														
合計	25,707	26,628	25,348	103.6%																														
2 認知症識別診断の件数 (単位：件)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淡路</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>294</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>700</td> <td>662</td> <td>407</td> <td>94.6%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>659</td> <td>666</td> <td>637</td> <td>101.1%</td> </tr> <tr> <td>リハ西</td> <td>1,120</td> <td>1,157</td> <td>1,170</td> <td>103.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,779</td> <td>2,785</td> <td>2,508</td> <td>100.2%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	淡路	300	300	294	100.0%	こころ	700	662	407	94.6%	姫路	659	666	637	101.1%	リハ西	1,120	1,157	1,170	103.3%	合計	2,779	2,785	2,508	100.2%	○ ○ ○ ○		
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																														
淡路	300	300	294	100.0%																														
こころ	700	662	407	94.6%																														
姫路	659	666	637	101.1%																														
リハ西	1,120	1,157	1,170	103.3%																														
合計	2,779	2,785	2,508	100.2%																														

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																																																				
<p>3 アレルギー専門外来の件数 (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="450 236 1167 432"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>2,427</td> <td>1,965</td> <td>2,319</td> <td>81.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>1,200</td> <td>1,151</td> <td>878</td> <td>95.9%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>1,446</td> <td>1,488</td> <td>1,473</td> <td>102.9%</td> </tr> <tr> <td>柏原</td> <td>800</td> <td>1,027</td> <td>840</td> <td>128.4%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>1,260</td> <td>1,492</td> <td>1,267</td> <td>118.4%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,133</td> <td>7,123</td> <td>6,777</td> <td>99.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 へき地医療機関への医師派遣の日数 (単位：日)</p> <table border="1" data-bbox="450 507 1167 624"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淡路</td> <td>24</td> <td>36</td> <td>24</td> <td>150.0%</td> </tr> <tr> <td>柏原</td> <td>45</td> <td>98</td> <td>46</td> <td>217.8%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>69</td> <td>134</td> <td>70</td> <td>194.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 女性総合外来の件数 (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="450 699 1167 815"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>350</td> <td>245</td> <td>333</td> <td>70.0%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>900</td> <td>1,161</td> <td>1,044</td> <td>129.0%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,250</td> <td>1,406</td> <td>1,377</td> <td>112.5%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	2,427	1,965	2,319	81.0%	西宮	1,200	1,151	878	95.9%	加古川	1,446	1,488	1,473	102.9%	柏原	800	1,027	840	128.4%	こども	1,260	1,492	1,267	118.4%	合計	7,133	7,123	6,777	99.9%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	淡路	24	36	24	150.0%	柏原	45	98	46	217.8%	合計	69	134	70	194.2%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	350	245	333	70.0%	淡路	900	1,161	1,044	129.0%	合計	1,250	1,406	1,377	112.5%	<p>○ ○ ○ ◎ ○</p> <p>◎ ◎</p> <p>△ ◎</p> <p>▲</p> <p>○ ○</p>	<p>(柏原) H29.4の医師転入に伴う専門外来の認知拡大による増</p> <p>(淡路) H30下期より精神科に加え循環器内科医師の派遣を開始 (柏原) 派遣回数を週1回→週2回へ増加</p> <p>(尼崎) 外来枠の減少(△0.5日/週)に伴う近隣クリニック等への患者分散による減 (淡路) 対象患者の増</p> <p>予定していた生体腎移植の中止や献腎移植の減</p>	<p>○臓器移植における県立病院の役割</p> <table border="1" data-bbox="1626 204 2179 316"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>腎臓移植病院</td> <td>西宮</td> </tr> <tr> <td>臓器提供病院</td> <td>尼崎、西宮、加古川、淡路、こども、姫路、災害</td> </tr> </tbody> </table> <p>○骨髄移植実施病院 ・尼崎総合医療センター ・西宮病院 ・こども病院 ・がんセンター</p> <p>○さい帯血移植病院 ・こども病院 ・がんセンター</p> <p>○さい帯血提供病院 西宮病院</p> <p>○県アレルギー疾患医療拠点病院 こども病院(2018.2.1指定)</p> <p>○アレルギー科設置病院 尼崎総合医療センター、こども病院</p> <p>○アレルギー外来設置病院 ・尼崎総合医療センター (アレルギー科、小児アレルギー科) ・西宮病院(小児科、耳鼻咽喉科) ・加古川医療センター(皮膚科) ・丹波医療センター(小児科) ・こども病院(アレルギー科)</p> <p>○へき地医療における県立病院の役割</p> <table border="1" data-bbox="1626 999 2179 1054"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>へき地医療拠点病院</td> <td>丹波、淡路、</td> </tr> </tbody> </table> <p>○女性総合外来設置病院 ・尼崎総合医療センター(塚口病院より継承) ・淡路医療センター(H16.4開設)</p>	区分	病院名	腎臓移植病院	西宮	臓器提供病院	尼崎、西宮、加古川、淡路、こども、姫路、災害	区分	病院名	へき地医療拠点病院	丹波、淡路、
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																				
尼崎	2,427	1,965	2,319	81.0%																																																																																				
西宮	1,200	1,151	878	95.9%																																																																																				
加古川	1,446	1,488	1,473	102.9%																																																																																				
柏原	800	1,027	840	128.4%																																																																																				
こども	1,260	1,492	1,267	118.4%																																																																																				
合計	7,133	7,123	6,777	99.9%																																																																																				
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																				
淡路	24	36	24	150.0%																																																																																				
柏原	45	98	46	217.8%																																																																																				
合計	69	134	70	194.2%																																																																																				
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																				
尼崎	350	245	333	70.0%																																																																																				
淡路	900	1,161	1,044	129.0%																																																																																				
合計	1,250	1,406	1,377	112.5%																																																																																				
区分	病院名																																																																																							
腎臓移植病院	西宮																																																																																							
臓器提供病院	尼崎、西宮、加古川、淡路、こども、姫路、災害																																																																																							
区分	病院名																																																																																							
へき地医療拠点病院	丹波、淡路、																																																																																							
<p>【個別取組項目】 1 西宮病院</p> <p>(1) 適切な腎移植の実施 (単位：例)</p> <table border="1" data-bbox="421 983 1137 1038"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西宮</td> <td>22</td> <td>12</td> <td>23</td> <td>54.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) さい帯血移植への協力 (単位：例)</p> <table border="1" data-bbox="421 1118 1137 1174"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西宮</td> <td>120</td> <td>98</td> <td>129</td> <td>81.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 地域生活習慣病センターの設置検討(地域糖尿病センターの充実改編)</p>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	西宮	22	12	23	54.5%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	西宮	120	98	129	81.7%	<p>【個別取組項目】 1 西宮病院</p> <p>(3) 地域生活習慣病センターの設置を検討(H31.4.1設置)</p>																																																																			
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																				
西宮	22	12	23	54.5%																																																																																				
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																				
西宮	120	98	129	81.7%																																																																																				

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																							
<p>2 加古川医療センター</p> <p>甲南加古川病院から移管した診療機能（リウマチ科・腎臓内科）の実施</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="286 292 1223 429"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">加古川</td> <td rowspan="2">リウマチ</td> <td>外来</td> <td>21,472</td> <td>20,769</td> <td>20,809</td> <td>96.7%</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>9,490</td> <td>8,550</td> <td>9,032</td> <td>90.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">腎臓内科</td> <td>外来</td> <td>15,128</td> <td>15,519</td> <td>14,876</td> <td>102.6%</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>1,241</td> <td>1,887</td> <td>1,540</td> <td>152.1%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	加古川	リウマチ	外来	21,472	20,769	20,809	96.7%	入院	9,490	8,550	9,032	90.1%	腎臓内科	外来	15,128	15,519	14,876	102.6%	入院	1,241	1,887	1,540	152.1%	<p>2 加古川医療センター</p> <p>子宮動脈塞栓術（UAE）の実施</p> <p style="text-align: right;">(単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="504 572 1223 630"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淡路</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	淡路	5	5	2	100.0%	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>		
病院名	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																						
加古川	リウマチ	外来	21,472	20,769	20,809	96.7%																																					
		入院	9,490	8,550	9,032	90.1%																																					
	腎臓内科	外来	15,128	15,519	14,876	102.6%																																					
		入院	1,241	1,887	1,540	152.1%																																					
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																							
淡路	5	5	2	100.0%																																							
<p>3 淡路医療センター</p> <p>4 こども病院</p> <p>(新) 県アレルギー疾患医療拠点病院の指定を取得し、診断が困難な疾患や標準的治療では病態が安定化しない重症及び難治性アレルギー疾患患者に対し、関係する複数の診療科が連携し、診断、治療、管理を行うほか、県アレルギー計画策定を支援する等によりアレルギー対策を推進</p>	<p>3 淡路医療センター</p> <p>4 こども病院</p> <p>県アレルギー疾患医療拠点病院の指定を受け、県連絡協議会や各拠点病院との連携を図りながら、重症及び難治性アレルギー疾患患者に対する診断、治療、管理を行うとともに、県アレルギー計画の策定を支援</p>	<p>○</p> <p>○</p>																																									

I より良質な医療の提供

項目2 診療機能の効率化（再編・ネットワーク化等）

○ 基本方向	高度専門・特殊医療をさらに充実するとともに、病院運営の一層の効率化を図るため、病院の統合再編を行う。 また、医療資源を有効に活用し、県民に対してより良質な医療を効率的かつ効果的に提供するため、医療連携ネットワークシステムへの参画など、他の医療機関との連携体制を強化する。
○ 取組内容	
1 公立病院等との再編・ネットワーク化	
(1) 尼崎病院と塚口病院を尼崎総合医療センターとして統合再編し、救急医療、小児医療、周産期医療等の充実を図る。	
(2) 柏原病院と柏原赤十字病院を統合再編し、これまで両病院が提供してきた機能を維持・充実させるとともに、地域医療に係わる人材育成の中核病院としての役割を果たす。	
(3) 姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編の取組を推進する。	
(4) 兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方検討委員会の報告を踏まえ、県と西宮市で検討を行う。	
(5) こども病院の移転整備に向け、合併症を持つ妊産婦やキャリアオーバー患者などへの対応等について、神戸市立医療センター中央市民病院との連携方策の検討を進める。	
(6) 県立病院間及び県立病院と他の公立・公的病院等との間において、診療応援等の医療連携の更なる推進を図る。	
(7) セキュリティ対策の確保を図りつつICT（情報通信技術）の活用を図り、地域医療ネットワークシステムへの参画や、ウェブ（インターネットテレビ電話会議システム）を活用した症例検討や遠隔医療の充実など、他の医療機関との情報ネットワーク化を推進する。	
(8) 県養成医が大幅に増加する中、県立病院が参画した形で、県内公立病院等と連携した医師の育成・教育支援に取り組む。	
2 診療科目等の見直し	
(1) 疾病構造や医療ニーズの変化等を踏まえ、診療科目の見直しを行う。	
(2) 地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、診療科別病床数の見直しを行う。	
3 地域医療構想への対応	
平成28年10月に策定された兵庫県地域医療構想において目指すべき医療提供体制の構築に向けた医療機能の分化と連携推進の強化が図られる。これに適切に対応していくため、県立病院間及び他の医療機関との連携を強化し、適宜診療機能の見直しを図るなど、医療ニーズの変化等に適切に対応していく。	

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）
<p>【目標】</p> <p>丹波医療センターのための建設工事を実施する。また、はりま姫路総合医療センター（仮称）においては、地域医療連携推進法人の運営及び基本設計・実施設計を推進する。</p> <p>また、県立病院間及び他の医療機関との連携を強化するとともに、診療科目の見直しなど、医療ニーズの変化等に適切に対応する。</p>	<p>丹波医療センターのための建設工事を実施した。また、はりま姫路総合医療センター（仮称）においては、地域医療連携推進法人の運営及び基本設計・実施設計を推進した。</p> <p>また、県立病院間及び他の医療機関との連携を強化するとともに、診療科目の見直しなど、医療ニーズの変化等に適切に対応した。</p>	○		
<p>【共通取組項目】</p> <p>1 公立病院等との再編・ネットワーク化</p> <p>(1) 柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編整備（丹波医療センターの整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編基本計画」（平成27年2月策定）に基づき、新病院の整備を推進 <p>(2) 姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編整備（はりま姫路総合医療センター（仮称）の整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編基本計画」（平成29年2月策定）に基づき、基本設計・実施設計を完成 地域医療連携推進法人はりま姫路総合医療センター整備推進機構の運営 <p>(3) 西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編病院整備の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 新病院の経営主体・形態、費用の負担方法、跡地利用等に関する県市協議を踏まえた統合再編方針の明確化、新病院の診療機能の検討等を行う 	<p>【共通取組項目】</p> <p>1 公立病院等との再編・ネットワーク化</p> <p>(1) 柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編整備（丹波医療センターの整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編基本計画」（平成27年2月策定）に基づき、新病院を整備（平成31年3月20日竣工） <p>(2) 姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編整備（はりま姫路総合医療センター（仮称）の整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本設計・実施設計を完成 地域医療連携推進法人を適切に運営 <p>(3) 西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編病院整備の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 新病院の経営主体・形態、費用の負担方法、跡地利用等に関する県市協議を踏まえた統合再編基本協定を締結 	○		<p>1 統合再編・建替整備</p> <p>(1) 丹波医療センター</p> <p>平成29年～令和元年：建設工事（平成31年3月20日竣工）</p> <p>令和元年7月1日：開院</p> <p>(2) はりま姫路総合医療センター（仮称）</p> <p>平成29年8月：設計業者決定</p> <p>平成29年9月～平成31年3月：設計</p> <p>令和元年度：着工</p> <p>(3) 西宮病院と西宮市立中央病院</p> <p>「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本協定」締結（平成31年1月21日）</p>

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																														
<p>(4) がんセンターのあり方検討 建替整備の時期を迎えるがんセンターについて、平成29年度に設置した検討委員会において、最新のがん医療の状況や診療報酬改定の状況等を踏まえた今後のあり方について検討</p> <p>(5) 地域医療ネットワークシステムへの参画</p>	<p>(4) がんセンターのあり方検討 あり方検討委員会において、最新のがん医療の状況や診療報酬改定の状況等を踏まえた今後のあり方について検討し、検討報告書を取りまとめ</p>	○		<p>(4) がんセンター がんセンターのあり方検討委員会の開催 平成27年10月27日 第1回 平成30年3月29日 第2回 平成30年7月20日 第3回 平成30年11月6日 第4回 平成31年3月11日 第5回 平成31年3月18日 検討報告書の提出</p>																														
<p>① ”h-Anshin むこねっと”による地域連携の推進（患者データ共有件数） （尼崎、西宮）</p> <table border="1" data-bbox="450 443 1249 555"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>1,088</td> <td>1,202</td> <td>1,196</td> <td>110.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>470</td> <td>454</td> <td>465</td> <td>96.6%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,558</td> <td>1,656</td> <td>1,661</td> <td>106.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 淡路地域医療連携システム（あわじネット）の活用による患者の確保及び地域医療連携体制の強化（参加医療機関数）（淡路）</p> <table border="1" data-bbox="450 655 1249 711"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淡路</td> <td>44</td> <td>45</td> <td>44</td> <td>102.3%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	1,088	1,202	1,196	110.5%	西宮	470	454	465	96.6%	合計	1,558	1,656	1,661	106.3%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	淡路	44	45	44	102.3%	<p>① ”h-Anshin むこねっと”による地域連携の推進（患者データ共有件数） （尼崎、西宮）</p> <p>(単位：件)</p> <p>② 淡路地域医療連携システム（あわじネット）の活用による患者の確保及び地域医療連携体制の強化（参加医療機関数）（淡路）</p> <p>(単位：件)</p>	○ ○		<p>(5) 地域医療ネットワークシステムへの参画 ①h-Anshin むこねっと接続医療機関数： 222 医療機関（R1.6 未現在） ②あわじネット参加医療機関数：44 医療機関 （R1.7.1 現在） ③明石しごせんネット接続医療機関数： 70 医療機関（R1.7.1 現在）</p>
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																														
尼崎	1,088	1,202	1,196	110.5%																														
西宮	470	454	465	96.6%																														
合計	1,558	1,656	1,661	106.3%																														
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																														
淡路	44	45	44	102.3%																														
<p>③ 明石しごせんネットの活用による患者の確保及び地域医療連携体制の強化（がん）</p> <p>④ 但馬・神戸大学等遠隔医療教育ネットワークによるTVカンファレンスの実施（実施回数）（尼崎、柏原）</p> <table border="1" data-bbox="450 895 1249 1007"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>柏原</td> <td>120</td> <td>122</td> <td>117</td> <td>101.7%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>132</td> <td>134</td> <td>129</td> <td>101.5%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	12	12	12	100.0%	柏原	120	122	117	101.7%	合計	132	134	129	101.5%	<p>③ 明石しごせんネットを活用し、患者の確保及び地域医療連携体制を強化（がん）</p> <p>④ 但馬・神戸大学等遠隔医療教育ネットワークによるTVカンファレンスの実施（実施回数）（尼崎、柏原）</p> <p>(単位：回)</p>	○ ○												
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																														
尼崎	12	12	12	100.0%																														
柏原	120	122	117	101.7%																														
合計	132	134	129	101.5%																														
<p>⑤ 遠隔病理診断ネットワークによる神戸大学、長崎大学等とのカンファレンスの実施（淡路）</p> <p>⑥ キャンサーボード（がん医療に関する治療方針等を検討・共有・するためのカンファレンス）を開催するためにテレビ会議システム等を活用したがん診療ネットワークの構築（参加病院：がん、こども、粒子線、陽子線）</p>	<p>⑤ 遠隔病理診断ネットワークによる神戸大学、長崎大学等とのカンファレンスを実施（淡路）</p> <p>⑥ テレビ会議システム等を活用したがん診療ネットワークを構築し、週1回腫瘍ごとにキャンサーボードを開催（参加病院：がん、こども、粒子線、陽子線）</p>	○ ○																																

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）
<p>2 診療科目等の見直し (1) 診療科目の見直し 病院構造や医療ニーズの変化等を踏まえ診療科目の見直しを行う (新)小児感染症内科、小児形成外科の追加(尼崎) (2) 診療科別病床数の見直し 地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、診療科別病床数の見直しを行う</p> <p>3 地域医療構想への対応 兵庫県地域医療構想に適切に対応していくため、県立病院間及び他の医療機関との連携を強化し、適宜診療機能の見直しを図っていく</p> <p>【個別取組項目】 1 こども病院 (1) 基本合意書（H27.10.1 締結）を踏まえた神戸中央市民病院との連携促進 ・医療連携における対象診療科及び症例数の拡充 ・教育・研修における連携 ・医療情報システムの共有 (新)(2) 一般病棟の増床による新規患者の受け入れ促進 ・一般病棟：143床→149床（+6床） （稼働病床：269床→275床（+6床））</p>	<p>2 診療科目等の見直し (1) 診療科目の見直し 病院構造や医療ニーズの変化等を踏まえ診療科目の見直しを実施 ・小児感染症内科、小児形成外科の追加(尼崎) (2) 診療科別病床数の見直し 地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、診療科別病床数の見直しを継続検討</p> <p>3 地域医療構想への対応 兵庫県地域医療構想に適切に対応していくため、県立病院間及び他の医療機関との連携を強化し、診療機能の見直しを継続検討</p> <p>【個別取組項目】 1 こども病院 (1) 基本合意書（H27.10.1 締結）を踏まえた神戸中央市民病院との連携促進 ・医療連携における対象診療科及び症例数の拡充（紹介108件、逆紹介307件、対象診療科22診療科） ・小児科専門医研修プログラムの連携施設として職員の相互受け入れを実施 ・診療情報提供書により医療情報を共有 (2) 一般病棟の増床による新規患者の受け入れ促進 ・5階東（+3床）、6階西（+3床）</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>		<p>○兵庫県地域医療構想（H28.10 策定） ・団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025(平成37)年に向け、地域完結型医療が必要とされている。兵庫県でも、県民の理解のもと、①医療機能の分化・連携、②在宅医療の充実、それを支える③医療従事者の確保を進め、「地域完結型医療」の構築を目的として、地域医療構想を策定 ・圏域毎の地域医療構想における直近の課題・現状を踏まえ、その推進方策を記載する「兵庫県保健医療計画(圏域版)」を平成31年3月に策定</p> <p>○こども病院と神戸市立中央市民病院との連携について 「基本合意書」(H27.10.1 締結)を踏まえた連携促進 ・医療連携会議の開催（3、6、9、12月） ・医療情報システムの連携開始</p>

I より良質な医療の提供

項目4 医療の信頼性の向上

- 基本方向
医療の標準化を進め医療の質の向上を図るため、DPC分析ソフトの活用等により、クリニカルパスの充実等を行うとともに、地域医療連携と効率化の観点から地域連携クリニカルパス適用の促進を図る。
- 取組内容
 - 1 クリニカルパスの充実
5大がんなどの県統一地域連携クリニカルパスの適用を推進するとともに、DPC分析ソフトの活用等により、他病院とのベンチマークを通じたクリニカルパスの充実を図る。
 - 2 EBMの推進
各学会が導入した診療ガイドライン等を参考にしながら、EBMに基づく良質で安全な医療を推進する。
 - 3 病院機能評価
病院機能評価の更新等については、個々の病院の実情に応じて実施する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																						
〔目標〕 クリニカルパスを活用し、良質な医療を効果的かつ効率的に提供する。	DPC分析ソフトの活用等によるクリニカルパスの充実等により、良質な医療の効果的かつ効率的な提供を推進した。	○																																								
〔共通取組項目〕 <ul style="list-style-type: none"> 1 クリニカルパスの充実 <ul style="list-style-type: none"> (1) 5大がんなどの県統一クリニカルパスの適用を推進 (2) 各病院でDPC分析ソフトを活用し、クリニカルパスの充実を図る。(H30計画：483種類(新規も含む)) 2 EBMの推進 各学会が導入した診療ガイドライン等を参考にしながら、EBMに基づく良質で安全な医療を推進 (EBM=Evidence-based Medicine：根拠に基づく医療) 3 病院機能評価 (新) 日本医療機能評価機構による病院機能評価の受審に向けた取組(こども) 	〔共通取組項目〕 <ul style="list-style-type: none"> 1 クリニカルパスの充実 <ul style="list-style-type: none"> (1) 5大がんなどの県統一クリニカルパスの適用を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・大腸がんを追加(西宮) ・脳卒中について、中播磨圏域統一のパスを運用(姫路) (2) 各病院でDPC分析ソフトを活用し、クリニカルパスを充実(H30実績：1,683種類(新規も含む)) 2 EBMの推進 各学会が導入した診療ガイドライン等を参考にしながら、EBMに基づく良質で安全な医療を推進 3 病院機能評価 <ul style="list-style-type: none"> ・日本医療機能評価機構による病院機能評価の受審に向けて受審準備委員会を設置(H31.4認定)(こども) 	○ ○ ○ ○																																								
〔個別取組項目〕 <ul style="list-style-type: none"> 1 尼崎総合医療センター 	〔個別取組項目〕 <ul style="list-style-type: none"> 1 尼崎総合医療センター 	○ △	使用可能なクリニカルパスの拡充及びクリニカルパスの適用率の向上 (単位：件、%)	○病院機能評価の認定状況																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>H30計画①</th> <th>H30実績②</th> <th>H29実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">尼崎</td> <td>使用可能パス数</td> <td>350</td> <td>343</td> <td>314</td> <td>98.0%</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>60</td> <td>46.2</td> <td>41.4</td> <td>77.0%</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	区分	H30計画①	H30実績②	H29実績	②/①	尼崎	使用可能パス数	350	343	314	98.0%	適用率	60	46.2	41.4	77.0%		使用パス数の増加・診療科の拡大により適用率は向上しているが、目標には到達せず	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>認定</th> <th>有効期限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>H29年1月</td> <td>R2年1月</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>H26年9月</td> <td>R元年9月</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>H28年4月</td> <td>R3年3月</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>H31年4月</td> <td>R6年4月</td> </tr> <tr> <td>リハ中</td> <td>H30年12月</td> <td>R5年10月</td> </tr> <tr> <td>リハ西</td> <td>H29年3月</td> <td>R4年3月</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	認定	有効期限	尼崎	H29年1月	R2年1月	西宮	H26年9月	R元年9月	淡路	H28年4月	R3年3月	こども	H31年4月	R6年4月	リハ中	H30年12月	R5年10月	リハ西	H29年3月	R4年3月
病院名	区分	H30計画①	H30実績②	H29実績	②/①																																					
尼崎	使用可能パス数	350	343	314	98.0%																																					
	適用率	60	46.2	41.4	77.0%																																					
病院名	認定	有効期限																																								
尼崎	H29年1月	R2年1月																																								
西宮	H26年9月	R元年9月																																								
淡路	H28年4月	R3年3月																																								
こども	H31年4月	R6年4月																																								
リハ中	H30年12月	R5年10月																																								
リハ西	H29年3月	R4年3月																																								

I より良質な医療の提供

項目5 ICT化の推進

○ 基本方向	患者情報の共有化等によるチーム医療や医療安全対策の推進、業務の合理化・効率化や患者サービスの一層の推進のため、ICT（情報通信技術）の活用を図る。
○ 取組内容	
1 より安全で質の高い医療の実現	(1) 電子カルテシステム等の活用により、システム入力時のエラーチェックなどヒューマンエラーの削減により医療安全対策を進める。 (2) 多職種間で診療情報を共有することによりチーム医療を推進する。 (3) 蓄積された診療情報の比較・分析により、治療の標準化を進めるなど、より一層質の高い医療の実現を図る。
2 患者サービスの一層の向上	(1) 情報伝達の円滑化により診療時間及び待ち時間の短縮を推進する。 (2) 電子カルテシステムを活用することにより、患者に対して視覚的でよりわかりやすい説明に努める。
3 業務の合理化・効率化の推進	診療情報の電子化により、入力・転記作業の廃止、印刷・運送・保管コストの縮減など、経費の圧縮を推進するとともに、蓄積した情報を分析し経営の一層の改善を図る。
4 地域医療連携の充実	セキュリティ対策の確保を図りつつ、地域医療情報システムへの参画を推進するとともに、ウェブ（インターネットテレビ電話会議システム）を活用した症例検討や遠隔医療の充実を語る。
5 ICT推進体制の充実	医療情報業務に従事する専門人材の配置など、院内のICT化推進体制を整備する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）
〔目標〕 電子カルテシステムの更新及び地域医療ネットワークシステムへの参画を計画的に推進し、患者サービスの一層の向上と業務の合理化・効率化を図る。	電子カルテシステムの更新及び地域医療ネットワークシステムへの参画を計画的に推進し、患者サービスの一層の向上と業務の合理化・効率化を図った。	○		
〔共通取組項目〕 1 電子カルテシステムについて、建替整備に合わせてこども病院に導入したことにより全県立病院において導入され、チーム医療や医療安全対策の推進、業務の合理化・効率化や患者サービスの一層の推進のため適切に活用を図る。 2 他の医療機関との情報ネットワーク化の推進 (1) 阪神医療福祉情報ネットワーク（“h-Anshin むこねっと”）の活用による地域連携を推進（尼崎・西宮） 【再掲 P27】 (2) 淡路地域医療連携システム（あわじネット）の活用による患者の確保及び地域医療連携体制の強化（淡路） 【再掲 P27】 (3) 明石在宅医療連携システム（明石しごせんネット）の活用による患者の確保及び地域医療連携体制の強化（がん）【再掲 P27】 (4) 但馬・神戸大学等遠隔医療教育ネットワークによるTVカンファレンスの実施（尼崎、柏原）【再掲 P27】 (5) 遠隔病理診断ネットワークによる神戸大学、長崎大学等とのカンファレンスの実施（淡路）【再掲 P27】 (6) キャンサーボード（がん医療に関する治療方針等を検討・共有するためのカンファレンス）を開催するためにテレビ会議システム等を活用したがん診療ネットワークの構築（参加病院：がん、こども、粒子線、陽子線） 【再掲 P27】	〔共通取組項目〕 1 全県立病院において、チーム医療や医療安全対策の推進、業務の合理化・効率化や患者サービスの一層の推進のため、電子カルテシステムの適切な活用を図った。 2 他の医療機関との情報ネットワーク化の推進 (1) 阪神医療福祉情報ネットワーク（“h-Anshin むこねっと”）の活用による地域連携を推進（尼崎・西宮） 【再掲 P27】 (2) 淡路地域医療連携システム（あわじネット）の活用による患者の確保及び地域医療連携体制を強化（淡路）【再掲 P27】 (3) 明石在宅医療連携システム（明石しごせんネット）の活用による患者の確保及び地域医療連携体制を強化（がん）【再掲 P27】 (4) 但馬・神戸大学等遠隔医療教育ネットワークによるTVカンファレンスを実施（尼崎、柏原）【再掲 P27】 (5) 遠隔病理診断ネットワークによる神戸大学、長崎大学等とのカンファレンスを実施（淡路）【再掲 P27】 (6) テレビ会議システム等を活用したがん診療ネットワークを構築し、週1回腫瘍ごとにキャンサーボードを開催（参加病院：がん、こども、粒子線、陽子線） 【再掲 P27】	○ ○ ○ ○ ○ ○		2 他の医療機関との情報ネットワーク化の推進 (1) h-Anshin むこねっと接続医療機関数： 222 医療機関（R1.6末現在）【再掲 P27】 (2) あわじネット参加医療機関数： 44 医療機関（R1.7.1現在）【再掲 P27】 (3) 明石しごせんネット接続医療機関数： 70 医療機関（R1.7.1現在）【再掲 P27】

I より良質な医療の提供
項目6 県立病院の建替整備等

○ 基本方向

県民に対し良質な医療を提供していくためには、高度専門医療等の医療機能の充実や施設の老朽化、狭隘化等への対応が必要であることから、経営状況及び一般会計の負担を踏まえつつ、計画的な建替整備等を行う。また、移転跡地については、資産の有効活用を図るため、売却することを基本とする。

○ 取組内容

1 建替整備

【平成30年度までの整備計画】

病院名	種別	供用開始	備考(予定)
尼崎総合医療センター	統合再編整備 (尼崎市東難波町)	平成27年7月	平成24～26年度 建設工事
こども病院	建替整備 (中央区港島南町)	平成28年5月	平成25～27年度 建設工事
粒子線医療センター附属神戸陽子線センター	新規整備 (中央区港島南町)	平成29年12月	平成26～27年度 基本設計・実施設計 平成27～29年度 建設工事
柏原病院(丹波医療センター)	統合再編整備 (丹波市氷上町生)	平成31年度上期	平成27～28年度 基本設計・実施設計 平成28～30年度 建設工事・竣工
姫路循環器病センター (はりま姫路総合医療センター(仮称))	統合再編整備 (姫路市神屋町)	平成34年度上期	平成28年度 基本計画 平成29～30年度 基本設計・実施設計 平成31～33年度 建設工事

※ がんセンターについては、がん医療の充実・普及などがんセンターを取り巻く環境や現在地周辺の埋蔵文化財試掘調査結果を踏まえ、建替整備方針を決定する。

※ 兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方検討委員会の報告を踏まえ、県と西宮市で検討を行う。

2 跡地利用

(1) こども病院

既存施設のうち利用可能なものについては活用を図ることとし、適切な事業展開を行う事業者への売却を図る。

(2) 柏原病院

既存施設の利用の可否も含めた有効活用方策を検討する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況(令和元年7月の状況等)
<p>【目標】</p> <p>丹波医療センターの整備、はりま姫路総合医療センター(仮称)の整備を推進する。また、がんセンター、西宮病院についても平成30年度以降の建替整備の方向性を検討していく。</p>	<p>丹波医療センターの整備、はりま姫路総合医療センター(仮称)の整備を推進した。また、がんセンター、西宮病院についても平成30年度以降の建替整備の方向性を検討した。</p>	○		
<p>【共通取組項目】</p> <p>1 建替整備等</p> <p>(1) 柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編整備(丹波医療センターの整備)【再掲P26】</p> <p>「県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編基本計画」(平成27年2月策定)に基づき、新病院の整備を推進</p> <p>(2) 姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編整備(はりま姫路総合医療センター(仮称)の整備)【再掲P26】</p> <p>・「県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編基本計画」(平成29年2月策定)に基づき、基本設計・実施設計を完成</p> <p>・地域医療連携推進法人はりま姫路総合医療センター整備推進機構の運営</p>	<p>【共通取組項目】</p> <p>1 建替整備等</p> <p>(1) 柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編整備(丹波医療センターの整備)【再掲P26】</p> <p>「県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編基本計画」(平成27年2月策定)に基づき、新病院を整備(平成31年3月20日竣工)。</p> <p>(2) 姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編整備(はりま姫路総合医療センター(仮称)の整備)【再掲P26】</p> <p>・基本設計・実施設計を完成</p> <p>・地域医療連携推進法人を適切に運営</p>	○		<p>1 統合再編・建替整備</p> <p>(1) 丹波医療センター【再掲P26】</p> <p>平成29～令和元年：建設工事(平成31年3月20日竣工)</p> <p>令和元年7月1日：開院</p> <p>(2) はりま姫路総合医療センター(仮称)</p> <p>平成29年8月：設計業者決定</p> <p>平成29年9月～平成31年3月：設計</p> <p>令和元年度：着工</p>

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）
<p>(3) 西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編病院整備の検討【再掲 P26】 新病院の経営主体・形態・費用の負担方法、跡地利用等に関する県市協議を踏まえた統合再編方針の明確化、新病院の診療機能の検討等を行う。</p> <p>(4) がんセンターのあり方検討【再掲 P27】 建替整備の時期を迎えるがんセンターについて、平成 29 年度に設置した検討委員会において、最新のがん医療の状況や診療報酬改定の状況等を踏まえた今後のあり方について検討</p> <p>2 跡地利用</p> <p>(1) こども病院 既存施設のうち利用可能なものについては活用を図ることとし、再公募の提案審査結果に基づき、事業者への売却を予定</p> <p>(2) 柏原病院 具体的利活用方策を地元丹波市等と協議</p>	<p>(3) 西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編病院整備の検討【再掲 P26】 新病院の経営主体・形態・費用の負担方法、跡地利用等に関する県市協議を踏まえた統合再編基本協定を締結。</p> <p>(4) がんセンターのあり方検討【再掲 P27】 あり方検討委員会において、最新のがん医療の状況や診療報酬改定の状況等を踏まえた今後のあり方について検討し、検討報告書を取りまとめ。</p> <p>2 跡地利用</p> <p>(1) こども病院 既存施設のうち利用可能なものについては活用を図ることとし、再公募の提案審査結果に基づき、事業者と売買契約を締結（H31.3）。</p> <p>(2) 柏原病院 県と市による跡地活用推進検討会（平成 30 年 11 月設置）において検討。跡地利用に関するニーズ調査を実施</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>		<p>(3) 西宮病院と西宮市立中央病院【再掲 P26】 「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本協定」締結（平成 31 年 1 月 21 日）</p> <p>(4) がんセンター【再掲 P27】 がんセンターのあり方検討委員会の開催 平成 27 年 10 月 27 日 第 1 回 平成 30 年 3 月 29 日 第 2 回 平成 30 年 7 月 20 日 第 3 回 平成 30 年 11 月 6 日 第 4 回 平成 31 年 3 月 11 日 第 5 回 平成 31 年 3 月 18 日 検討報告書の提出</p> <p>2 跡地利用</p> <p>(2) 丹波医療センター 県と市による跡地活用推進検討会（平成 30 年 11 月設置）において検討中</p>

II 安心してかかれる県立病院の実現

項目1 より安全な病院の実現 (1) 医療安全対策等の推進

- 基本方向
 - 患者に安心・安全な医療を提供するため、病院局及び各病院が一体となって組織的に医療事故の発生防止、院内感染の防止を図っていく。
- 取組内容
 - 1 医療安全対策の推進
 - (1) 「医療事故防止標準マニュアル」及び「医療安全管理指針」に基づき、安全な医療を推進する。
 - (2) 県立病院医療安全会議において、県立病院全体の医療安全対策等の検討を行う。
 - (3) 医療事故等調査委員会を適切な時期に開催し、医療事故の原因究明等を行う。
 - (4) 各病院の医療事故防止対策委員会を中心に医療事故防止対策等ととも、医療安全管理者、リスクマネージャーを中心に医療安全対策を推進する。
 - (5) 病院局及び各病院において、医療従事者を対象に、医療安全に関する意識醸成、事故防止策の啓発等を行うための研修会を開催する。
 - (6) 病院局及び各病院において、医療安全に関する情報の収集に努めるとともに、それを一層迅速に周知徹底し、医療安全の確保を図る。
 - (7) 医療における安全管理をより一層向上させるため、引き続き県立病院において発生した医療過誤等の公表を行うことにより、医療事故防止に資する情報を共有する。
 - 2 院内感染の防止
 - (1) 各病院の院内感染防止対策委員会を中心に、院内感染情報の収集や分析、院内感染防止策の検討、職員に対する意識醸成等を行う。
 - (2) 院内感染防止標準マニュアルを活用し、院内感染の防止に努めるとともに、仮に院内感染が発生した場合には速やかに適切な対応を行う。
 - (3) 感染管理認定看護師等の院内の感染防止対策に専従する担当職員を配置するなど体制の充実を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																					
<p>【目標】 病院局及び各病院、診療所が一体となって医療事故の発生防止や院内感染の防止を図る。</p>	<p>病院局及び各病院、診療所が一体となって医療事故の発生防止や院内感染の防止を図った。</p>	○																																							
<p>【共通取組項目】 1 医療安全対策の推進 (1) 医療安全会議における医療安全対策の検討（年3回） (2) 職種別リスク管理委員会におけるヒヤリ・ハット事例の収集分析 (3) 医療安全研修の実施（年1回） (4) 医療安全対策専従職員の役割の明確化による安全管理体制の充実強化（医療事故やヒヤリ・ハット事例の院内ラウンドによる確認・分析等を実施） (5) 医療事故の情報共有及び迅速な公表 (6) 入院患者の服薬指導の充実</p> <p>2 院内感染の防止 (1) 感染防止対策専従職員（認定看護師）の設置拡充 (2) 感染対策会議の開催</p>	<p>【共通取組項目】 1 医療安全対策の推進 (1) 医療安全会議における医療安全対策を検討した（H30実績：3回） (2) 職種別リスク管理委員会におけるヒヤリ・ハット事例の収集分析の結果を医療安全会議（10月）に報告するとともに、事例を活用した方策を実施 (3) 医療安全研修の実施（1回：H30.11.14開催）「医療事故発生時の心構えと対応」 <各病院での取組み> 医療事故防止研修会を定期的に開催（H30実績：110回） (4) 医療安全対策専従職員の基本的な業務を定め、各病院において医療事故やヒヤリ・ハットの再発防止に向けた方策等を実施 (5) 医療事故の情報共有及び迅速な公表原則、翌月に病院運営会議等で報告のうえ、過誤事案等について翌々月に公表を実施 (6) 入院患者の服薬指導を実施</p> <p>2 院内感染の防止 (1) 感染防止対策専従職員（認定看護師）の設置拡充を実施 (2) 感染対策会議を開催（H30.12.26）</p>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	<p>○医療過誤（レベル3b以上）の件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度（～7月）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2件</td> <td>5件</td> <td>4件</td> <td>8件</td> <td>5件</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○裁判での和解と判決の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度（～7月）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>和解</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>判決</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度（～7月）	2件	5件	4件	8件	5件	3件		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度（～7月）	和解	3件	1件	1件	1件	1件	0件	判決	0件	2件	2件	1件	0件	0件	<p>○医療安全管理者の配置(13病院1診療所) ○医療安全部長の配置(10病院) ○リスクマネージャーの配置(13病院1診療所・471名) ○医療安全対策にかかる専従者の配置(10病院)</p> <p>○認定看護師の状況【再掲P18】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定</td> <td>感染管理 尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)、姫路(2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○感染対策会議の開催（H30.12.26）</p>	区分	病院別人数	認定	感染管理 尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)、姫路(2)
H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度（～7月）																																				
2件	5件	4件	8件	5件	3件																																				
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度（～7月）																																			
和解	3件	1件	1件	1件	1件	0件																																			
判決	0件	2件	2件	1件	0件	0件																																			
区分	病院別人数																																								
認定	感染管理 尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(2)、姫路(2)																																								

II 安心してかかれる県立病院の実現

項目1 より安全な病院の実現 (2) 医事紛争への適切な対応

- 基本方向
医療に関する苦情や相談に適切に対応し、医事紛争の発生防止や円満解決に努めるとともに、医療に精通した弁護士を選任するなど、医療訴訟に適切に対応する。
また、国が導入を検討している「医療事故調査制度」に的確に対応する。
- 取組内容
 - 1 各病院と医療紛争相談専門員が連携し、医療に関する苦情や相談に適切に対応する。
 - 2 医療に精通した弁護士を選任し、医療訴訟に適切に対応する。
 - 3 神戸地方裁判所と協力して医療訴訟・鑑定ガイダンスを実施する。
 - 4 「医療事故調査制度」に的確に対応する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																					
〔目標〕 医療に関する苦情や相談に適切に対応し、医事紛争の発生防止や円満解決に努める。	医療訴訟ガイダンスを実施し、医療訴訟への適切な対応推進に努めた。 医療事故調査制度について、県立病院の医療事故の院内調査、報告などについて他の医療機関や医師会等と連携して適切な対応に務めた。	○																							
〔共通取組項目〕 1 県立病院における医療訴訟への適切な対応 (H28実績：1件→H30.2まで：1件) 2 医療訴訟への適切な対応の推進 3 医療事故調査制度への対応 自病院で予期しない死亡が発生した場合は、医療事故調査・支援センターへの報告等速やかに対応 (H28実績：6件→H29.12まで：2件)	〔共通取組項目〕 1 県立病院における医療訴訟への適切な対応 (H29実績：1件→H30実績：1件) 2 医療訴訟への適切な対応の推進 神戸地方裁判所が実施する医療訴訟ガイダンスを実施 (尼崎) 3 医療事故調査制度への対応 自病院で予期しない死亡が発生した場合は、医療事故調査・支援センターへの報告等速やかに対応 (H31.3まで：14件)	○ ○ ○	○病院局に医療紛争相談専門員（1名）を配置 ○各病院に医療相談窓口を設置 ○県医療担当の弁護士：3名 ○毎年、神戸地方裁判所と協力して医療訴訟・鑑定ガイダンスを実施（令和元年度は、西宮、こども、姫路で開催予定） ○県立病院における医療訴訟件数の推移（新たに訴えられた件数）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度（～7月）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規件数</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>総件数</td> <td>8件</td> <td>8件</td> <td>6件</td> <td>5件</td> <td>6件</td> <td>6件</td> </tr> </tbody> </table> ※指定管理を除く	年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度（～7月）	新規件数	3件	3件	1件	1件	1件	0件	総件数	8件	8件	6件	5件	6件	6件
年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度（～7月）																			
新規件数	3件	3件	1件	1件	1件	0件																			
総件数	8件	8件	6件	5件	6件	6件																			

II 安心してかかれる県立病院の実現

項目2 患者の立場に立った医療の推進 (1) 患者サービスの向上

- 基本方向
 外来待ち時間の短縮や退院患者に対する相談体制の充実等、引き続き各種の取り組みを推進することにより、患者サービスの向上を図る。
- 取組内容
- 1 外来待ち時間の短縮
 - (1) ICTシステム等を拡充し、検査、会計等での待ち時間を短縮する。
 - (2) 地域医療連携室や予約センターにおいて外来診療予約を実施し、診療の待ち時間を短縮する。
 - 2 患者の退院に向けた相談体制の強化
 患者とその家族が抱える退院後の生活支援を行うため、医療福祉相談員を充実するなど相談体制の強化を図る。
 - 3 平均在院日数の短縮及び入院待機患者の縮減
 - (1) 入院患者の逆紹介を促進する。
 - (2) クリニカルパス及び地域連携クリニカルパスを活用し、計画的な診療を実施する。
 - (3) 検査・治療機器、手術室等を計画的に稼働する。
 - 4 アメニティーの充実等
 - (1) トイレ、洗面所など、患者及び来院者が利用する施設、設備をより快適なものに整備・充実する。
 - (2) 患者の心にゆとりや潤いを与えるため屋上緑化を推進する。
 - (3) 選択メニューの拡充など、患者給食を充実する。
 - (4) 全県立病院において敷地内禁煙を継続的に取り組む。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																																						
<p>【目標】 外来待ち時間の短縮、平均在院日数の短縮、快適な療養環境の確保により患者サービスを向上する。</p> <p>【共通取組項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 外来待ち時間の短縮 各病院において地域医療連携室や予約センターでの外来診療予約の実施等により外来待ち時間の短縮を図る。 2 患者の退院に向けた相談体制の強化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 入院前検査センターの充実 	<p>外来待ち時間の短縮、平均在院日数の短縮、快適な療養環境の確保により患者サービスの向上を図った。</p> <p>【共通取組項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 外来待ち時間の短縮 各病院において地域医療連携室や予約センターでの外来診療予約の実施等により外来待ち時間の短縮を図った。 2 患者の退院に向けた相談体制の強化 	○																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">H30 計画</th> <th colspan="2">H30 実績</th> <th colspan="2">H29 実績</th> <th rowspan="2">②/①</th> </tr> <tr> <th>対象パス</th> <th>件数①</th> <th>対象パス</th> <th>件数②</th> <th>対象パス</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>15</td> <td>20,100</td> <td>288</td> <td>21,303</td> <td>18</td> <td>18,533</td> <td>106.0%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>29</td> <td>2,150</td> <td>33</td> <td>2,397</td> <td>38</td> <td>2,268</td> <td>111.5%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>4</td> <td>190</td> <td>8</td> <td>1,238</td> <td>4</td> <td>157</td> <td>651.6%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>18</td> <td>4,500</td> <td>27</td> <td>5,362</td> <td>12</td> <td>4,723</td> <td>119.2%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>—</td> <td>7,200</td> <td>—</td> <td>5,425</td> <td>—</td> <td>8,376</td> <td>75.3%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>20</td> <td>1,300</td> <td>21</td> <td>3,308</td> <td>20</td> <td>1,280</td> <td>254.5%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>86</td> <td>35,440</td> <td>377</td> <td>39,033</td> <td>92</td> <td>35,337</td> <td>110.1%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画		H30 実績		H29 実績		②/①	対象パス	件数①	対象パス	件数②	対象パス	件数	尼崎	15	20,100	288	21,303	18	18,533	106.0%	西宮	29	2,150	33	2,397	38	2,268	111.5%	加古川	4	190	8	1,238	4	157	651.6%	淡路	18	4,500	27	5,362	12	4,723	119.2%	こども	—	7,200	—	5,425	—	8,376	75.3%	姫路	20	1,300	21	3,308	20	1,280	254.5%	合計	86	35,440	377	39,033	92	35,337	110.1%	<p>(単位：件、件（延件数）)</p>	○	<p>(加古川) 腰椎後方除圧術、前立腺針生検等のパスの追加に伴う増 (こども) 手術件数の減 (姫路) 入院前の患者にきめ細かく対応</p>	<p>○入院前検査センターの設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎（検査・入院説明センター：H27.7 設置） ・西宮（入退院支援センター：H30.7 設置） ・加古川（入院サポートセンター：H28.1 設置） ・淡路（入退院支援センター：H30.9 設置） ・こども（入院前検査センター：H28.5 設置） ・姫路（入院支援センター：H24.12 設置）
病院名		H30 計画		H30 実績		H29 実績			②/①																																																																	
	対象パス	件数①	対象パス	件数②	対象パス	件数																																																																				
尼崎	15	20,100	288	21,303	18	18,533	106.0%																																																																			
西宮	29	2,150	33	2,397	38	2,268	111.5%																																																																			
加古川	4	190	8	1,238	4	157	651.6%																																																																			
淡路	18	4,500	27	5,362	12	4,723	119.2%																																																																			
こども	—	7,200	—	5,425	—	8,376	75.3%																																																																			
姫路	20	1,300	21	3,308	20	1,280	254.5%																																																																			
合計	86	35,440	377	39,033	92	35,337	110.1%																																																																			
<p>(2) PFM※導入により患者の入退院管理最適化を推進（尼崎、淡路）</p> <p>※ PFM(Patient Flow Management)：予定入院患者の情報を入院前に把握し、問題解決に早期に着手すると同時に、病床の管理を合理的に行う等を目的とする仕組み</p>	<p>(2) PFM導入により患者の入退院管理最適化を推進（尼崎、淡路）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PFM看護師の所属変更(看護部→地域医療連携部)による退院支援強化、入院決定当日アセスメント及び内科系疾患の当日アセスメントを導入（尼崎） ・入院前検査センターを入退院支援センターに改編してPFMを導入し、対象疾患の拡大を推進（淡路） 	○																																																																								

II 安心してかかれる県立病院の実現

項目2 患者の立場に立った医療の推進 (3) 県民等への情報発信の推進

○ 基本方向

広報誌やインターネットなど様々なメディアを通じて、県民や地域の医療機関等に対して県立病院の情報をわかりやすく発信し、患者の病院選択の一助とするとともに、地域医療連携の推進を図る。

○ 取組内容

- 1 ホームページのコンテンツの充実及び適時適切な更新により、患者、地域医療機関への積極的な情報提供を図る。
- 2 県立病院への就職を考える医療関係者が最新の情報にアクセスできるよう、病院の紹介や採用情報をタイムリーにホームページ等に掲載する。
- 3 地域の医療機関向けに情報誌を定期的に発行する。
- 4 報道機関等に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供する。
- 5 「県民だよりひょうご」や病院所在市町の広報誌に県立病院に関する情報を掲載する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																												
<p>〔目標〕 各病院及び診療所によるホームページでの情報発信や広報誌等の定期的な発行、「県民だよりひょうご」等の広報誌により県立病院の情報をわかりやすく提供する。</p>	<p>ホームページでの情報発信や情報誌の定期的な発行、「県民だよりひょうご」等の広報誌への情報の掲載等により、県立病院に関する積極的な情報提供を行った。</p>	○																																														
<p>〔共通取組項目〕 1 各病院及び診療所で、ホームページを随時更新し、県民に対して最新情報を提供 2 各病院及び診療所で、地域医療機関又は県民向けの情報誌を定期的に発行 3 各病院及び診療所で、報道機関等に対し、県立病院に関する情報を提供 4 病院局で、「県民だよりひょうご」等に県立病院に関する情報を掲載</p> <p>〔個別取組項目〕 1 加古川医療センター (1) 住民向け講演会等の開催 (2) P R用印刷物の作成等による情報発信の強化 (3) ドクターヘリを中心とした見学会の開催 2 淡路医療センター (新) 病院ホームページの全面リニューアル 3 柏原病院 広報誌の丹波市内全戸配布 4 がんセンター (新) 広報誌のリニューアル</p>	<p>〔共通取組項目〕 1 各病院及び診療所で、ホームページを随時更新し、県民に対して最新情報を提供 2 各病院及び診療所で、地域医療機関又は県民向けの情報誌を定期的に発行 3 各病院及び診療所で、報道機関等に対し、県立病院に関する情報を提供 4 病院局で、「県民だよりひょうご」等に県立病院に関する情報を掲載 「県民だよりひょうご」にドクターヘリ見学会(加古川)、新病院の整備情報(柏原)、県民向けフォーラム(姫路)に関する情報を掲載</p> <p>〔個別取組項目〕 1 加古川医療センター (1) 住民向け講演会等の開催 県かこ県民フォーラムを開催(H30.9.22) (2) P R用印刷物の作成等による情報発信の強化 地域連携ニュースレターを発行 (3) ドクターヘリを中心とした見学会の開催 見学会を開催(H30.8.5) 2 淡路医療センター 病院ホームページをCMS対応に全面リニューアル 3 柏原病院 広報誌の丹波市内全戸配布 「地域医療連携室だより」を各号21,500部作成し、丹波市内全戸に配布 4 がんセンター 広報誌を視覚的に見やすい内容にリニューアル</p>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		<p>○診療案内は、神戸陽子を除く13病院で発行済</p> <p>○各県立病院で地域医療機関向け情報誌を定期的に発行</p> <p>★広報誌の発行状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発行頻度</th> <th>病院名</th> <th>情報誌名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">年1回</td> <td>粒子線</td> <td>ニュースレター</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>医療ニュース</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">年2回</td> <td>陽子線</td> <td>ニュースレター</td> </tr> <tr> <td>リハ中央</td> <td>地域医療連携だより</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">年3回</td> <td>丹波</td> <td>がん相談支援センターだより</td> </tr> <tr> <td>リハ西播磨</td> <td>ひかりの都</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">年4回</td> <td>西宮</td> <td>はまかぜ</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>くこうみ県病だより</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>光る風</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>地域医療連携室だより</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">年6回</td> <td>こども</td> <td>げんきカエル</td> </tr> <tr> <td>粒子線</td> <td>粒子線医療センターだより</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>県かこ地域医療連携ニュース</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">月1回</td> <td>がん</td> <td>かけはし</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>地域医療連携 NEWS</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">月1回</td> <td>尼崎</td> <td>あまが咲だより</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>あじさい</td> </tr> </tbody> </table>	発行頻度	病院名	情報誌名	年1回	粒子線	ニュースレター	がん	医療ニュース	年2回	陽子線	ニュースレター	リハ中央	地域医療連携だより	年3回	丹波	がん相談支援センターだより	リハ西播磨	ひかりの都	年4回	西宮	はまかぜ	淡路	くこうみ県病だより	こころ	光る風	丹波	地域医療連携室だより	年6回	こども	げんきカエル	粒子線	粒子線医療センターだより	加古川	県かこ地域医療連携ニュース	月1回	がん	かけはし	姫路	地域医療連携 NEWS	月1回	尼崎	あまが咲だより	姫路	あじさい
発行頻度	病院名	情報誌名																																														
年1回	粒子線	ニュースレター																																														
	がん	医療ニュース																																														
年2回	陽子線	ニュースレター																																														
	リハ中央	地域医療連携だより																																														
年3回	丹波	がん相談支援センターだより																																														
	リハ西播磨	ひかりの都																																														
年4回	西宮	はまかぜ																																														
	淡路	くこうみ県病だより																																														
	こころ	光る風																																														
	丹波	地域医療連携室だより																																														
年6回	こども	げんきカエル																																														
	粒子線	粒子線医療センターだより																																														
	加古川	県かこ地域医療連携ニュース																																														
月1回	がん	かけはし																																														
	姫路	地域医療連携 NEWS																																														
月1回	尼崎	あまが咲だより																																														
	姫路	あじさい																																														

II 安心してかかれる県立病院の実現

項目2 患者の立場に立った医療の推進 (4) インフォームド・コンセントの充実等

○ 基本方向	患者自身の治療法の理解と選択を支援するため、インフォームド・コンセントやセカンド・オピニオンを充実する。 また、病院と患者との信頼関係を向上するため、患者からのカルテ開示の請求に対応する。
○ 取組内容	1 電子カルテ等を活用し、患者の立場に立ったわかりやすいインフォームド・コンセントを実施する。 2 患者の自己決定権を尊重した医療を実施するため、セカンド・オピニオンを推進する。 3 患者からカルテ開示請求がなされた場合には、「個人情報の保護に関する条例」に基づき、適切に開示を行う。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																												
〔目標〕 患者の視点に立ったわかりやすいインフォームド・コンセントやセカンド・オピニオン等を実施する。	患者の視点に立ったわかりやすいインフォームド・コンセントに努めたほか、セカンド・オピニオンや患者の求めに応じたカルテ開示を適切に実施した。	○																														
〔共通取組項目〕 1 患者の視点に立った分かりやすいインフォームド・コンセントの実施 2 患者自らの治療法の選択に資するセカンド・オピニオンの実施 (H28実績:649件→H29年11月まで:450件) 3 開示請求に基づく適切なカルテ開示の実施 (H28実績:397件→H29年12月まで:218件)	〔共通取組項目〕 1 患者の視点に立った分かりやすいインフォームド・コンセントの実施 ・パンフレットや治療のしおりを更新し、これらを使用しながら、現場スタッフが適切に対応（粒子線） 2 患者自らの治療法の選択に資するセカンド・オピニオンの実施 (H29実績:640件→H30実績:544件) 3 開示請求に基づく適切なカルテ開示の実施 (H29実績:328件→H30実績:372件)	○	○セカンド・オピニオンの実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>989件</td> <td>717件</td> <td>642件</td> <td>649件</td> <td>640件</td> <td>544件</td> </tr> </tbody> </table> ○カルテ開示状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>338件</td> <td>338件</td> <td>404件</td> <td>397件</td> <td>328件</td> <td>372件</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	件数	989件	717件	642件	649件	640件	544件	年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	件数	338件	338件	404件	397件	328件	372件	
年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度																										
件数	989件	717件	642件	649件	640件	544件																										
年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度																										
件数	338件	338件	404件	397件	328件	372件																										

II 安心してかかれる県立病院の実現

項目3 地域医療連携の推進

- 基本方向
 - 医療資源を有効に活用し、効果的かつ効率的に医療サービスを提供するため、地域連携を推進し、紹介率及び逆紹介率のより一層の向上を図る。
- 取組内容
 - 1 地域医療連携体制等の充実
 - (1) 医療福祉相談員の充実など、地域医療との連携や患者相談を一層推進できる体制の整備を行う。
 - (2) インターネット等による診療・検査予約の拡充や地域医療ネットワークシステムへの参画など、ICTを活用し、患者紹介システムの利便性の向上を図る。
 - (3) 各圏域で開催している地域医療連携担当者会議へ積極的に参画する。
 - 2 紹介率の向上
 - (1) ホームページや広報誌などを活用し、患者、地域医療機関に対して、治療実績等の積極的な情報提供を行う。
 - (2) 地域の医療機関との情報交換、研修会、症例検討会等を拡充する。
 - (3) 治療中や治療終了時に、患者の治療状況等を紹介元医療機関に報告する。
 - (4) 医師会等に県立病院の治療実績等を報告する。
 - 3 逆紹介率の向上
 - (1) 地域連携クリニカルパスの導入を促進する。
 - (2) 円滑な退院支援のため、後送病院、施設等を幅広く確保する。
 - (3) 在宅医療、介護サービス等との連携体制の構築を検討する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																								
<p>〔目標〕</p> <p>地域医療支援病院及び地域がん診療連携拠点病院等は、その役割を踏まえ、医療機器の共同利用の促進や、地域の医療従事者等への研修、相談、情報提供等を行うとともに、地域連携クリニカルパス等の推進を図るなど、地域医療連携を推進する。</p> <p>また、他の病院及び診療所においても、オープンセミナー等の実施や地域連携クリニカルパス等の推進により、地域医療連携の推進を図る。</p>	<p>地域医療支援病院及び地域がん診療連携拠点病院において、医療機器の共同利用や、地域の医療従事者等への研修、相談、情報提供等を実施した。</p> <p>また、地域連携クリニカルパスの導入や連携調整により、地域医療機関との連携体制の構築を推進した。</p>	○																																										
<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 地域医療支援病院の取組</p> <p>(1) 医療機器の共同利用件数</p> <p style="text-align: right;">(単位：件)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>1,035</td> <td>1,096</td> <td>1,071</td> <td>105.9%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>850</td> <td>718</td> <td>912</td> <td>84.5%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>500</td> <td>488</td> <td>480</td> <td>97.6%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>1,010</td> <td>1,016</td> <td>1,007</td> <td>100.6%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>140</td> <td>151</td> <td>143</td> <td>107.9%</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>—</td> <td>MR24件, RI23件</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,535</td> <td>3,516</td> <td>3,613</td> <td>99.5%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	1,035	1,096	1,071	105.9%	西宮	850	718	912	84.5%	加古川	500	488	480	97.6%	淡路	1,010	1,016	1,007	100.6%	姫路	140	151	143	107.9%	こころ	—	MR24件, RI23件	—	—	合計	3,535	3,516	3,613	99.5%	<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 地域医療支援病院の取組</p>	○ ○ ○ ○ ○		
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																								
尼崎	1,035	1,096	1,071	105.9%																																								
西宮	850	718	912	84.5%																																								
加古川	500	488	480	97.6%																																								
淡路	1,010	1,016	1,007	100.6%																																								
姫路	140	151	143	107.9%																																								
こころ	—	MR24件, RI23件	—	—																																								
合計	3,535	3,516	3,613	99.5%																																								

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																																																																																																																																
<p>(3) 訪問看護師との看看連携会議等の開催</p> <p>(単位：回)</p> <table border="1" data-bbox="533 252 1252 579"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>尼崎</td><td>6</td><td>6</td><td>10</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>西宮</td><td>48</td><td>31</td><td>60</td><td>64.6%</td></tr> <tr><td>加古川</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>淡路</td><td>5</td><td>4</td><td>5</td><td>80.0%</td></tr> <tr><td>柏原</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>こども</td><td>20</td><td>20</td><td>28</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>がん</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>150.0%</td></tr> <tr><td>姫路</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>リハ中央</td><td>10</td><td>23</td><td>21</td><td>230.0%</td></tr> <tr><td>リハ西播磨</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>103</td><td>99</td><td>139</td><td>96.1%</td></tr> </tbody> </table> <p>〔個別取組項目〕</p> <p>1 尼崎総合医療センター 社協コラボ出前型セミナーのエリア拡大（伊丹を追加）</p> <p>2 西宮病院</p> <p>(1) 眼科オープンシステムの導入</p> <p>(単位：回)</p> <table border="1" data-bbox="504 826 1223 882"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西宮</td> <td>25</td> <td>11</td> <td>21</td> <td>44.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 腎臓病教室の開催</p> <p>(単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="504 962 1223 1018"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西宮</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 淡路医療センター （新）(1) PFMの導入【再掲 P37】 (2) 地域包括ケアシステムの推進 「淡路島を医療で元気にする会－元気な医療・介護連携をともに考える－」の開催</p>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	6	6	10	100.0%	西宮	48	31	60	64.6%	加古川	6	6	6	100.0%	淡路	5	4	5	80.0%	柏原	3	3	4	100.0%	こども	20	20	28	100.0%	がん	2	3	2	150.0%	姫路	2	2	2	100.0%	リハ中央	10	23	21	230.0%	リハ西播磨	1	1	1	100.0%	合計	103	99	139	96.1%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	西宮	25	11	21	44.0%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	西宮	7	7	7	100.0%	<p>(3) 訪問看護師との看看連携会議等の開催</p> <p>(単位：回)</p> <table border="1" data-bbox="533 252 1252 579"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>尼崎</td><td>6</td><td>6</td><td>10</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>西宮</td><td>48</td><td>31</td><td>60</td><td>64.6%</td></tr> <tr><td>加古川</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>淡路</td><td>5</td><td>4</td><td>5</td><td>80.0%</td></tr> <tr><td>柏原</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>こども</td><td>20</td><td>20</td><td>28</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>がん</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td><td>150.0%</td></tr> <tr><td>姫路</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>リハ中央</td><td>10</td><td>23</td><td>21</td><td>230.0%</td></tr> <tr><td>リハ西播磨</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>103</td><td>99</td><td>139</td><td>96.1%</td></tr> </tbody> </table> <p>〔個別取組項目〕</p> <p>1 尼崎総合医療センター 未実施</p> <p>2 西宮病院</p> <p>(1) 眼科オープンシステムの導入</p> <p>(単位：回)</p> <table border="1" data-bbox="504 826 1223 882"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西宮</td> <td>25</td> <td>11</td> <td>21</td> <td>44.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 腎臓病教室の開催</p> <p>(単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="504 962 1223 1018"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西宮</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 淡路医療センター (1) 入院前検査センターを入退院支援センターに改編し、PFMを導入【再掲 P37】 (2) 地域包括ケアシステムの推進 引き続き開催</p>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	尼崎	6	6	10	100.0%	西宮	48	31	60	64.6%	加古川	6	6	6	100.0%	淡路	5	4	5	80.0%	柏原	3	3	4	100.0%	こども	20	20	28	100.0%	がん	2	3	2	150.0%	姫路	2	2	2	100.0%	リハ中央	10	23	21	230.0%	リハ西播磨	1	1	1	100.0%	合計	103	99	139	96.1%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	西宮	25	11	21	44.0%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	西宮	7	7	7	100.0%	<p>○</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>○</p> <p>▲</p> <p>▲</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>(西宮)</p> <p>開始時期の遅れに伴う減</p> <p>(がん)</p> <p>訪問看護師との連携を強化</p> <p>(リハ中央)</p> <p>退院前合同カフェスにおける訪問看護師との連携を促進</p> <p>尼崎市社協を通じて伊丹市社協にセミナー開催を打診したが、調整がつかなかった</p> <p>システム登録クリニックでの対象患者数の減</p>	
	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																																																																																															
尼崎	6	6	10	100.0%																																																																																																																																																																
西宮	48	31	60	64.6%																																																																																																																																																																
加古川	6	6	6	100.0%																																																																																																																																																																
淡路	5	4	5	80.0%																																																																																																																																																																
柏原	3	3	4	100.0%																																																																																																																																																																
こども	20	20	28	100.0%																																																																																																																																																																
がん	2	3	2	150.0%																																																																																																																																																																
姫路	2	2	2	100.0%																																																																																																																																																																
リハ中央	10	23	21	230.0%																																																																																																																																																																
リハ西播磨	1	1	1	100.0%																																																																																																																																																																
合計	103	99	139	96.1%																																																																																																																																																																
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																																																																																																
西宮	25	11	21	44.0%																																																																																																																																																																
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																																																																																																
西宮	7	7	7	100.0%																																																																																																																																																																
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																																																																																																
尼崎	6	6	10	100.0%																																																																																																																																																																
西宮	48	31	60	64.6%																																																																																																																																																																
加古川	6	6	6	100.0%																																																																																																																																																																
淡路	5	4	5	80.0%																																																																																																																																																																
柏原	3	3	4	100.0%																																																																																																																																																																
こども	20	20	28	100.0%																																																																																																																																																																
がん	2	3	2	150.0%																																																																																																																																																																
姫路	2	2	2	100.0%																																																																																																																																																																
リハ中央	10	23	21	230.0%																																																																																																																																																																
リハ西播磨	1	1	1	100.0%																																																																																																																																																																
合計	103	99	139	96.1%																																																																																																																																																																
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																																																																																																
西宮	25	11	21	44.0%																																																																																																																																																																
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																																																																																																																
西宮	7	7	7	100.0%																																																																																																																																																																

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																																										
<p>4 柏原病院</p> <p>(1) オープンセミナー等の開催（開催回数） (単位：回)</p> <table border="1" data-bbox="501 284 1220 339"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柏原</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>91.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ポータブルX線撮影装置による出張撮影等（撮影回数） (単位：回)</p> <table border="1" data-bbox="501 416 1220 472"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柏原</td> <td>60</td> <td>70</td> <td>63</td> <td>116.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 診療機器の共同利用の促進 (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="356 560 1220 644"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">柏原</td> <td>C T</td> <td>450</td> <td>427</td> <td>437</td> <td>94.9%</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>550</td> <td>433</td> <td>505</td> <td>78.7%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	柏原	12	11	12	91.7%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	柏原	60	70	63	116.7%	病院名	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	柏原	C T	450	427	437	94.9%	MR I	550	433	505	78.7%	<p>4 柏原病院</p> <p>(1) オープンセミナー等の開催（開催回数） (単位：回)</p> <table border="1" data-bbox="501 284 1220 339"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柏原</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>91.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ポータブルX線撮影装置による出張撮影等（撮影回数） (単位：回)</p> <table border="1" data-bbox="501 416 1220 472"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柏原</td> <td>60</td> <td>70</td> <td>63</td> <td>116.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 診療機器の共同利用の促進 (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="356 560 1220 644"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">柏原</td> <td>C T</td> <td>450</td> <td>427</td> <td>437</td> <td>94.9%</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>550</td> <td>433</td> <td>505</td> <td>78.7%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	柏原	12	11	12	91.7%	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	柏原	60	70	63	116.7%	病院名	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	柏原	C T	450	427	437	94.9%	MR I	550	433	505	78.7%	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>		
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																										
柏原	12	11	12	91.7%																																																																										
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																										
柏原	60	70	63	116.7%																																																																										
病院名	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																									
柏原	C T	450	427	437	94.9%																																																																									
	MR I	550	433	505	78.7%																																																																									
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																										
柏原	12	11	12	91.7%																																																																										
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																										
柏原	60	70	63	116.7%																																																																										
病院名	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																									
柏原	C T	450	427	437	94.9%																																																																									
	MR I	550	433	505	78.7%																																																																									
<p>5 こども病院</p> <p>在宅療養支援の積極的な推進</p> <p>①在宅療養移行支援病棟の運用（17床）</p> <p>②医療評価入院の実施 (※在宅管理適性度判断目的の短期入院)</p> <p>③ 看護相談外来の積極的な展開（看護相談外来相談件数） (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="512 890 1229 946"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども</td> <td>2,500</td> <td>1,948</td> <td>1,627</td> <td>77.9%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	こども	2,500	1,948	1,627	77.9%	<p>5 こども病院</p> <p>在宅療養支援を積極的に推進</p> <p>①在宅療養移行支援病棟を開設・運用</p> <p>②医療評価入院を実施</p> <p>③ 看護相談外来の積極的な展開（看護相談外来相談件数） (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="512 890 1229 946"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども</td> <td>2,500</td> <td>1,948</td> <td>1,627</td> <td>77.9%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	こども	2,500	1,948	1,627	77.9%	<p>○</p> <p>○</p> <p>△</p>	<p>制度のPR不足</p>																																																							
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																										
こども	2,500	1,948	1,627	77.9%																																																																										
病院名	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①																																																																										
こども	2,500	1,948	1,627	77.9%																																																																										

Ⅲ 自立した経営の確保

項目1 経営目標の設定と評価の明確化

○ 基本方向	当期純損益が黒字化した平成22年度以降3期連続して黒字を達成しており、引き続き黒字基調の経営を行う。 なお、尼崎総合医療センター、こども病院等の建替・移転等により純損益は病院事業全体で一時的にマイナスになると見込まれるものの、経営改革の取り組みを進めることにより、早期に病院事業全体での純損益の収支均衡を図る。
○ 取組内容	
1 経営目標の設定	(1) 各年度の経営実施計画を策定し、具体的数値目標、経営改善方策及び責任者を明確にしたうえで、経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図る。 (2) 目標は、財務に関する指標だけでなく、専門的な手技手法による治療件数等診療機能の充実に向けた指標を定め、その達成が職員のさらなる意欲向上につながる評価の仕組みを継続する。 (3) 外部委員等による計画達成状況の評価、課題の明確化、経営改善に向けた措置勧告を受ける仕組みを継続する。
2 会計制度改正への対応	(1) 国の公営企業会計基準の見直しに基づき標記方法を改め、公立病院以外の病院との経営指標の比較を可能にすることにより、会計の透明性を高める。 ① 企業債等の借入資本金を負債計上する。 ② 引当金計上の義務化に伴い、退職給付引当金・賞与引当金を費用計上する。 ③ みなし償却制度が廃止されることから、整備財源の有無に関わらず、整備費総額を減価償却費として計上する。 ④ 資本的収支に係る一般会計負担金は、長期前受金として負債計上した後、減価償却費の費用計上に合わせて、長期前受金戻入額として、収益的収支に収益計上する。 (2) 経営実施計画及びその達成状況は、病院事業全体及び病院ごとに、県民が理解しやすいように公表する。
3 持続的な経営への取り組み	(1) 新病院開設時には、入院患者抑制等により一時的に収支は悪化するが、速やかに患者確保を図ることなどにより、収支の悪化を抑制する。 (2) 自立した経営を維持するため、一定の内部留保資金残高の確保を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）
【目標】 平成30年度は、神戸陽子線センターの開設（平成29年12月）に伴い一時的な収支悪化が見込まれるが、診療報酬改定への確かな対応など、各病院が、引き続き収益の確保、費用の抑制に努め、病院事業全体で6億円の経常黒字を目指す。	一部診療科の医師数減少による減収や神戸陽子線センターの本格稼働による費用増等があったものの、各病院が収益の確保及び費用の抑制に取り組む、経常損益は3億82百万円の赤字となったが、純損益は21百万円の黒字を確保	△	加古川医療センター等における一部診療科の医師数減少による減収等により収支が悪化した。旧こども病院の土地・建物売却益等により、収益を確保	
【共通取組項目】 1 経営目標の設定 (1) 病院別の経営実施計画、数値目標を設定し、院長、管理局長を中心に経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図る。 (2) 経営目標の設定と評価の明確化 ① 経営目標の設定 病院別の経営実施計画策定にあたっては、数値目標として手術件数及び救急搬送患者数等も設定 ② 計画達成状況の評価等 病院別の月次経営分析及び進行管理の実施 2 会計制度への対応 (1) 退職給付引当金、賞与引当金の計上など、地方公営企業会計基準の見直しに基づく会計処理を実施 (2) 県のホームページに病院事業全体、病院別の経営状況などを公表	【共通取組項目】 1 経営目標の設定 (1) 病院別の経営実施計画、数値目標を設定し、院長、管理局長を中心に経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図る。 (2) 経営目標の設定と評価の明確化 ① 経営目標の設定 病院別の経営実施計画策定にあたり、手術件数、救急搬送患者数、平均在院日数等も設定し、数値目標を明確化 ② 計画達成状況の評価等 毎月の病院運営会議、管理局長会議で計画の進捗状況を報告し各病院の課題や取組状況など意見交換を実施 2 会計制度改正への対応 (1) 退職給付引当金、賞与引当金の計上など、地方公営企業会計基準の見直しに基づく会計処理を実施 (2) 県のホームページに病院事業全体、病院別の経営状況などを公表 また、各病院の毎月の業務量を速やかに県のホームページに公表	○ ○ ○ ○ ○ ○		1 令和元年度の経営目標の設定 ・病院別の経営実施計画（数値目標を含む）を策定 ・病院別の月次収支分析及び計画の達成状況を進行管理

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																
<p>3 持続的な経営への取り組み</p> <p>(1) 粒子線医療センター附属神戸陽子線センターについて、一時的に収支は悪化するが、速やかに患者確保を図ることなどにより、収支改善に努める</p> <p>(2) 平成30年度末の内部留保資金残高：24億円</p>	<p>3 持続的な経営への取り組み</p> <p>(1) 粒子線医療センター附属神戸陽子線センターについて、こども病院との緊密な連携等による小児がん医療提供体制の充実を図るとともに、Web広報の充実などPRを強化し患者の確保に努めたが、成人患者数は計画を下回った。</p> <p>(2) 平成30年度末の内部留保資金残高：40億円</p>	<p>▲</p> <p>○</p>	<p>小児患者は計画を達成したが、成人患者は受入れのPR不足等により、計画を未達成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画A</th> <th>実績B</th> <th>B-A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成人</td> <td>230</td> <td>89</td> <td>△141</td> </tr> <tr> <td>小児</td> <td>30</td> <td>44</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>260</td> <td>133</td> <td>△127</td> </tr> </tbody> </table>		計画A	実績B	B-A	成人	230	89	△141	小児	30	44	14	計	260	133	△127	<p>3 持続的な経営への取組</p> <p>(1) 令和元年度は丹波医療センターの開院に伴う患者調整等により、一時的な収支悪化が見込まれるが、各病院が、引き続き収益の確保、費用の抑制に努め、病院事業全体で経常黒字を目指す。</p> <p>(2) 令和元年度末内部留保資金残高（見込）：42億円</p>
	計画A	実績B	B-A																	
成人	230	89	△141																	
小児	30	44	14																	
計	260	133	△127																	

収 支（13病院）

区 分		H29決算 ①	H30当初計画 ②	H30最終予算 ③	H30決算 ④	対前年 (④-①)	対最終予算 (④-③)
収益的 収支	経常収益 (A)	1,302	1,323	1,342	1,328	26	△14
	(うち一般会計繰入金) (B)	157	154	160	160	3	0
	経常費用 (C)	1,301	1,317	1,342	1,332	31	△10
	当期経常損益 (D = A - C)	1	6	0	△4	△5	△4
	特別損益 (E)	△1	5	4	4	5	0
	当期純損益 (F = D + E)	0	11	4	0	0	△4
資本的 収支	資金収支 (G)	59	73	66	56	△3	△10
	収入 (H)	201	234	308	306	105	△2
	(うち一般会計繰入金) (I)	63	62	135	135	72	0
	(うち一般会計繰入金調整) (J)	△13	△13	△13	△13	0	0
	支出 (K)	258	305	344	344	86	0
差引（資金収支）(L = H - K)	△57	△71	△36	△38	19	△2	
一般会計繰入金の合計 (B + I - J)	207	203	282	282	75	0	
総資金収支 (M = G + L)	2	2	30	18	16	△12	
内部留保資金残高 (N = M + N[前年度])	22	24	52	40	18	△12	

※ 特別利益：(H30) 旧こども病院土地・建物売却益 949百万円 等

※ 一般会計繰入金については、全て国基準及び県施策に伴うものであり、いわゆる赤字補填としての繰入金はない。（詳細はP54参照）

※ 計数については、四捨五入の関係で合計等が合わない場合がある（以下の表も同じ）。

経営状況（各病院ごとの経常損益）

区分	総合病院						専門病院						10病院計
	尼崎	西宮	加古川	淡路	柏原	小計	こころ	こども	がん	姫路	粒子線		
											たつの	神戸陽子	
H29年度決算①	234	325	156	41	△351	405	△153	△368	278	72	97	△227	104
H30年度当初計画②	309	340	230	88	△510	457	△126	39	335	232	110	△470	577
H30年度最終予算③	375	286	△55	118	△487	237	△10	△245	262	235	55	△484	51
H30年度決算④	306	224	△132	63	△209	252	△81	△109	173	93	△64	△646	△382
対前年(④-①)	72	△101	△288	22	142	△153	72	259	△105	21	△161	△419	△486
対予算(④-③)	△69	△62	△77	△55	278	15	△71	136	△89	△142	△119	△162	△433

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明					参考：現況（令和元年7月の状況等）				
【平成30年度決算の内訳】																	
区 分	総合病院						専門病院						10病院計	指定管理			13病院計
	尼 崎	西 宮	加 古 川	淡 路	柏 原	小 計	こ こ ろ	こ ど も	が ん	姫 路	粒子線			災 害	ハ中央	ハ西播磨	
											たつの	神 戸					
稼働病床数	730	400	353	441	184	2,108	286	275	377	330	50	-	3,426	30	330	100	3,886
病床利用率(%)	94.4	86.1	77.8	84.1	87.2	87.3	72.5	79.1	76.3	70.1	76.3	-	82.4	80.6	82.8	94.9	82.7
延入院患者数	251,602	125,721	100,280	135,361	58,535	671,499	75,684	79,417	104,959	84,396	13,920	-	1,029,875	8,829	99,690	34,652	1,173,046
(1日当たり)	689	344	275	371	160	1,840	207	218	288	231	38	-	2,822	24	273	95	3,214
延外来患者数	460,848	163,388	182,509	201,679	90,930	1,099,354	51,544	99,518	158,519	88,476	7,120	4,702	1,509,233	145	54,320	10,750	1,574,448
(1日当たり)	1,889	670	748	827	373	4,506	211	408	650	363	29	19	6,185	1	223	44	6,453
入院収益	22,068,806	7,775,849	6,663,388	8,448,463	3,095,403	48,051,909	1,831,488	8,008,664	7,011,248	8,598,949	1,069,764	0	74,572,022	0	0	0	74,572,022
(1人1日)	87,713	61,850	66,448	62,414	52,881	71,559	24,199	100,843	66,800	101,888	76,851	-	72,409	0	0	0	72,409
外来収益	8,346,764	2,790,081	3,372,550	2,637,510	1,128,672	18,275,577	357,345	1,728,093	7,733,964	2,456,551	367,096	340,818	31,259,444	0	0	0	31,259,444
(1人1日)	18,112	17,076	18,479	13,078	12,413	16,624	6,933	17,365	48,789	27,765	51,558	72,484	20,712	0	0	0	20,712
その他医業収益	705,960	279,429	311,909	200,483	114,289	1,612,070	16,372	135,282	589,773	171,916	58,296	297	2,584,006	0	0	0	2,584,006
医業収益計	31,121,530	10,845,359	10,347,847	11,286,456	4,338,364	67,939,556	2,205,205	9,872,039	15,334,985	11,227,416	1,495,156	341,115	108,415,472	0	0	0	108,415,472
医業外収益	481,900	118,211	344,569	169,859	117,611	1,232,150	50,444	182,170	114,387	93,170	18,915	741	1,691,977	191	5,584	686	1,698,438
長期前受金戻入	1,051,291	350,490	669,959	697,210	112,018	2,880,968	172,270	772,583	369,610	329,780	1,130,463	279,060	5,934,734	224,078	391,158	188,251	6,738,221
特別利益	60,700	7,475	13,937	2,592	14,045	98,749	1,400	956,288	33,361	5,376	7,142	490	1,102,806	0	0	0	1,102,806
** 合 計 **	32,715,421	11,321,535	11,376,312	12,156,117	4,582,038	72,151,423	2,429,319	11,783,080	15,852,343	11,655,742	2,651,676	621,406	117,144,989	224,269	396,742	188,937	117,954,937
給 与 費	17,003,865	6,981,434	6,472,163	7,114,606	3,374,286	40,946,354	2,872,316	7,636,742	6,647,149	5,319,679	577,707	275,795	64,275,742	44,486	21,982	10,389	64,352,599
材 料 費	10,686,624	2,929,376	3,188,259	3,290,316	878,724	20,973,299	178,675	2,110,350	7,388,852	5,175,455	95,426	6,133	35,928,190	0	0	0	35,928,190
経 費	4,472,142	1,538,613	1,785,502	1,820,239	1,137,497	10,753,993	553,843	2,060,295	1,688,428	1,545,460	905,412	435,205	17,942,636	625,703	300,792	146,129	19,015,260
減価償却費	2,382,136	645,723	1,033,764	1,127,662	169,403	5,358,688	288,361	1,300,645	587,874	581,302	1,390,146	516,618	10,023,634	209,573	374,354	179,544	10,787,105
資産減耗費	87,277	27,160	28,903	12,632	653	156,625	1,413	6,710	35,933	12,116	6,664	0	219,461	823	717	25	221,026
研究研修費	181,433	68,796	39,858	48,207	18,295	356,589	14,931	50,370	129,165	60,235	4,717	1,284	617,291	0	0	0	617,291
医業費用計	34,813,477	12,191,102	12,548,449	13,413,662	5,578,858	78,545,548	3,909,539	13,165,112	16,477,401	12,694,247	2,980,072	1,235,035	129,006,954	880,585	697,845	336,087	130,921,471
医業外費用	427,706	141,878	332,158	288,853	62,387	1,252,982	127,287	224,842	97,400	58,185	307,913	97,114	2,165,723	43,032	47,071	29,255	2,285,081
特別損失	341,696	16,459	56,648	2,779	187,885	605,467	6,370	21,187	53,824	6,771	5,712	0	699,331	0	0	0	699,331
** 合 計 **	35,582,879	12,349,439	12,937,255	13,705,294	5,829,130	80,403,997	4,043,196	13,411,141	16,628,625	12,759,203	3,293,697	1,332,149	131,872,008	923,617	744,916	365,342	133,905,883
差 引 損 益	△ 2,867,458	△ 1,027,904	△ 1,560,943	△ 1,549,177	△ 1,247,092	△ 8,252,574	△ 1,613,877	△ 1,628,061	△ 776,282	△ 1,103,461	△ 642,021	△ 710,743	△ 14,727,019	△ 699,348	△ 348,174	△ 176,405	△ 15,950,946
一般会計繰入金	2,892,468	1,242,475	1,386,452	1,611,970	864,230	7,997,595	1,527,441	2,454,642	928,878	1,194,728	579,840	65,182	14,748,306	699,348	348,174	176,405	15,972,233
当 期 純 損 益	25,010	214,571	△ 174,491	62,793	△ 382,862	△ 254,979	△ 86,436	826,581	152,596	91,267	△ 62,181	△ 645,561	21,287	0	0	0	21,287
経 常 損 益	306,006	223,555	△ 131,780	62,980	△ 209,022	251,739	△ 81,466	△ 108,520	173,059	92,662	△ 63,611	△ 646,051	△ 382,188	0	0	0	△ 382,188

(単位：床、%、人、千円)

III 自立した経営の確保

項目2 職員の意識の高揚

- 基本方向
 - 幹部職員の経営意識を高めるとともに、一般職員についても幹部職員との連携により、経営参画意識やコスト意識を高め、経営改善への取り組みを進める。
- 取組内容
 - 1 幹部職員等
 - (1) 幹部職員の意識高揚を図るため、経営に関する研修会を開催する。
 - (2) 病院運営会議・管理局長会議において、各病院の経営情報を共有するとともに、経営健全化方策を検討し実施する。
 - (3) 病院横断的に組織した診療報酬対策本部において、経営健全化方策を検討し実施する。
 - (4) 各病院における優れた取り組み、経営努力等に関する前向きな取り組みを評価し、予算配分に反映させるとともに職員表彰を実施する。
 - 2 一般職員
 - (1) 職種別研修会で優れた経営改善事例を紹介し、経営情報の共有を図り、コスト意識等を高める。
 - (2) 職種別研修会等で検討した経営改善方策を全県立病院で実施する。
 - (3) 職種を超えたチームによる経営改善への取り組みを促進する。
 - (4) 診療報酬対策本部ワーキンググループを、病院及び職種横断的に構成し、経営健全化方策を検討し提案する。
 - (5) 民間病院派遣研修やMBA・診療情報管理士の学費負担制度の活用を推進し、職員の資質向上及び経営参画意識の向上を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）
<p>〔目標〕</p> <p>幹部職員の経営意識を高めるとともに、一般職員についても幹部職員との連携により、経営参画意識やコスト意識を高め、経営改善への取り組みを進める。</p>	<p>幹部職員の経営意識を高めるとともに、一般職員についても幹部職員との連携により、経営参画意識やコスト意識を高め、経営改善への取り組みを推進した。</p>	○		
<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 幹部職員等</p> <p>(1) 副院長等を対象とした経営に関する研修会の開催</p> <p>(2) 各種会議における病院事業の当初予算、決算見込、経営状況にかかる情報共有 病院運営会議、管理局長会議における各病院の経営状況経営健全化方策の情報共有</p> <p>(3) 病院事業副管理者を本部長、各病院管理局長を本部員とした診療報酬対策本部における経営健全化方策の検討</p> <p>(4) 各病院における優れた取り組み・経営努力等に対する評価・予算配分への反映及び職員表彰の実施 経営成績の改善とともに、各病院における経営努力等に関する前向きな取り組みを評価し、固定資産購入費及び研究研修費を重点的に予算配分（メリット配分）</p> <p>2 一般職員</p> <p>(1) 診療報酬対策本部会議ワーキンググループにおける経営改善への取組の検討・本部会議への提案</p> <p>(2) 民間病院派遣研修やMBA・診療情報管理士育成の推進による、職員の資質向上及び経営参画意識の向上 ① MBA派遣：2名（H30計画） ② 診療情報管理士育成：10名（H30計画）</p>	<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 幹部職員等</p> <p>(1) 副院長等研修の開催（H31.2.9） 「医療従事者の働き方改革について」</p> <p>(2) 各種会議における病院事業の当初予算、決算見込、経営状況にかかる情報共有を実施</p> <p>(3) 病院事業副管理者を本部長、各病院管理局長を本部員とした診療報酬対策本部における経営健全化方策の検討を実施</p> <p>(4) 各病院における優れた取り組み・経営努力等に対する評価・予算配分への反映及び職員表彰の実施</p> <p>2 一般職員</p> <p>(1) 診療報酬対策本部会議ワーキンググループにおける経営改善への取組の検討・本部会議への提案を実施</p> <p>(2) 民間病院派遣研修やMBA・診療情報管理士育成の推進による、職員の資質向上及び経営参画意識の向上 ① MBA：0名（既派遣者15名） ② 診療情報管理士：4名（既資格保有者29名）</p>	○ ○ ○ ○ ○	<p>①MBA：応募者2名のうち、1名は病院局の選考で不合格、1名は大学院入学試験不合格のため派遣実績なし ②診療情報管理士：応募者数の減</p>	<p>1 幹部職員等</p> <p>(1) 副院長等研修の開催（R2.2予定）</p> <p>(2) 各種会議実施状況 病院運営会議、管理局長会議（共に月1回）で病院毎の経営状況、経営健全化方策を共有</p> <p>(3) 令和元年度診療報酬対策本部会議ワーキンググループ（WG）提案に基づく経営健全化方策の検討及び実施 第1回：令和元年6月6日（木）</p> <p>(4) 評価等実績 経営成績が改善した病院に、固定資産購入費及び研究研修費を重点的に予算配分（メリット配分）</p> <p>2 一般職員</p> <p>(1) 令和元年度診療報酬対策本部会議WG取組事項 ①DPC データ等の分析による経営改善方策の立案 ②施設基準及び加算等の取得と算定増の方策の立案 ③診療報酬改定への適切な対応</p> <p>(2) 診療情報管理士の育成 R1：新規養成数6名</p>

Ⅲ 自立した経営の確保

項目3 収入の確保 (1) 患者の確保等

- 基本方向

設備やスタッフなど高度専門医療に係る機能を十分に活用するため、地域の医療機関との緊密な連携を進め、前方連携（紹介患者や救急患者の積極的な受け入れ）・後方連携（地域の医療機関への逆紹介）の充実を図り、診療機能に見合った患者を確保する。
- 取組内容
 - 1 新規患者の確保
 - (1) 高度専門・特殊医療の充実、医師の確保、地域医療連携の推進等により患者確保を図る。
 - (2) 地域の医療機関との連携を強化し、紹介患者の増加を図る。
 - ① 地域の医療機関との合同症例検討会や医療技術向上研修会を拡充する。
 - ② 医療機関ごとに紹介患者数の動向を把握し、院長等が直接地域の医療機関に患者紹介を働きかける。
 - ③ 治療中・治療終了時に紹介元医療機関に、治療状況等の報告を行う。
 - ④ 地域の医療機関を含めたICT（情報通信技術）化を図ることにより、医療情報の共有化を推進する。
 - (3) 救急医療体制の充実を図り、救急患者の受入を促進する。
 - ① 医師、看護師等の救急医療体制を確保する。
 - ② 救急隊と症例検討会や意見交換会を実施し、円滑な救急患者の受入を行う。
 - ③ 各病院の実情を踏まえつつDMA Tカーの導入を推進し、平時においてはドクターカーとして活用するなど重症患者の受入を強化する。
 - (4) 地域の医療機関との連携を強化し、逆紹介の促進を図る。
 - ① 地域連携クリニカルパスを進めることにより、地域医療連携の推進を図る。
 - ② 地域連携室の機能を強化することにより、転退院に向けた患者相談の充実を図る。
 - 2 効率的な病床運用
 - (1) 電子カルテ等を活用した空床情報の一元管理により、病床の有効活用を図る。
 - (2) 入院前検査センター機能の拡充により、病床の有効活用を図る。
 - (3) 休日入院や入院時検査の外来シフト化の拡充により、病床の有効活用を図る。
 - (4) 診療科別にきめ細かく患者の動向を踏まえることにより、病床の有効活用を図る。
 - (5) 地域連携クリニカルパスを促進し、後方医療機関との連携を充実させることにより、病床の有効活用を図る。
 - (6) 院内パスの適用率を向上させることにより、病床の有効活用を図る。
 - (7) 地域の医療ニーズに対応した適正な稼働病床数・病床機能への見直しを進め、病床の効率的な運用を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況		評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																																																						
<p>【目標】 診療機能の充実を図るとともに、紹介患者や救急患者を積極的に受け入れるなど、地域医療連携の推進等により患者確保を図る。</p>		<p>・紹介患者や救急患者の積極的受入れなど、地域医療連携の推進により患者の受入れを促進</p>		○		<p>延患者数・新規患者数(10病院) 7月末現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">R元計画</th> <th colspan="2">R元実績</th> <th>対計画</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">入院</td> <td>病床利用率</td> <td>82.3</td> <td>82.0</td> <td></td> <td>△ 0.3</td> </tr> <tr> <td>延患者数</td> <td>349,391</td> <td>344,175</td> <td></td> <td>△ 5,216</td> </tr> <tr> <td>1日あたり</td> <td>2,864</td> <td>2,821</td> <td></td> <td>△ 43</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">外来</td> <td>新規患者数</td> <td>26,522</td> <td>26,812</td> <td></td> <td>290</td> </tr> <tr> <td>延患者数</td> <td>499,146</td> <td>514,304</td> <td></td> <td>15,158</td> </tr> <tr> <td>1日あたり</td> <td>6,162</td> <td>6,349</td> <td></td> <td>187</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規患者数</td> <td>41,125</td> <td>41,702</td> <td></td> <td>577</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 粒子線医療センターの新規患者数は、実患者数を記載</p>	区分	R元計画		R元実績		対計画						入院	病床利用率	82.3	82.0		△ 0.3	延患者数	349,391	344,175		△ 5,216	1日あたり	2,864	2,821		△ 43	外来	新規患者数	26,522	26,812		290	延患者数	499,146	514,304		15,158	1日あたり	6,162	6,349		187		新規患者数	41,125	41,702		577																																					
区分	R元計画		R元実績		対計画																																																																																							
入院	病床利用率	82.3	82.0		△ 0.3																																																																																							
	延患者数	349,391	344,175		△ 5,216																																																																																							
	1日あたり	2,864	2,821		△ 43																																																																																							
外来	新規患者数	26,522	26,812		290																																																																																							
	延患者数	499,146	514,304		15,158																																																																																							
	1日あたり	6,162	6,349		187																																																																																							
	新規患者数	41,125	41,702		577																																																																																							
<p>患者数の状況(10病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">区分</th> <th colspan="3">区分</th> </tr> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">稼働病床数</td> <td>H29実績①</td> <td>3,420</td> <td>—</td> <td rowspan="6">1日あたり</td> <td>H29実績①</td> <td>2,883</td> <td>6,104</td> </tr> <tr> <td>H30当初計画②</td> <td>3,426</td> <td>—</td> <td>H30当初計画②</td> <td>2,953</td> <td>6,168</td> </tr> <tr> <td>H30最終予算③</td> <td>3,426</td> <td>—</td> <td>H30最終予算③</td> <td>2,899</td> <td>6,169</td> </tr> <tr> <td>H30実績④</td> <td>3,426</td> <td>—</td> <td>H30実績④</td> <td>2,822</td> <td>6,186</td> </tr> <tr> <td>対前年(④-①)</td> <td>6</td> <td>—</td> <td>対前年(④-①)</td> <td>△ 61</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>対予算(④-③)</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>対予算(④-③)</td> <td>△ 77</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">延患者数</td> <td>H29実績①</td> <td>1,052,176</td> <td>1,489,290</td> <td rowspan="6">新規患者数</td> <td>H29実績①</td> <td>77,938</td> <td>115,178</td> </tr> <tr> <td>H30当初計画②</td> <td>1,077,734</td> <td>1,505,081</td> <td>H30当初計画②</td> <td>79,047</td> <td>117,755</td> </tr> <tr> <td>H30最終予算③</td> <td>1,057,954</td> <td>1,505,279</td> <td>H30最終予算③</td> <td>78,799</td> <td>119,356</td> </tr> <tr> <td>H30実績④</td> <td>1,029,875</td> <td>1,509,233</td> <td>H30実績④</td> <td>77,914</td> <td>117,645</td> </tr> <tr> <td>対前年(④-①)</td> <td>△ 22,301</td> <td>19,943</td> <td>対前年(④-①)</td> <td>△ 24</td> <td>2,467</td> </tr> <tr> <td>対予算(④-③)</td> <td>△ 28,079</td> <td>3,954</td> <td>対予算(④-③)</td> <td>△ 885</td> <td>△ 1,711</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 粒子線医療センターの新規患者数は、実患者数を記載</p>		区分			区分				入院	外来		入院	外来	稼働病床数	H29実績①	3,420	—	1日あたり	H29実績①	2,883	6,104	H30当初計画②	3,426	—	H30当初計画②	2,953	6,168	H30最終予算③	3,426	—	H30最終予算③	2,899	6,169	H30実績④	3,426	—	H30実績④	2,822	6,186	対前年(④-①)	6	—	対前年(④-①)	△ 61	82	対予算(④-③)	0	—	対予算(④-③)	△ 77	17	延患者数	H29実績①	1,052,176	1,489,290	新規患者数	H29実績①	77,938	115,178	H30当初計画②	1,077,734	1,505,081	H30当初計画②	79,047	117,755	H30最終予算③	1,057,954	1,505,279	H30最終予算③	78,799	119,356	H30実績④	1,029,875	1,509,233	H30実績④	77,914	117,645	対前年(④-①)	△ 22,301	19,943	対前年(④-①)	△ 24	2,467	対予算(④-③)	△ 28,079	3,954	対予算(④-③)	△ 885	△ 1,711			
区分			区分																																																																																									
	入院	外来		入院	外来																																																																																							
稼働病床数	H29実績①	3,420	—	1日あたり	H29実績①	2,883	6,104																																																																																					
	H30当初計画②	3,426	—		H30当初計画②	2,953	6,168																																																																																					
	H30最終予算③	3,426	—		H30最終予算③	2,899	6,169																																																																																					
	H30実績④	3,426	—		H30実績④	2,822	6,186																																																																																					
	対前年(④-①)	6	—		対前年(④-①)	△ 61	82																																																																																					
	対予算(④-③)	0	—		対予算(④-③)	△ 77	17																																																																																					
延患者数	H29実績①	1,052,176	1,489,290	新規患者数	H29実績①	77,938	115,178																																																																																					
	H30当初計画②	1,077,734	1,505,081		H30当初計画②	79,047	117,755																																																																																					
	H30最終予算③	1,057,954	1,505,279		H30最終予算③	78,799	119,356																																																																																					
	H30実績④	1,029,875	1,509,233		H30実績④	77,914	117,645																																																																																					
	対前年(④-①)	△ 22,301	19,943		対前年(④-①)	△ 24	2,467																																																																																					
	対予算(④-③)	△ 28,079	3,954		対予算(④-③)	△ 885	△ 1,711																																																																																					

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																				
<p>【共通取組項目】 1 新規患者の確保 (1) 高度専門・特殊医療の充実等による患者の確保 ・高度専門医療のための医療機器等の整備・更新 MRI（リハ西）、CT（西宮、淡路）、リアニック（がん）等 (2) 地域医療連携の推進 ①意見交換会・症例検討会の実施 ②前方連携（紹介患者や救急患者の積極的な受け入れ）・後方連携（地域の医療機関の逆紹介）の推進及び院長等による病院訪問区域の拡大 ③紹介元医療機関に対する診療内容の報告 参考：H30の紹介率、逆紹介率 (単位：%)</p> <table border="1" data-bbox="161 528 1211 632"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>淡路</th> <th>柏原</th> <th>こころ</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>姫路</th> <th>粒子線</th> <th>陽子線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>73.2</td> <td>79.7</td> <td>92.1</td> <td>82.4</td> <td>65.1</td> <td>45.8</td> <td>85.6</td> <td>78.0</td> <td>71.1</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>84.5</td> <td>134.1</td> <td>109.7</td> <td>84.9</td> <td>67.9</td> <td>52.1</td> <td>74.1</td> <td>54.5</td> <td>159.4</td> <td>100.0</td> <td>121.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>④「h-Anshin むこねっと」、「あわじネット」、「明石しごせんネット」の活用【再掲P27,31】</p> <p>(3) 救急患者の積極的受入 ・救急搬送患者数+2,146人 (H29計画25,392人→H30計画27,538人)</p> <p>(4) 地域医療連携・逆紹介の推進 ・各病院の関係医療機関と連携し、地域連携クリニカルパスを活用 ・地域医療連携室の専任看護師配置を継続 ・紹介先医療機関に対する診療内容の報告</p>	区分	尼崎	西宮	加古川	淡路	柏原	こころ	こども	がん	姫路	粒子線	陽子線	紹介率	73.2	79.7	92.1	82.4	65.1	45.8	85.6	78.0	71.1	100.0	100.0	逆紹介率	84.5	134.1	109.7	84.9	67.9	52.1	74.1	54.5	159.4	100.0	121.7	<p>【共通取組項目】 1 新規患者の確保 (1) 高度専門・特殊医療の充実等による患者の確保 ・高度専門医療のための医療機器等の整備・更新 MRI（リハ西）、CT（西宮、淡路）等 (2) 地域医療連携の推進 ①意見交換会・症例検討会の実施 ②前方連携（紹介患者や救急患者の積極的な受け入れ）・後方連携（地域の医療機関の逆紹介）の推進及び院長等による病院訪問区域の拡大 ③紹介元医療機関に対する診療内容の報告 (単位：%)</p> <p>④「h-Anshin むこねっと」、「あわじネット」、「明石しごせんネット」の活用【再掲P27,31】</p> <p>(3) 救急患者の積極的受入 ・救急搬送患者数 (H30計画27,538人→H30実績28,707人)</p> <p>(4) 地域医療連携・逆紹介の推進 ・各病院の関係医療機関と連携し、地域連携クリニカルパスを活用 ・地域医療連携室の専任看護師配置を継続 ・紹介先医療機関に対する診療内容の報告</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>		<p>1 新規患者の確保 (1) 高度専門・特殊医療の充実等による患者の確保 ・高度専門医療のための医療機器等の整備・更新（令和元年度予定） アンギオ（西宮、姫路）、PET/CT（がん）、リアック（がん）、MRI（姫路）等 (2) 地域医療連携の推進 令和元年度地域医療連携戦略会議の開催予定（2回/年）（県立10病院合同会議） 内容：各病院の取組み発表、成果報告及び意見交換</p>
区分	尼崎	西宮	加古川	淡路	柏原	こころ	こども	がん	姫路	粒子線	陽子線																													
紹介率	73.2	79.7	92.1	82.4	65.1	45.8	85.6	78.0	71.1	100.0	100.0																													
逆紹介率	84.5	134.1	109.7	84.9	67.9	52.1	74.1	54.5	159.4	100.0	121.7																													

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）
<p>2 効率的な病床運営</p> <p>(1) 電子カルテを活用した空床の有効活用の徹底を継続</p> <p>(2) 入院前検査センター機能の活用による病床の有効活用</p> <p>(3) 患者の意向を踏まえた休日入院など休日における病床の有効活用の促進</p> <p>(4) 診療科別の患者数、診療単価のきめ細かな把握・分析による病床の有効活用の促進</p> <p>(5) 地域連携クリニカルパスを促進し、後方医療機関との連携を充実させることによる病床の有効活用の促進</p> <p>(6) 院内クリニカルパスの適用推進及び質の向上</p> <p>(7) 地域の医療ニーズに対応した適正な稼働病床数・病床機能の見直しによる病床の効率的運用 (こども) 一般病床の増 (+6床)</p>	<p>2 効率的な病床運営</p> <p>(1) 電子カルテを活用した空床の有効活用の徹底を継続</p> <p>(2) 入院前検査センター機能の活用による病床の有効活用</p> <p>(3) 患者の意向を踏まえた休日入院など休日における病床の有効活用の促進</p> <p>(4) 診療科別の患者数、診療単価のきめ細かな把握・分析による病床の有効活用の促進</p> <p>(5) 地域連携クリニカルパスを促進し、後方医療機関との連携を充実させることによる病床の有効活用の促進</p> <p>(6) 院内クリニカルパスの適用推進及び質の向上</p> <p>(7) 地域の医療ニーズに対応した適正な稼働病床数・病床機能の見直しによる病床の効率的運用 (こども) 一般病床の増 (+6床)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>		

III 自立した経営の確保

項目3 収入の確保 (2) 診療単価の向上等

○ 基本方向

高度医療機器や手術室等の有効活用、医療の特質に応じた各種加算の取得、適正な診療報酬請求の推進により診療機能に見合う収入を確保するほか、入院時検査の外来シフト化やクリニカルパスの見直しにより平均在院日数の短縮を図り、診療単価の向上を図る。

○ 取組内容

- 1 建替整備による診療機能の充実、高度医療機器の計画的な整備等により診療内容の高度化を図る。
- 2 地域連携クリニカルパスを促進し、後送病院との連携・充実を図るとともに、院内においてもクリニカルパスの適用率を高めることにより、平均在院日数の短縮を図る。
- 3 DPCにおける機能評価係数の向上及びコーディング精度の適正化を図る。
- 4 DPC分析ソフトを活用し、継続的にクリニカルパスを見直すことにより、診療単価の向上を図る。
- 5 診療情報管理士の資格取得を促進するとともに、全職種を対象に、診療報酬に関する研修会を開催することにより、診療機能にふさわしい各種加算の取得や指導管理の充実を図る。
- 6 医事委託業者間の情報共有、医事委託業務の精緻化により、精度の高い医事事務を実施する。
- 7 高度専門・特殊医療及びその他政策医療の提供に要する経費にかかる一般会計からの負担金については、地方財政計画や地方公営企業繰出基準を踏まえた見直しを適時適切に行う。
- 8 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に行う

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																																																																																								
<p>〔目標〕 診療報酬対策本部による診療報酬制度への的確な対応及び施設基準の取得、診療機能の充実、高度医療機器の高稼働、手術件数の増加等により、診療機能に見合う収入の確保を図る。</p> <p>診療単価・平均在院日数等(10病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29決算①</th> <th>H30計画②</th> <th>H30最終予算③</th> <th>H30実績④</th> <th>対前年(④-①)</th> <th>対予算(④-③)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">診療単価(円)</td> <td>入院</td> <td>70,401</td> <td>70,277</td> <td>71,910</td> <td>2,008</td> <td>499</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>20,208</td> <td>20,344</td> <td>20,800</td> <td>20,712</td> <td>504</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>11.3</td> <td>11.2</td> <td>11.3</td> <td>11.1</td> <td>△ 0.2</td> <td>△ 0.2</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>45,852</td> <td>45,705</td> <td>46,428</td> <td>46,983</td> <td>1,131</td> <td>555</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平均在院日数は、こころ、粒子線を除く8病院</p>	区分	H29決算①	H30計画②	H30最終予算③	H30実績④	対前年(④-①)	対予算(④-③)	診療単価(円)	入院	70,401	70,277	71,910	2,008	499	外来	20,208	20,344	20,800	20,712	504	平均在院日数	11.3	11.2	11.3	11.1	△ 0.2	△ 0.2	手術件数	45,852	45,705	46,428	46,983	1,131	555	<p>診療報酬制度への的確な対応、平均在院日数の適正化、手術件数の増加等により診療機能に見合う収入の確保を図った。</p>	○	<p>診療単価等(10病院) 7月末現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">R元計画</th> <th colspan="2">R元実績</th> <th>対計画</th> </tr> <tr> <th>入院</th> <th>外来</th> <th>71,195</th> <th>21,046</th> <th>524</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療単価(円)</td> <td>71,195</td> <td>21,046</td> <td>71,719</td> <td>21,046</td> <td>331</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>11.1</td> <td>11.0</td> <td>11.0</td> <td>11.0</td> <td>△ 0.1</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>15,577</td> <td>16,101</td> <td>16,101</td> <td>16,101</td> <td>524</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平均在院日数は、こころ、粒子線を除く8病院で算出</p> <p>○平均在院日数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日数</td> <td>12.6</td> <td>12.1</td> <td>11.7</td> <td>11.5</td> <td>11.3</td> <td>11.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ こころ、粒子線を除く</p>	区分	R元計画		R元実績		対計画	入院	外来	71,195	21,046	524	診療単価(円)	71,195	21,046	71,719	21,046	331	平均在院日数	11.1	11.0	11.0	11.0	△ 0.1	手術件数	15,577	16,101	16,101	16,101	524	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	日数	12.6	12.1	11.7	11.5	11.3	11.1	<p>診療単価等(10病院) 7月末現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">R元計画</th> <th colspan="2">R元実績</th> <th>対計画</th> </tr> <tr> <th>入院</th> <th>外来</th> <th>71,195</th> <th>21,046</th> <th>524</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療単価(円)</td> <td>71,195</td> <td>21,046</td> <td>71,719</td> <td>21,046</td> <td>331</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>11.1</td> <td>11.0</td> <td>11.0</td> <td>11.0</td> <td>△ 0.1</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>15,577</td> <td>16,101</td> <td>16,101</td> <td>16,101</td> <td>524</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平均在院日数は、こころ、粒子線を除く8病院で算出</p> <p>○平均在院日数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日数</td> <td>12.6</td> <td>12.1</td> <td>11.7</td> <td>11.5</td> <td>11.3</td> <td>11.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ こころ、粒子線を除く</p>	区分	R元計画		R元実績		対計画	入院	外来	71,195	21,046	524	診療単価(円)	71,195	21,046	71,719	21,046	331	平均在院日数	11.1	11.0	11.0	11.0	△ 0.1	手術件数	15,577	16,101	16,101	16,101	524	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	日数	12.6	12.1	11.7	11.5	11.3	11.1
区分	H29決算①	H30計画②	H30最終予算③	H30実績④	対前年(④-①)	対予算(④-③)																																																																																																																						
診療単価(円)	入院	70,401	70,277	71,910	2,008	499																																																																																																																						
	外来	20,208	20,344	20,800	20,712	504																																																																																																																						
平均在院日数	11.3	11.2	11.3	11.1	△ 0.2	△ 0.2																																																																																																																						
手術件数	45,852	45,705	46,428	46,983	1,131	555																																																																																																																						
区分	R元計画		R元実績		対計画																																																																																																																							
	入院	外来	71,195	21,046	524																																																																																																																							
診療単価(円)	71,195	21,046	71,719	21,046	331																																																																																																																							
平均在院日数	11.1	11.0	11.0	11.0	△ 0.1																																																																																																																							
手術件数	15,577	16,101	16,101	16,101	524																																																																																																																							
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																																																																																																						
日数	12.6	12.1	11.7	11.5	11.3	11.1																																																																																																																						
区分	R元計画		R元実績		対計画																																																																																																																							
	入院	外来	71,195	21,046	524																																																																																																																							
診療単価(円)	71,195	21,046	71,719	21,046	331																																																																																																																							
平均在院日数	11.1	11.0	11.0	11.0	△ 0.1																																																																																																																							
手術件数	15,577	16,101	16,101	16,101	524																																																																																																																							
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																																																																																																						
日数	12.6	12.1	11.7	11.5	11.3	11.1																																																																																																																						
<p>〔共通取組項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療機器整備・更新による診療機能の充実 MRI(リハ西)、CT(西宮、淡路)、リンアック(がん)等 2 平均在院日数の短縮 ① 平均在院日数(こころ、粒子線を除く8病院) (H29計画11.4日→H30計画11.2日) ② クリニカルパスの適用推進による平均在院日数の短縮 3 院内診療報酬関連委員会等における機能評価係数向上・コーディング適正化等に向けた現状の把握及び取り組みの実施 4 DPC分析ソフトを活用したクリニカルパスの見直しによる診療単価の向上 	<p>〔共通取組項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療機器整備・更新による診療機能の充実 MRI(リハ西)、CT(西宮、淡路)等 2 平均在院日数の短縮 ① 平均在院日数(こころ、粒子線を除く8病院) (H30計画11.2日→H30実績11.1日) ② クリニカルパスの適用推進による平均在院日数の短縮 3 院内診療報酬関連委員会等における機能評価係数向上・コーディング適正化等に向けた現状の把握及び取り組みの実施 4 DPC分析ソフトを活用したクリニカルパスの見直しによる診療単価の向上 	○		<ol style="list-style-type: none"> 1 医療機器整備・更新による診療機能の充実 令和元年度(予定) アンギオ(西宮、姫路)、PET/CT(がん)、リンアック(がん)、MRI(姫路)等 2 平均在院日数の短縮 ① 平均在院日数(こころ、粒子線を除く8病院) 平成30年度実績11.1日 3 取組実績 ① 院内診療報酬関連委員会あるいは診療科別研修会等の開催 ② 診療科別研修会・カンファレンスを利用した診療報酬にかかる情報の共有 																																																																																																																								

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																								
<p>5 診療機能に見合う各種加算の取得、指導管理の充実 診療情報管理士育成：10名（H30計画）【再掲P49】</p> <p>6 一般会計負担金 全て国基準及び県施策に伴うものであり、いわゆる赤字補てんとしての負担金はない。また、資本的収支においては、行革期間中の平成23年度から平成30年度にかけて、総額109億円の減額を行っている。 ・収益的収支 H30計画 15,413百万円 ・資本的収支 H30計画 4,900百万円</p>	<p>5 診療機能に見合う各種加算の取得、指導管理の充実 診療情報管理士：4名（既資格保有者29名）【再掲P49】</p> <p>6 一般会計負担金 地方公営企業法で定める不適当経費、困難経費を一般会計から負担金として繰入 ・収益的収支 15,972百万円 ・資本的収支 12,168百万円 なお、資本的収支においては、行革期間中に行ってきた一般会計繰入金の減額調整（総額109億円（H23～H30））について、H30年度から5年間で一般会計と病院事業会計との貸借関係の整理と併せて計画的に精算を実施</p>	<p>▲</p> <p>○</p>	<p>応募者数の減</p>	<p>6 一般会計負担金 地方公営企業法で定める不適当経費、困難経費を一般会計からの負担金として繰入れ</p>																																																								
(単位:千円)																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>主な内容</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">不適当経費</td> <td>看護師確保対策費</td> <td>院内保育事業運営経費</td> <td>114,306</td> <td>139,354</td> </tr> <tr> <td>救急医療対策費</td> <td>救急医療の確保に要する経費等</td> <td>3,082,990</td> <td>3,209,576</td> </tr> <tr> <td>保健衛生行政経費</td> <td>相談調査事業運営経費等</td> <td>52,623</td> <td>52,773</td> </tr> <tr> <td>共済組合追加費用</td> <td>恩給制度廃止に伴う公立病院負担経費</td> <td>1,225,403</td> <td>987,396</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>児童手当に要する経費の一部等</td> <td>212,545</td> <td>225,255</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">収益的収支</td> <td>高度医療経費</td> <td>集中治療室運営損費等</td> <td>5,055,626</td> <td>5,268,145</td> </tr> <tr> <td>特殊医療経費</td> <td>精神病棟運営損費、リハビリテーション運営損費等</td> <td>3,385,406</td> <td>3,449,559</td> </tr> <tr> <td>建設改良経費</td> <td>施設・機器整備のために発行した企業債の利息の一定割合</td> <td>871,347</td> <td>827,907</td> </tr> <tr> <td>基礎年金拠出金</td> <td>事業主負担相当額</td> <td>1,599,216</td> <td>1,720,935</td> </tr> <tr> <td>一般会計施策に伴うもの</td> <td>丹波市立看護専門学校運営費等負担金等</td> <td>76,199</td> <td>91,333</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td></td> <td>15,675,661</td> <td>15,972,233</td> </tr> <tr> <td>資本的収支</td> <td>建設改良経費</td> <td>施設・機器整備のために発行した企業債の元金の一定割合</td> <td>4,995,153</td> <td>12,167,640</td> </tr> </tbody> </table>		区分	主な内容	29年度	30年度	不適当経費	看護師確保対策費	院内保育事業運営経費	114,306	139,354	救急医療対策費	救急医療の確保に要する経費等	3,082,990	3,209,576	保健衛生行政経費	相談調査事業運営経費等	52,623	52,773	共済組合追加費用	恩給制度廃止に伴う公立病院負担経費	1,225,403	987,396	その他	児童手当に要する経費の一部等	212,545	225,255	収益的収支	高度医療経費	集中治療室運営損費等	5,055,626	5,268,145	特殊医療経費	精神病棟運営損費、リハビリテーション運営損費等	3,385,406	3,449,559	建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の利息の一定割合	871,347	827,907	基礎年金拠出金	事業主負担相当額	1,599,216	1,720,935	一般会計施策に伴うもの	丹波市立看護専門学校運営費等負担金等	76,199	91,333	合 計			15,675,661	15,972,233	資本的収支	建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の元金の一定割合	4,995,153	12,167,640	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①不適当経費： 地方公営企業法第17条の2第1項第1号に規定する、「その性質上、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない」経費(救急の医療を確保するために要する経費等)</p> <p>②困難経費： 地方公営企業法第17条の2第1項第2号に規定する、「当該地方公営企業の性質上、能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる」経費(医療水準の向上を図るため必要な高度又は特殊な医療で採算をとることが困難な経費等)</p> </div>		
区分	主な内容	29年度	30年度																																																									
不適当経費	看護師確保対策費	院内保育事業運営経費	114,306	139,354																																																								
	救急医療対策費	救急医療の確保に要する経費等	3,082,990	3,209,576																																																								
	保健衛生行政経費	相談調査事業運営経費等	52,623	52,773																																																								
	共済組合追加費用	恩給制度廃止に伴う公立病院負担経費	1,225,403	987,396																																																								
	その他	児童手当に要する経費の一部等	212,545	225,255																																																								
収益的収支	高度医療経費	集中治療室運営損費等	5,055,626	5,268,145																																																								
	特殊医療経費	精神病棟運営損費、リハビリテーション運営損費等	3,385,406	3,449,559																																																								
	建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の利息の一定割合	871,347	827,907																																																								
	基礎年金拠出金	事業主負担相当額	1,599,216	1,720,935																																																								
一般会計施策に伴うもの	丹波市立看護専門学校運営費等負担金等	76,199	91,333																																																									
合 計			15,675,661	15,972,233																																																								
資本的収支	建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の元金の一定割合	4,995,153	12,167,640																																																								
<p>7 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に行う</p>	<p>7 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に実施</p>	○																																																										

III 自立した経営の確保

項目3 収入の確保 (3) その他の収入の確保

○ 基本方向
未収金については「県立病院未収金取扱要領」に基づき、全病院で統一的な発生防止及び徴収強化に取り組むことにより、新規発生率及び未収金総額の抑制を図る。
使用料、手数料については、原価や他施設との均衡等を踏まえつつ、適切な受益者負担となるよう見直しを行う。
資産の有効活用については、入居率の低い医師公舎・看護師宿舎は転用及び売却を進めることとし、今後の必要戸数については、借上での対応を図る。

○ 取組内容

1 未収金の縮減
(1) 概算支払額の事前通知、退院日請求の促進、医療費に関する各種制度活用（高額療養費制度、出産育児一時金の代理受納等）の周知徹底を図ること等により発生防止に努める。
(2) 新たな滞納者を発生させないため、納付期限経過後に、督促・催告の実施、分割納付の誓約取付、未収金徴収嘱託員等による訪問徴収等、徴収対策を集中的に行い、未収金の早期回収に取り組む。
(3) 滞納後一定期間を経過したものについては、連帯保証人に請求するとともに、回収の見込みが立たないものについては、弁護士法人へ徴収委託し、必要に応じて法的措置を講じるなど徴収強化に取り組む。

2 使用料、手数料等の見直し
(1) 使用料、手数料の自主料金については、定期的に見直しを行う。
(2) 届出によって実施が可能な先進医療等については、各病院の診療機能に応じて適時適切に料金化する。
(3) 民間事業者による病院施設の運営（売店、食堂、自動販売機等）にあたっては、プロポーザル方式の導入により、適正な使用料を確保するとともに、患者の利便性の向上を図る。

3 資産の有効活用
(1) 資産の有効活用については、入居率の低い医師公舎・看護師宿舎は転用及び売却を進める。
(2) 医師公舎・看護師宿舎については借上を基本とし、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																																								
<p>【目標】 未収金の発生防止と徴収の強化、使用料・手数料の適切な見直しを図り、引き続きその他収入の確保に努める。 また、未利用施設については、県有財産等活用推進会議の方針等に従い、売却等を進める。</p> <p>過年度未収金（決算時点） (単位：千円、件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>未収金総額</th> <th>件数</th> <th>新規発生未収金A</th> <th>医業収益B</th> <th>発生率A/B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>20年度決算</td><td>318,689</td><td>4,740</td><td>141,257</td><td>71,285,298</td><td>0.20%</td></tr> <tr><td>21年度決算</td><td>297,506</td><td>4,027</td><td>99,118</td><td>70,864,921</td><td>0.14%</td></tr> <tr><td>22年度決算</td><td>266,965</td><td>3,382</td><td>83,658</td><td>73,673,335</td><td>0.11%</td></tr> <tr><td>23年度決算</td><td>245,519</td><td>3,384</td><td>82,252</td><td>80,362,312</td><td>0.10%</td></tr> <tr><td>24年度決算</td><td>225,482</td><td>3,078</td><td>73,814</td><td>83,336,271</td><td>0.09%</td></tr> <tr><td>25年度決算</td><td>216,511</td><td>2,998</td><td>81,860</td><td>87,465,286</td><td>0.09%</td></tr> <tr><td>26年度決算</td><td>168,179</td><td>3,007</td><td>47,403</td><td>87,862,779</td><td>0.05%</td></tr> <tr><td>27年度決算</td><td>163,589</td><td>2,331</td><td>50,575</td><td>90,929,334</td><td>0.06%</td></tr> <tr><td>28年度決算</td><td>165,230</td><td>2,639</td><td>60,531</td><td>93,766,921</td><td>0.06%</td></tr> <tr><td>29年度決算</td><td>204,063</td><td>2,308</td><td>109,534</td><td>101,453,893</td><td>0.11%</td></tr> <tr><td>30年度決算</td><td>151,539</td><td>1,603</td><td>73,386</td><td>106,669,907</td><td>0.07%</td></tr> </tbody> </table> <p>※ H20年度決算が、過年度未収金新規発生額のピーク</p>	区分	未収金総額	件数	新規発生未収金A	医業収益B	発生率A/B	20年度決算	318,689	4,740	141,257	71,285,298	0.20%	21年度決算	297,506	4,027	99,118	70,864,921	0.14%	22年度決算	266,965	3,382	83,658	73,673,335	0.11%	23年度決算	245,519	3,384	82,252	80,362,312	0.10%	24年度決算	225,482	3,078	73,814	83,336,271	0.09%	25年度決算	216,511	2,998	81,860	87,465,286	0.09%	26年度決算	168,179	3,007	47,403	87,862,779	0.05%	27年度決算	163,589	2,331	50,575	90,929,334	0.06%	28年度決算	165,230	2,639	60,531	93,766,921	0.06%	29年度決算	204,063	2,308	109,534	101,453,893	0.11%	30年度決算	151,539	1,603	73,386	106,669,907	0.07%	<p>未収金の発生防止と徴収の強化、使用料・手数料の適切な見直しを図ることによるその他収入の確保、資産の有効活用に努めた。</p>	○		
区分	未収金総額	件数	新規発生未収金A	医業収益B	発生率A/B																																																																							
20年度決算	318,689	4,740	141,257	71,285,298	0.20%																																																																							
21年度決算	297,506	4,027	99,118	70,864,921	0.14%																																																																							
22年度決算	266,965	3,382	83,658	73,673,335	0.11%																																																																							
23年度決算	245,519	3,384	82,252	80,362,312	0.10%																																																																							
24年度決算	225,482	3,078	73,814	83,336,271	0.09%																																																																							
25年度決算	216,511	2,998	81,860	87,465,286	0.09%																																																																							
26年度決算	168,179	3,007	47,403	87,862,779	0.05%																																																																							
27年度決算	163,589	2,331	50,575	90,929,334	0.06%																																																																							
28年度決算	165,230	2,639	60,531	93,766,921	0.06%																																																																							
29年度決算	204,063	2,308	109,534	101,453,893	0.11%																																																																							
30年度決算	151,539	1,603	73,386	106,669,907	0.07%																																																																							
<p>【共通取組項目】</p> <p>1 「県立病院未収金取扱要領」に基づいた取り組みの推進 (1) 未収金の発生防止による新規発生率の抑制 (2) 新たな未収金滞納者を発生させないよう未収金の早期回収を推進 ① 発生後の早期督促、分割納付の制約取付等による新たな滞納の防止の実施 ② 納付交渉に応じない者に対する弁護士法人への徴収委託の推進</p>	<p>【共通取組項目】</p> <p>1 「県立病院未収金取扱要領」に基づいた取り組みの推進 (1) 新規発生率 着実な回収の推進のほか、弁護士法人への徴収委託等を徹底した結果、発生率は29年度から改善し、28年度並みの低水準に抑制 (2) 弁護士法人への徴収委託を推進 29年度（累計）2,801件、266,727千円 → 30年度（累計）3,140件、303,944千円</p>	○ ○		<p>1 「県立病院未収金取扱要領」に基づいた取り組みの推進 (1) 未収金の発生防止による新規発生率の抑制 H20:141,257千円（発生率：0.20%） H30: 73,386千円（発生率：0.07%）</p>																																																																								

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																																																																																																																		
<p>(3) 弁護士法人による回収の促進（回収率の向上）を図るとともに悪質な滞納者については法的措置を実施</p> <p>2 使用料、手数料等の見直し (1) 紹介状なしの病院受診時の初診料、再診料の改定 平成30年度診療報酬改定で、一定額以上の料金徴収義務化の対象医療機関が拡大されることに伴い、対象となる県立病院の料額を改定する。</p> <p>(2) 必要に応じた各病院の診療機能に応じた先進医療等の料金化</p> <p>(3) プロポーザル方式による民間事業者の提案を元にした病院施設（売店等）の運営により、患者の利便性の向上を図るとともに、使用料及び売上加算を徴収するなど収益の増加に努める。</p> <p>3 資産の有効活用 (1) 医師公舎又は看護師宿舎の転用等による空室の縮減</p> <p>(2) 医師公舎・看護師宿舎について、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択</p>	<p>(3) 弁護士法人への回収実績</p> <table border="1" data-bbox="582 215 1102 379"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">委託総額</th> <th colspan="2">回収総額</th> <th>回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>894件</td> <td>111,970千円</td> <td>298件</td> <td>32,201千円</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>1,589件</td> <td>168,307千円</td> <td>664件</td> <td>56,535千円</td> <td>33.6%</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>1,969件</td> <td>193,504千円</td> <td>1,160件</td> <td>71,098千円</td> <td>36.7%</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>2,357件</td> <td>226,525千円</td> <td>1,365件</td> <td>87,222千円</td> <td>38.5%</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>2,801件</td> <td>266,727千円</td> <td>1,583件</td> <td>105,644千円</td> <td>39.6%</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>3,140件</td> <td>303,944千円</td> <td>1,736件</td> <td>117,975千円</td> <td>38.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 使用料、手数料等の見直し (1) 紹介状なしの病院受診時の初診料、再診料の改定 西宮病院・淡路医療センター ・初診 医科 2,600円 → 5,000円 歯科 2,600円 → 3,000円 ・再診 医科（設定なし）→ 2,500円 歯科（設定なし）→ 1,500円</p> <p>(2) 先進医療等の料金化</p> <table border="1" data-bbox="582 625 1093 778"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>料金名（料金額）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>先進医療</td> <td>・NCCオンコパネルを使用したマルチプレックス遺伝子パネル検査（514,000円）</td> </tr> <tr> <td>自由診療</td> <td>・がんゲノム医療外来受診料（39,000円） ・がん遺伝子パネル検査料（オンコプライム）（通常検査実施時957,000円、解析中止時417,000円）</td> </tr> </tbody> </table> <p>H30年10月1日設定</p> <p>(3) プロポーザル方式による民間事業者の提案を元にした病院施設（売店等）の運営により、患者の利便性の向上を図るとともに、使用料及び売上加算を徴収</p> <p>3 資産の有効活用 (1) 医師公舎又は看護師宿舎の転用等による空室の縮減（H30.8に医師公舎2戸を待機宿舎に、3戸は倉庫に転用） 県有公舎・宿舎の利用状況</p> <table border="1" data-bbox="555 1082 1417 1232"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>種別</th> <th>戸数</th> <th>入居戸数</th> <th>空室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柏原</td> <td>医師等公舎</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>14</td> <td>病院移転時に売却を検討</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">姫路</td> <td>医師等公舎</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>5</td> <td rowspan="2">病院移転時に解体予定</td> </tr> <tr> <td>看護師宿舎</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 医師公舎・看護師宿舎について、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択</p>	年度	委託総額		回収総額		回収率	25	894件	111,970千円	298件	32,201千円	28.8%	26	1,589件	168,307千円	664件	56,535千円	33.6%	27	1,969件	193,504千円	1,160件	71,098千円	36.7%	28	2,357件	226,525千円	1,365件	87,222千円	38.5%	29	2,801件	266,727千円	1,583件	105,644千円	39.6%	30	3,140件	303,944千円	1,736件	117,975千円	38.8%	区分	料金名（料金額）	先進医療	・NCCオンコパネルを使用したマルチプレックス遺伝子パネル検査（514,000円）	自由診療	・がんゲノム医療外来受診料（39,000円） ・がん遺伝子パネル検査料（オンコプライム）（通常検査実施時957,000円、解析中止時417,000円）	施設名	種別	戸数	入居戸数	空室	備考	柏原	医師等公舎	15	1	14	病院移転時に売却を検討	姫路	医師等公舎	6	1	5	病院移転時に解体予定	看護師宿舎	14	10	4	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>参考：現況（令和元年7月の状況等）</p> <p>(3) 弁護士法人による悪質滞納者に対する法的措置の実施 H24：5名、H25：5名、H26：5名、H27：5名、H28：5名、H29：6名、H30：5名 （計36名）</p> <p>2 使用料、手数料等の見直し (1) 紹介状なしの病院受診時の初診料、再診料</p> <table border="1" data-bbox="1742 354 2175 507"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>初診料、再診料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎総合医療センター</td> <td>初診（医科 5,000円、歯科 3,000円）</td> </tr> <tr> <td>西宮病院</td> <td>再診（医科 2,500円、歯科 1,500円）</td> </tr> <tr> <td>淡路医療センター</td> <td>初診（医科・歯科 2,600円）</td> </tr> <tr> <td>県立6病院</td> <td>初診（医科・歯科 2,600円）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 先進医療等の料金化</p> <table border="1" data-bbox="1742 529 2175 635"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>料金名（料金額）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>先進医療</td> <td>・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術（301,000円）</td> </tr> </tbody> </table> <p>R元年6月1日設定</p> <p>(3) 民間事業者による病院施設運営状況</p> <table border="1" data-bbox="1742 683 2175 1161"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>プロポーザル実施対象（2019.4）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>売店、自動販売機</td> </tr> <tr> <td>柏原</td> <td>売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>売店、自動販売機</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>売店、自動販売機</td> </tr> <tr> <td>リハ中央</td> <td>売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>リハ西播磨</td> <td>床頭台システム</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 業者が提示した率で売上加算使用料を徴収</p> <p>3 資産の有効活用 (2) 県有公舎等の状況（R1.6） 柏原：医師公舎15戸中入居0戸 姫路：医師公舎6戸中入居2戸 看護師宿舎14戸中入居11戸 ※病院敷地内にあり、病院移転時に廃止予定</p>	施設名	初診料、再診料	尼崎総合医療センター	初診（医科 5,000円、歯科 3,000円）	西宮病院	再診（医科 2,500円、歯科 1,500円）	淡路医療センター	初診（医科・歯科 2,600円）	県立6病院	初診（医科・歯科 2,600円）	区分	料金名（料金額）	先進医療	・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術（301,000円）	施設名	プロポーザル実施対象（2019.4）	尼崎	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ	西宮	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	加古川	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	淡路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	こころ	売店、自動販売機	柏原	売店、自動販売機、床頭台システム	こども	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	がん	売店、自動販売機	姫路	売店、自動販売機	リハ中央	売店、自動販売機、床頭台システム	リハ西播磨	床頭台システム	<p>参考：現況（令和元年7月の状況等）</p> <p>(3) 弁護士法人による悪質滞納者に対する法的措置の実施 H24：5名、H25：5名、H26：5名、H27：5名、H28：5名、H29：6名、H30：5名 （計36名）</p> <p>2 使用料、手数料等の見直し (1) 紹介状なしの病院受診時の初診料、再診料</p> <table border="1" data-bbox="1742 354 2175 507"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>初診料、再診料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎総合医療センター</td> <td>初診（医科 5,000円、歯科 3,000円）</td> </tr> <tr> <td>西宮病院</td> <td>再診（医科 2,500円、歯科 1,500円）</td> </tr> <tr> <td>淡路医療センター</td> <td>初診（医科・歯科 2,600円）</td> </tr> <tr> <td>県立6病院</td> <td>初診（医科・歯科 2,600円）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 先進医療等の料金化</p> <table border="1" data-bbox="1742 529 2175 635"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>料金名（料金額）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>先進医療</td> <td>・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術（301,000円）</td> </tr> </tbody> </table> <p>R元年6月1日設定</p> <p>(3) 民間事業者による病院施設運営状況</p> <table border="1" data-bbox="1742 683 2175 1161"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>プロポーザル実施対象（2019.4）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>売店、自動販売機</td> </tr> <tr> <td>柏原</td> <td>売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>売店、自動販売機</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>売店、自動販売機</td> </tr> <tr> <td>リハ中央</td> <td>売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>リハ西播磨</td> <td>床頭台システム</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 業者が提示した率で売上加算使用料を徴収</p> <p>3 資産の有効活用 (2) 県有公舎等の状況（R1.6） 柏原：医師公舎15戸中入居0戸 姫路：医師公舎6戸中入居2戸 看護師宿舎14戸中入居11戸 ※病院敷地内にあり、病院移転時に廃止予定</p>	施設名	初診料、再診料	尼崎総合医療センター	初診（医科 5,000円、歯科 3,000円）	西宮病院	再診（医科 2,500円、歯科 1,500円）	淡路医療センター	初診（医科・歯科 2,600円）	県立6病院	初診（医科・歯科 2,600円）	区分	料金名（料金額）	先進医療	・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術（301,000円）	施設名	プロポーザル実施対象（2019.4）	尼崎	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ	西宮	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	加古川	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	淡路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	こころ	売店、自動販売機	柏原	売店、自動販売機、床頭台システム	こども	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	がん	売店、自動販売機	姫路	売店、自動販売機	リハ中央	売店、自動販売機、床頭台システム	リハ西播磨	床頭台システム
年度	委託総額		回収総額		回収率																																																																																																																																																	
25	894件	111,970千円	298件	32,201千円	28.8%																																																																																																																																																	
26	1,589件	168,307千円	664件	56,535千円	33.6%																																																																																																																																																	
27	1,969件	193,504千円	1,160件	71,098千円	36.7%																																																																																																																																																	
28	2,357件	226,525千円	1,365件	87,222千円	38.5%																																																																																																																																																	
29	2,801件	266,727千円	1,583件	105,644千円	39.6%																																																																																																																																																	
30	3,140件	303,944千円	1,736件	117,975千円	38.8%																																																																																																																																																	
区分	料金名（料金額）																																																																																																																																																					
先進医療	・NCCオンコパネルを使用したマルチプレックス遺伝子パネル検査（514,000円）																																																																																																																																																					
自由診療	・がんゲノム医療外来受診料（39,000円） ・がん遺伝子パネル検査料（オンコプライム）（通常検査実施時957,000円、解析中止時417,000円）																																																																																																																																																					
施設名	種別	戸数	入居戸数	空室	備考																																																																																																																																																	
柏原	医師等公舎	15	1	14	病院移転時に売却を検討																																																																																																																																																	
姫路	医師等公舎	6	1	5	病院移転時に解体予定																																																																																																																																																	
	看護師宿舎	14	10	4																																																																																																																																																		
施設名	初診料、再診料																																																																																																																																																					
尼崎総合医療センター	初診（医科 5,000円、歯科 3,000円）																																																																																																																																																					
西宮病院	再診（医科 2,500円、歯科 1,500円）																																																																																																																																																					
淡路医療センター	初診（医科・歯科 2,600円）																																																																																																																																																					
県立6病院	初診（医科・歯科 2,600円）																																																																																																																																																					
区分	料金名（料金額）																																																																																																																																																					
先進医療	・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術（301,000円）																																																																																																																																																					
施設名	プロポーザル実施対象（2019.4）																																																																																																																																																					
尼崎	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ																																																																																																																																																					
西宮	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																																																					
加古川	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																																																					
淡路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																																																					
こころ	売店、自動販売機																																																																																																																																																					
柏原	売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																																																					
こども	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																																																					
がん	売店、自動販売機																																																																																																																																																					
姫路	売店、自動販売機																																																																																																																																																					
リハ中央	売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																																																					
リハ西播磨	床頭台システム																																																																																																																																																					
施設名	初診料、再診料																																																																																																																																																					
尼崎総合医療センター	初診（医科 5,000円、歯科 3,000円）																																																																																																																																																					
西宮病院	再診（医科 2,500円、歯科 1,500円）																																																																																																																																																					
淡路医療センター	初診（医科・歯科 2,600円）																																																																																																																																																					
県立6病院	初診（医科・歯科 2,600円）																																																																																																																																																					
区分	料金名（料金額）																																																																																																																																																					
先進医療	・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術（301,000円）																																																																																																																																																					
施設名	プロポーザル実施対象（2019.4）																																																																																																																																																					
尼崎	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ																																																																																																																																																					
西宮	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																																																					
加古川	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																																																					
淡路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																																																					
こころ	売店、自動販売機																																																																																																																																																					
柏原	売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																																																					
こども	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																																																					
がん	売店、自動販売機																																																																																																																																																					
姫路	売店、自動販売機																																																																																																																																																					
リハ中央	売店、自動販売機、床頭台システム																																																																																																																																																					
リハ西播磨	床頭台システム																																																																																																																																																					

III 自立した経営の確保

項目4 費用の抑制 (1) 給与費比率の改善

○ 基本方向	自立した経営の実現に向け、診療報酬基準の改定等に応じた職員の適正配置を行う一方、業務の効率化や委託化を進め、医業収益に対する給与費比率の維持・改善に努める。
○ 取組内容	<p>1 法令、診療報酬制度等に定められている配置基準を基本としたうえで、給与費比率の改善を図るため、職員の適正配置を行う。</p> <p>(1) 嘱託化、委託化を推進し、医療技術職員（検査、放射線等）の定員の概ね2割（平成19年度比）を削減する</p> <p>(2) 看護業務の嘱託化等の見直しにより、外来部門の看護師定員の概ね3割（平成19年度比）を削減する</p> <p>(3) 事務職、技能労務職等職員の定員の概ね3割（平成19年度比）を削減する</p> <p>2 業務の効率化や委託化を進め、給与費の適正化を進める。</p> <p>3 職務の性格や内容を踏まえつつ、国、地方公共団体の同種の職員、民間の同種の職種に従事する者との均衡に留意するとともに、病院事業の経営状況等を勘案し、県全体の動向を踏まえた給与の見直しを検討する。</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																		
<p>〔目標〕</p> <p>神戸陽子線センターの開設（通年化）やこども病院の増床など診療機能拡充に伴う看護師等の増員があるものの、患者の受入れ促進等による収入の確保を図り、医業収益に対する給与費比率の維持・抑制に努める。</p> <p>・10病院給与費比率 H29年度決見 59.8%→H30年度計画 59.6%</p>	<p>診療機能の高度化に伴う医師等の増員や給与改定により給与費は増加したものの、医業収益の増加により給与費比率は前年度より抑制</p> <p>・10病院給与費比率 △0.6%(29)59.9% → (30)59.3%</p>	○																																																				
<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 診療報酬基準の改定等に応じた職員の適正配置</p> <p>(1) 新病院開設に伴う適正な職員配置</p> <p>(2) 診療報酬基準に基づく人員配置の検証</p> <p>(3) 増員配置の費用対効果の検証</p> <p>(4) 医療技術の嘱託化の推進</p> <p>2 業務の効率化・委託化 総務事務の委託化の推進</p> <p>3 給与の見直し 行財政構造改革に基づく給与抑制</p>	<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 診療報酬基準の改定等に応じた職員の適正配置 医療技術職において定数措置を行ったものに関して、費用対効果の検証を実施</p> <p>(参考)最終2ヵ年行革プランに基づく削減目標達成状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">H19.4.1</th> <th rowspan="2">H30.4.1</th> <th colspan="2">対H19.4.1</th> </tr> <tr> <th>増 減</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療技術職員 (検査、放射線等)</td> <td>404</td> <td>320</td> <td>△84</td> <td>△20.8%</td> </tr> <tr> <td>外来部門の看護師</td> <td>281</td> <td>182</td> <td>△99</td> <td>△35.2%</td> </tr> <tr> <td>事務職、技能労務職等</td> <td>519</td> <td>359</td> <td>△160</td> <td>△30.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 業務の効率化・委託化</p> <p>(1) 総務事務の委託化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25～こども・がん ・H26～加古川・姫路 <p>(2) 調理給食業務の委託化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30～柏原 <p>3 給与の見直し</p> <p>【給料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役職に応じて0.8%～1.4%カット <p>※一般職員は減額措置終了</p> <p>【期末・勤勉手当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役職加算 部長・局長級は2.0%カット ・管理職加算 役職に応じて1.0%～3.5%カット 	区 分	H19.4.1	H30.4.1	対H19.4.1		増 減	増減率	医療技術職員 (検査、放射線等)	404	320	△84	△20.8%	外来部門の看護師	281	182	△99	△35.2%	事務職、技能労務職等	519	359	△160	△30.8%	○		<p>1 H31.4 現員数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">H19.4.1</th> <th colspan="3">H31.4.1</th> </tr> <tr> <th>現 在</th> <th>増 減</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>513</td> <td>811</td> <td>298</td> <td>+58.1%</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>2967</td> <td>4224</td> <td>1257</td> <td>+42.4%</td> </tr> <tr> <td>医療技術職員</td> <td>644</td> <td>879</td> <td>235</td> <td>+36.5%</td> </tr> <tr> <td>その他の職員</td> <td>519</td> <td>369</td> <td>△150</td> <td>△28.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 給与の見直し</p> <p>特別職（病院事業管理者）における給与抑制措置（△2%）及び一般職における管理職手当減額措置（10%）を継続実施</p>	区 分	H19.4.1	H31.4.1			現 在	増 減	増減率	医師	513	811	298	+58.1%	看護師	2967	4224	1257	+42.4%	医療技術職員	644	879	235	+36.5%	その他の職員	519	369	△150	△28.9%
区 分	H19.4.1				H30.4.1	対H19.4.1																																																
		増 減	増減率																																																			
医療技術職員 (検査、放射線等)	404	320	△84	△20.8%																																																		
外来部門の看護師	281	182	△99	△35.2%																																																		
事務職、技能労務職等	519	359	△160	△30.8%																																																		
区 分	H19.4.1	H31.4.1																																																				
		現 在	増 減	増減率																																																		
医師	513	811	298	+58.1%																																																		
看護師	2967	4224	1257	+42.4%																																																		
医療技術職員	644	879	235	+36.5%																																																		
その他の職員	519	369	△150	△28.9%																																																		

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）
<p>(3) 各病院の診療機能に見合った採用品目の選択及び同種同効薬の整理による採用品目数の縮減を引き続き実施</p>	<p>(3) 各病院の診療機能に見合った採用品目の選択及び同種同効薬の整理による採用品目数の縮減を引き続き実施 全採用医薬品数 平成29年度末9,261品目 →平成30年度末9,201品目（△60品目）</p>	<p>○</p>		

III 自立した経営の確保

項目4 費用の抑制 (3) 経費比率の改善

- 基本方向
委託業務の範囲や内容の見直しを行うとともに、消耗品等をより低廉な価格で購入し、医療収益に対する経費比率の抑制に努める。
- 取組内容
 - 1 施設管理等の業務委託については、引き続き委託範囲や実施頻度等を見直すことにより、委託費の抑制を図る。
 - 2 医療機器保守契約の一括契約化の推進、医療器材の一括購入、事務用品等の安価製品への切替等に取り組むことにより、経費を抑制する。
 - 3 施設・設備を計画的に改修し、投資の効率化を図ることにより、修繕費を抑制する。
 - 4 施設改修時に省エネルギー対策を実施することにより、光熱水費を抑制する。
 - 5 効率的な業務遂行や経費節減により、一般事務費を抑制する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）
<p>〔目標〕</p> <p>神戸陽子線センターの開設（通年化）により増加するが、委託業務の範囲や内容の見直しを行うとともに、高度医療機器の保守・点検一括契約の推進等により、医療収益に対する経費比率の維持・抑制に努める。</p> <p>・10病院経費比率 H29年度決見 15.7%→H30年度計画 16.1%</p>	<p>高度医療機器の保守・点検一括契約等経費の抑制を促進したものの、神戸陽子線センターの本格稼働等による委託料の増加等により経費比率は悪化</p> <p>・10病院経費比率 +0.8% (29) 15.8%→(30) 16.5%</p>	○		
<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 委託範囲や実施頻度の見直しによる委託費の抑制</p> <p>2 医療機器保守契約の一括契約化等の推進</p> <p>① 各職種との協働による医療機器保守契約の一括化の推進</p> <p>② 医療器材の一括購入、事務用品等の安価製品への切り替え等の取り組みの検討</p> <p>3 施設・設備の計画的な改修による修繕費の抑制</p> <p>4 照明のLED化の推進等の省エネルギー対策の実施による光熱水費の抑制</p> <p>5 効率的な業務遂行や経費節減による一般事務費の抑制</p> <p>6 中古医療機器等の更新に伴う売払いの継続</p>	<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 委託範囲や実施頻度の見直しによる委託費の抑制</p> <p>2 医療機器保守契約の一括契約化等の推進</p> <p>① 医療機器 10機種 85機器において一括保守を実施 費用削減率 15.4%</p> <p>② 高額医療機器の本庁一括管理、入札を実施(22機器)</p> <p>3 施設・設備の計画的な改修による修繕費の抑制</p> <p>4 照明のLED化の推進等の省エネルギー対策の実施による光熱水費の抑制 H30:加古川医療センター(外来の一部)</p> <p>5 効率的な業務遂行や経費節減による一般事務費の抑制</p> <p>6 中古機器等売払い こころ・訪問看護車2台、貨物自動車1台</p>	○ ○ ○ ○ ○ ○		<p>1 委託費の抑制 清掃委託の見直し（長期契約への切り替え）</p> <p>2 一括保守契約の拡大 9機種93台について一括保守を実施</p> <p>3 施設・設備の計画的改修による修繕費の抑制</p> <p>4 建替整備にあわせて太陽光発電を設置 （尼崎、丹波、淡路、こころ、こども）</p> <p>5 一般事務費の抑制・節減</p> <p>① 電気使用量の抑制 （照明のLED化の推進、昼休みの事務室消灯等）</p> <p>② 用紙の節減（資料の電子媒体化、両面コピーの徹底、2up書類の推進）等</p>

IV 安定した医療提供体制の確立

項目1 経営形態の検討

○ 基本方向
 自立した経営のもとで県民に対して高度専門・特殊医療等を継続して提供していくうえで、本県病院事業に最も相応しい経営形態のあり方を引き続き検討する。

○ 取組内容
 本県病院事業は、平成26年度以降、消費税増税による損税の拡大、診療機能拡充に伴う給与費等の費用の増により赤字となっているが、今後の経営改革への取組の推進により、病院事業全体で平成29年度の収支均衡を目指している。
 このような中で、地方独立行政法人制度適用については、検討を行ったものの、現時点では多額に上る初期投資等の財源確保など解決すべき課題が多い。
 このため、「新県立病院改革プラン」の終期である平成32年度までは、地方公営企業法の全部適用を維持する。
 地方独立行政法人制度適用の是非については、他団体の動向を注視しながら引き続き検討する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																																				
<p>〔目標〕 経営形態のあり方検討に資するため、病院事業を取り巻く環境変化や国及び他団体の動向を適切に把握する。</p> <p>〔共通取組項目〕 平成32年度までは、現在の地方公営企業法の全部適用を維持するが、地方独立行政法人の適用の是非についても、他団体の動向を注視しながら引き続き検討を行う。</p>	<p>経営形態のあり方検討に資するため、病院事業を取り巻く環境変化や国及び他団体の動向を適切に把握した。</p> <p>〔共通取組項目〕 退職給与引当金の積み立て等、地方独立行政法人への移行には課題があり（平成29年3月 包括外部監査）、「第4次病院構造改革推進方策」の終期である2023年度までは、地方公営企業法の全部適用を維持することとしている。 他団体の動向を注視しつつ、引き続き、地方独立行政法人制度適用の是非など、保険病院事業に相応しい経営形態のあり方を検討する。</p>	○																																																																						
○都道府県立病院の運営形態（H31.4.1）																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">H30.4.1</th> <th colspan="2">H31.4.1</th> <th rowspan="2">増減</th> <th rowspan="2">内 訳（病院数）</th> </tr> <tr> <th>病院数</th> <th>割合</th> <th>病院数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全部適用</td> <td>127</td> <td>68%</td> <td>126</td> <td>68%</td> <td>△1</td> <td>兵庫(13)、北海道(6)、青森(2)、岩手(20)、山形(4)、福島(5)、茨城(3)、群馬(4)、埼玉(4)、千葉(6)、新潟(13)、静岡(1)、愛知(3)、三重(3)、滋賀(3)、鳥取(2)、島根(2)、広島(2)、徳島(3)、香川(3)、愛媛(4)、高知(2)、長崎(2(一部事務組合で運営))、熊本(1)、大分(1)、宮崎(3)、鹿児島(5)、沖縄(6)</td> </tr> <tr> <td>一部適用</td> <td>17</td> <td>9%</td> <td>17</td> <td>9%</td> <td>0</td> <td>栃木(1)、東京(8)、富山(2)、石川(2)、福井(2)、和歌山(1)、福岡(1)</td> </tr> <tr> <td>独立行政法人</td> <td>43</td> <td>23%</td> <td>43</td> <td>23%</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">独立行政法人 経営形態 の 独立化 前 の 経営 形態</td> <td>全部適用</td> <td>(11)</td> <td>26%</td> <td>(11)</td> <td>26%</td> <td>0</td> <td>宮城(4)、山形(2)、神奈川(4)、三重(1)</td> </tr> <tr> <td>一部適用</td> <td>(30)</td> <td>70%</td> <td>(30)</td> <td>70%</td> <td>0</td> <td>秋田(2)、栃木(2)、神奈川(1)、山梨(2)、長野(5)、岐阜(3)、静岡(3)、大阪(5)、奈良(3)、岡山(1)、山口(2)、佐賀(1)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>(2)</td> <td>5%</td> <td>(2)</td> <td>5%</td> <td>0</td> <td>東京(1 法適用外(指定管理)→独法)、徳島(1 法適用外(健康保険病院)→県移管・独法)</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>(43)</td> <td>100%</td> <td>(43)</td> <td>100%</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>187</td> <td>100%</td> <td>186</td> <td>100%</td> <td>△1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	H30.4.1		H31.4.1		増減	内 訳（病院数）	病院数	割合	病院数	割合	全部適用	127	68%	126	68%	△1	兵庫(13)、北海道(6)、青森(2)、岩手(20)、山形(4)、福島(5)、茨城(3)、群馬(4)、埼玉(4)、千葉(6)、新潟(13)、静岡(1)、愛知(3)、三重(3)、滋賀(3)、鳥取(2)、島根(2)、広島(2)、徳島(3)、香川(3)、愛媛(4)、高知(2)、長崎(2(一部事務組合で運営))、熊本(1)、大分(1)、宮崎(3)、鹿児島(5)、沖縄(6)	一部適用	17	9%	17	9%	0	栃木(1)、東京(8)、富山(2)、石川(2)、福井(2)、和歌山(1)、福岡(1)	独立行政法人	43	23%	43	23%	0		独立行政法人 経営形態 の 独立化 前 の 経営 形態	全部適用	(11)	26%	(11)	26%	0	宮城(4)、山形(2)、神奈川(4)、三重(1)	一部適用	(30)	70%	(30)	70%	0	秋田(2)、栃木(2)、神奈川(1)、山梨(2)、長野(5)、岐阜(3)、静岡(3)、大阪(5)、奈良(3)、岡山(1)、山口(2)、佐賀(1)	その他	(2)	5%	(2)	5%	0	東京(1 法適用外(指定管理)→独法)、徳島(1 法適用外(健康保険病院)→県移管・独法)	小計	(43)	100%	(43)	100%	0		計	187	100%	186	100%	△1	
区分	H30.4.1		H31.4.1			増減	内 訳（病院数）																																																																	
	病院数	割合	病院数	割合																																																																				
全部適用	127	68%	126	68%	△1	兵庫(13)、北海道(6)、青森(2)、岩手(20)、山形(4)、福島(5)、茨城(3)、群馬(4)、埼玉(4)、千葉(6)、新潟(13)、静岡(1)、愛知(3)、三重(3)、滋賀(3)、鳥取(2)、島根(2)、広島(2)、徳島(3)、香川(3)、愛媛(4)、高知(2)、長崎(2(一部事務組合で運営))、熊本(1)、大分(1)、宮崎(3)、鹿児島(5)、沖縄(6)																																																																		
一部適用	17	9%	17	9%	0	栃木(1)、東京(8)、富山(2)、石川(2)、福井(2)、和歌山(1)、福岡(1)																																																																		
独立行政法人	43	23%	43	23%	0																																																																			
独立行政法人 経営形態 の 独立化 前 の 経営 形態	全部適用	(11)	26%	(11)	26%	0	宮城(4)、山形(2)、神奈川(4)、三重(1)																																																																	
	一部適用	(30)	70%	(30)	70%	0	秋田(2)、栃木(2)、神奈川(1)、山梨(2)、長野(5)、岐阜(3)、静岡(3)、大阪(5)、奈良(3)、岡山(1)、山口(2)、佐賀(1)																																																																	
	その他	(2)	5%	(2)	5%	0	東京(1 法適用外(指定管理)→独法)、徳島(1 法適用外(健康保険病院)→県移管・独法)																																																																	
	小計	(43)	100%	(43)	100%	0																																																																		
計	187	100%	186	100%	△1																																																																			
※1つの自治体で複数形態で運営する団体有り																																																																								

IV 安定した医療提供体制の確立

項目2 組織・職制等の見直し

○ 基本方向	病院事業を取り巻く環境の変化に迅速かつ機動的に対応し、県民に良質で安全な医療を効果的かつ効率的に提供するため、課題に応じた組織・職制の見直しを行う。
○ 取組内容	1 医療機能の高度化・専門分化、医療ニーズの多様化、診療報酬の改定等に迅速、的確かつ柔軟に対応できる組織・職制の整備を行う。 2 新病院の開設にあたり、病院機能が十分発揮できるよう、複数の診療科、多職種の協働による専門センター制等を推進するなど、効果的・効率的な組織・職制の整備を行う。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）
〔目標〕 病院事業を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応し、県民に良質で安心な医療を効果的、効率的に提供していくため、組織・職制の見直しを適切に行う。	病院事業を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応し、県民に良質で安心な医療を効果的、効率的に提供していくため、組織・職制の見直しを適切に行った。	○		
〔共通取組項目〕 1 診療機能の高度化や診療報酬制度の改定など、病院事業を取り巻く環境の変化に迅速かつ機動的に対応し、直面する課題に応じた適切な組織・職制の見直しを行う。	〔共通取組項目〕 1 診療機能の高度化や診療報酬制度の改定など、病院事業を取り巻く環境の変化に迅速かつ機動的に対応し、直面する課題に応じた適切な組織・職制の見直しを行った。	○		
2 新病院の建替整備が続く中、新病院の体制整備にあたっては、病院運営の観点を踏まえつつ、新病院で提供する診療機能が十分発揮できるよう、効果的・効率的な組織・職制の整備を行う。	2 新病院の建替整備が続く中、新病院の体制整備にあたっては、病院運営の観点を踏まえつつ、新病院で提供する診療機能が十分発揮できるよう、効果的・効率的な組織・職制の整備を行った。	○		

年度	本庁	病院	年度	本庁	病院等
平成26年度	・班制の導入 ・管理課主幹(看護担当)を参事(看護担当)へ改編	・小児がん医療センター長の設置(こども) ・緩和ケアセンター長の設置(がんセンター) ・糖尿病センター長の設置(姫路) ・栄養管理部の設置及び栄養指導課の栄養管理課への改編 ・看護師長の設置(粒子線) ・看護師長(教育担当)の設置拡充(西宮、加古川、淡路、がん、姫路) ・淡路看護専門学校の廃止(民間売却) ・柏原看護専門学校の廃止(丹波市へ移譲)	平成29年度	・病院局参事(医師キャリア担当)の設置 ・病院局参事(医師育成担当)の設置 ・管理課参事(人材育成担当)の設置 ・管理課医師育成支援班の設置	・粒子線医療センター附属神戸陽子線センターの設置 ・「ひょうごこころの医療センター」に改称(光風) ・小児救命救急センターの設置(尼崎、こども) ・脳卒中センターの設置(姫路)
			平成30年度		・集中治療センターの設置(尼崎) ・ゲノム医療・臨床試験センターの設置(がん) ・研究部の設置(姫路)
平成27年度	・企画課病院整備班主幹(新病院担当)の設置	・尼崎総合医療センターの設置 ・医療監の設置(淡路) ・副院長(看護・連携調整担当)の設置(西宮、柏原、こども) ・新病院整備に向けた総務部次長の設置(柏原) ・新粒子線治療施設整備に向けた看護師長の設置(こども) ・看護師長(教育担当)の設置拡充(柏原) ・東洋医学研究所及び同附属診療所の廃止	平成31年度		・丹波医療センターの設置 ・リハビリテーション部の設置(西宮、加古川、丹波、淡路、こども、がん、姫路)
平成28年度	・病院局参事(新病院準備担当)の設置	・リウマチ膠原病センターの設置(加古川) ・こども病院指導相談・地域医療連携部の家族支援・地域医療連携部への改編 ・こども病院参事(小児心疾患医療担当)の設置 ・粒子線医療センター医療安全部長及び医療安全課長の設置 ・看護部参事の設置(尼崎、こども)			

IV 安定した医療提供体制の確立

項目3 適正な人員配置

○ 基本方向	法令、診療報酬制度等に定められている配置基準を基本に、医療機能の高度化・専門分化、医療サービスの水準の維持・向上、新病院の機能充実等を図る観点から、職員の適正配置を行う。
○ 取組内容	<p>1 医療機能の高度化・専門分化や医療ニーズの多様化、診療報酬基準の改定、チーム医療の推進等に応じた職員の適正配置を行う。</p> <p>2 新病院の開設にあたっては、病院機能が十分発揮できるよう人員体制を整備する。</p> <p>3 業務執行方法等の見直しにより、効率的な人員体制の整備を行う。</p> <p>(1) 嘱託化、委託化を推進し、医療技術職員（検査、放射線等）の定員の概ね2割（19年度比）を削減する。</p> <p>(2) 看護業務の嘱託化等の見直しにより、外来部門の看護師定員の概ね3割（19年度比）を削減する。</p> <p>(3) 事務職、技能労務職等職員の定員の概ね3割（19年度比）を削減する。</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																																																																			
<p>【目標】</p> <p>医師等の医療職員については、診療機能の高度化、診療報酬基準の改定等に応じた適正配置を行うとともに、医療技術職、外来部門の看護師、事務職、技能労務職等の職員定数見直しにかかる計画の達成を図る。</p> <p>【共通取組項目】</p> <p>診療機能の充実、高度専門医療の充実等に伴う増員及び最終2カ年行革プランによる削減見込みを踏まえ、兵庫県病院事業職員定数条例に規定する病院局の職員定数を11人増員する。</p> <p>1 高度専門医療の充実</p> <p>(1) 医療機能の向上・充実に向けた対応 こども病院における稼働病床数の拡充に伴う増員 等</p> <p>(2) 診療報酬基準改定等への対応 薬剤管理指導の充実に伴う増員 等</p> <p>(3) 医療ニーズへの適切な対応 地域医療連携体制の充実に伴う増員 等</p> <p>2 新病院の整備に向けた対応 丹波医療センター、はりま姫路総合医療センター（仮称）の開設に向けた体制整備</p> <p>3 最終2カ年行革プランに基づく削減</p> <p>(1) 医療技術職員の嘱託化等の実施</p> <p>(2) 事務職、技能労務職等職員の削減の実施</p>	<p>医師等の医療職員については、診療機能の高度化、診療報酬基準の改定等に応じた適正配置を行うとともに、医療技術職、外来部門の看護師、事務職、技能労務職等の職員定数見直しにかかる計画の達成を図った。</p> <p>【共通取組項目】 (現員数の推移)</p> <p>医師 516人(H19.4) → 777人(H30.4)</p> <p>医師(専攻医) 138人(H19.4) → 273人(H30.4)</p> <p>1 高度専門医療の充実</p> <p>(1) 感染管理体制の整備（こころ1名） 稼働病床数の拡充（こども8名）</p> <p>(2) 薬剤管理指導等の充実（西宮2名、姫路2名）</p> <p>(3) 柏原赤十字病院との連携体制整備（柏原1名）</p> <p>2 新病院の整備に向けた対応 新病院の建替整備が続く中、新病院の体制整備にあたっては、病院経営の観点を踏まえつつ、新病院で提供する診療機能が十分発揮できるよう、効果的・効率的な人員配置を実施</p> <p>3 最終2カ年行革プランに基づく削減目標を達成</p>	○	<p>【参考：人員体制の整備状況】</p> <p>・高度専門医療や地域医療連携の充実等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置数</td> <td>+144</td> <td>+32</td> <td>+61</td> <td>+81</td> <td>+29</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>+144</td> <td>+176</td> <td>+237</td> <td>+318</td> <td>+347</td> </tr> </tbody> </table> <p>・新病院整備に伴う体制整備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淡路</td> <td colspan="5">(H25.5 開設)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>尼崎</td> <td>+32</td> <td>+322</td> <td colspan="3">(H27.7 開設)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>-</td> <td>+1</td> <td>+74</td> <td colspan="2">(H28.5 開設)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>神戸陽子</td> <td>+1</td> <td>+8</td> <td>+4</td> <td>+20</td> <td colspan="2">(H29.12 開設)</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>+1</td> <td>(R1.7 開設)</td> <td>+109</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>+33</td> <td>+331</td> <td>+78</td> <td>+21</td> <td>-</td> <td>+109</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H26	H27	H28	H29	H30	配置数	+144	+32	+61	+81	+29	累計	+144	+176	+237	+318	+347	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	淡路	(H25.5 開設)						尼崎	+32	+322	(H27.7 開設)				こども	-	+1	+74	(H28.5 開設)			神戸陽子	+1	+8	+4	+20	(H29.12 開設)		丹波	-	-	-	+1	(R1.7 開設)	+109	計	+33	+331	+78	+21	-	+109	<p>【参考】医師数の推移</p> <p>医師 516人(H19.4) → 799人(H31.4)</p> <p>医師(専攻医) 138人(H19.4) → 303人(H31.4)</p>
年度	H26	H27	H28	H29	H30																																																																		
配置数	+144	+32	+61	+81	+29																																																																		
累計	+144	+176	+237	+318	+347																																																																		
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1																																																																	
淡路	(H25.5 開設)																																																																						
尼崎	+32	+322	(H27.7 開設)																																																																				
こども	-	+1	+74	(H28.5 開設)																																																																			
神戸陽子	+1	+8	+4	+20	(H29.12 開設)																																																																		
丹波	-	-	-	+1	(R1.7 開設)	+109																																																																	
計	+33	+331	+78	+21	-	+109																																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th>H19.4.1</th> <th>H29.4.1</th> <th>H30.4.1</th> <th colspan="2">対H19.4.1</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>増減 ④(③-②)</th> <th>増減率 ⑤(④/②)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療技術職員 (検査、放射線等)</td> <td>404</td> <td>325</td> <td>320</td> <td>△5</td> <td>△1.5%</td> </tr> <tr> <td>外来部門の看護師</td> <td>281</td> <td>182</td> <td>182</td> <td>±0</td> <td>±0%</td> </tr> <tr> <td>事務職、技能労務職等</td> <td>519</td> <td>374</td> <td>359</td> <td>△15</td> <td>△4.0%</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	H19.4.1	H29.4.1	H30.4.1	対H19.4.1		①	②	③	増減 ④(③-②)	増減率 ⑤(④/②)	医療技術職員 (検査、放射線等)	404	325	320	△5	△1.5%	外来部門の看護師	281	182	182	±0	±0%	事務職、技能労務職等	519	374	359	△15	△4.0%																																							
区 分	H19.4.1	H29.4.1	H30.4.1		対H19.4.1																																																																		
	①	②	③	増減 ④(③-②)	増減率 ⑤(④/②)																																																																		
医療技術職員 (検査、放射線等)	404	325	320	△5	△1.5%																																																																		
外来部門の看護師	281	182	182	±0	±0%																																																																		
事務職、技能労務職等	519	374	359	△15	△4.0%																																																																		

IV 安定した医療提供体制の確立

項目4 医師確保対策の推進 (1) 医師養成システムの構築等

○ 基本方向	地域や診療科における医師の不足・偏在を解消するため、独自の医師確保策を推進するとともに、県養成医師制度を活用し県養成医の受け入れを行うなど、地域医療の充実にも取り組んでいく。
○ 取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 臨床研修制度及び専攻医制度について、より魅力のある育成プログラムを作成する。 指導医を確保・育成するとともに、研修基盤の充実を行うなどにより、臨床研修医をはじめとした若手医師の確保・定着を図る。 県立病院麻酔科専門医研修プログラムや県立病院群救急科研修プログラム等の活用により、麻酔科医、救急医の確保・育成を図る。 県養成医師の育成拠点としての機能が果たせるよう、柏原病院の教育・研修機能の充実に努める。 「地域医療活性化センター」との連携により、医師の安定的な確保・定着方策を推進する。 新専門医制度に対応した研修プログラムの実施による若手医師や特定診療科医師の確保・育成を図る。 中・西播磨地域に勤務する医師を確保するため、修学資金制度を実施するなど地域医療全体で医師を育てる仕組みの構築を図る。 系列大学等との連携を図り、魅力ある研修フィールドの提供等により、若手医師の確保養成を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																												
<p>【目標】 必要な医師総数を確保するとともに、地域偏在対策、診療科偏在対策としての取り組みを積極的に推進する。</p>	<p>引き続き地域偏在対策、診療科偏在対策としての取組を実施した。</p>	○																														
<p>【共通取組項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床研修制度等の実施 指導医資格取得に対する支援 指導医資格取得のための経費について、研究研修費の対象とし支援を実施 独自の医師養成システム (1) 医師修学資金の実施 中・西播磨地域枠 (対象：病院事業管理者が指定する中・西播磨地域の医療機関の医師として勤務する意思を有している者) (2) 麻酔科専門研修プログラムの実施 (研修参加医師数：H29.4 15名 → H30.4 17名) (3) 救急科研修プログラムの実施 (研修参加医師数：H29.4 6名 → H30.4 12名) 地域医療循環器型人材育成プログラムの実施 柏原病院の医師確保のため、神戸大学から中堅医師 10名と非常勤指導医 3名以上の派遣を受け、専攻医等を含めた若手医師の育成を図るプログラムを実施 地域医療活性化センターとの連携 医師の安定的な確保・定着のため神戸大学の地域医療活性化センターを活用した教育・研修や地域医療支援センターと連携した県養成医師の研修受入れを実施 	<p>【共通取組項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床研修制度等の実施 臨床研修医の確保 (H30:61名) 指導医資格取得に対する支援 各学会が認定する指導医資格等の新規取得等を支援 (H30:251名) 独自の医師養成システム (1) 医師修学資金の実施 中・西播磨地域枠 (貸与者数 H30.4:7名) (2) 麻酔科専門研修プログラムの実施 (研修参加医師数 H30.4:17名) (3) 救急科研修プログラムの実施 (研修参加医師数 H30.4:12名) 平成20年度から実施している「地域医療循環型人材育成プログラム」について、平成24年度から内容を充実して実施 地域医療活性化センターとの連携 医師の安定的な確保・定着のため神戸大学の地域医療活性化センターを活用した教育・研修や地域医療支援センターと連携した県養成医師の研修受入れを実施 	○ ○ ○ ○ ○		<ol style="list-style-type: none"> 臨床研修制度等の実施 臨床研修医採用者数 (H31.4:58名) 独自の医師養成システム (1) 医師修学資金 中・西播磨地域枠 貸与者数 (H31.4:15名) (2) 麻酔科専門研修プログラムの実施 研修参加医師数 (H31.4:17名) (3) 救急科研修プログラムの実施 研修参加医師数 (H31.4:18名) 																												
<p>【医師数の推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正規</td> <td>516</td> <td>671</td> <td>714</td> <td>742</td> <td>777</td> <td>799</td> </tr> <tr> <td>専攻医</td> <td>138</td> <td>264</td> <td>281</td> <td>284</td> <td>273</td> <td>303</td> </tr> <tr> <td>研修医</td> <td>69</td> <td>95</td> <td>102</td> <td>110</td> <td>118</td> <td>118</td> </tr> </tbody> </table>					年度	H19年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	正規	516	671	714	742	777	799	専攻医	138	264	281	284	273	303	研修医	69	95	102	110	118	118
年度	H19年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																										
正規	516	671	714	742	777	799																										
専攻医	138	264	281	284	273	303																										
研修医	69	95	102	110	118	118																										

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）
<p>6 新専門医制度への対応</p> <p>(1) 基幹施設 魅力ある研修プログラムの策定により専攻医を確保</p> <p>(2) 連携施設 基幹施設との十分な連携により専攻医を確保</p> <p>(3) 医師修学資金制度の運用 新専門医制度に対応した医師修学資金制度の運用を実施</p> <p>7 姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編新病院を中心とした地域で医師を育て確保する仕組みづくり</p> <p>(1) 中・西播磨圏域の医師修学資金を実施【再掲 P64】 中・西播磨の病院で勤務することを前提とした医師修学資金を実施し、地元に着する医師の確保を図る</p> <p>(2) 中・西播磨圏域全体の臨床研修システムの構築 中・西播磨地域内の基幹型臨床研修病院が、それぞれの専門性を活かした研修を相互に行い、圏域内での医師のスキルアップを完結させる</p> <p>(3) 若手医師カンファレンスのためのTV会議システム等の構築の検討 専門医や指導医の不足を補うため、遠隔地の症例を間接的に経験することで医師のスキルアップを図るTV会議システム等の構築を検討する</p>	<p>6 新専門医制度への対応</p> <p>(1) 7診療科（内科、小児科、精神科、眼科、麻酔科、救急科、総合診療科）で基幹施設となり、36名の専攻医を採用（H30.4）</p> <p>(2) 大学附属病院等の連携施設として、23名の専攻医を採用（H30.4）</p> <p>(3) 修学資金被貸与者が、可能な限り希望する専門医研修を受けられるよう調整を実施</p> <p>7 姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編新病院を中心とした地域で医師を育て確保する仕組みづくり</p> <p>(1) 中・西播磨地域枠の医師修学資金の実施</p> <p>(2) 中・西播磨圏域全体の臨床研修システムの構築 姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編基本計画に明記し、構築に向けて圏域内の病院への説明を実施</p> <p>(3) 若手医師カンファレンスのためのTV会議システム等の構築 姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編基本計画に明記し、構築に向けて圏域内の病院への説明を実施</p>	<p>○</p> <p>○</p>		<p>6 新専門医制度での専攻医の採用状況（H31.4：81名）</p>

IV 安定した医療提供体制の確立

項目4 医師確保対策の推進 (2) 魅力ある環境の整備

○ 基本方向	県立病院において医師を安定的に確保するため、医師にとって魅力ある環境の整備等を進める。
○ 取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 高度先進医療機器の新規導入や院内施設の整備、医療秘書の設置による業務の負担軽減等、医師にとって魅力ある執務環境の整備を進める。 学会発表、論文掲載など、医療水準の向上や経営面での貢献等を評価し、研究研修費を重点的に配分すること等により、医師の研究・研修活動を支援する。 県立病院に勤務する医師の資質向上や士気高揚、優秀な人材の確保、養成を図るため、海外学会研究発表派遣事業の積極的な活用を促進する。 女性医師が増加している中、仕事と育児を両立することができる育児短時間制度や部分休業制度の利用促進、院内保育所の充実等を図ることにより、女性医師が働きやすい環境整備をより一層推進する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）				
〔目標〕 魅力ある環境整備を目指した取り組みを推進する。	研究研修の充実、女性医師が働きやすい環境整備など、引き続き魅力ある環境整備を目指し、取組を推進した。	○						
〔共通取組項目〕 1 魅力ある環境の整備 医師の業務負担軽減を図るため、医療秘書を配置 2 研究研修の推進 研究研修費について、経営状況も踏まえ、医師等の医療従事者の意欲向上につながるよう、有効配分 3 海外学会研究発表派遣事業の実施 4 女性医師が働きやすい環境整備等の推進 ・ 育児短時間勤務制度の活用促進、日々雇用・非常勤嘱託など多様な勤務形態の提供等 ・ 民間情報サイト等を利用した女性医師バンクの活用	〔共通取組項目〕 1 魅力ある環境の整備 10病院1診療所に285名配置（H31.3） 2 研究研修の推進 研究研修費について、医師等の医療従事者の意欲向上につなげるため、有効配分を行った。（メリット配分）（配分額）H30:110,000千円 3 海外学会研究発表派遣事業にかかる支援（H30:39名） 4 女性医師が働きやすい環境整備等の推進 <table border="1" data-bbox="703 839 1238 1023"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>取組実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>育児支援制度の利用促進</td> <td>・ 「子育て支援休暇」の対象となる子を満15歳までに拡大（H30） ・ 在宅勤務制度の試行導入（H30）</td> </tr> </tbody> </table>	項目	取組実績	育児支援制度の利用促進	・ 「子育て支援休暇」の対象となる子を満15歳までに拡大（H30） ・ 在宅勤務制度の試行導入（H30）	○ ○ ○ ○		1 医療秘書の配置（R1.7:289名） 2 研究研修費の有効配分（配分額）R1:110,000千円
項目	取組実績							
育児支援制度の利用促進	・ 「子育て支援休暇」の対象となる子を満15歳までに拡大（H30） ・ 在宅勤務制度の試行導入（H30）							

IV 安定した医療提供体制の確立

項目5 看護師確保対策の推進

- 基本方向
 - 県立病院の建替整備や診療報酬の施設基準等に応じた看護体制を整備するため、多様な看護師確保対策を推進する。
 - また、看護師のキャリア支援や離職防止のため、魅力ある環境の整備を進める。
- 取組内容
 - 1 地方試験会場の拡充や実施回数の増など、採用試験の実施方法の見直しを図る。
 - 2 看護師養成施設への訪問強化等の取り組みを推進する。
 - 3 看護師修学資金制度を活用するとともに、地元学生等への説明会を実施するなど、県立病院の看護師の地域偏在に対応する。
 - 4 認定看護師等の養成に向けた派遣研修の活用により、キャリア支援の充実を図る。
 - 5 看護補助者の効果的な配置等により、看護師の業務負担の軽減を図る。
 - 6 看護師のニーズに応じた多様な勤務形態を整備するなど、魅力ある職場環境づくりを更に推進する。
 - 7 兵庫県看護協会が運営する求人・求職サイト「e-ナースセンター」を積極的に活用する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）																					
<p>〔目標〕</p> <p>人材の確保・育成を図るための取組みを積極的に推進する。</p>	<p>採用試験・看護師修学資金制度の実施、キャリア支援など、優秀な人材確保を図るための取組を実施した。</p>	○																							
<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 看護師の需給状況を考慮した採用試験の実施 （試験会場：神戸、姫路、広島、徳島、福岡）</p> <p>2 県立病院単独の合同説明会の実施</p> <p>3 看護師修学資金制度の実施</p> <p>4 認定看護師の養成に向けた派遣研修制度の実施 日本看護協会等が認定する認定看護師教育課程に看護師を派遣 年間養成数：15名程度（派遣期間6ヶ月程度）</p> <p>5 看護補助者の活用 看護師の業務負担軽減を図るため、看護補助者を配置</p> <p>6 e-ナースセンターの活用 各病院において積極的に活用</p>	<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 看護師の需給状況を考慮した採用試験の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験会場</th> <th>応募者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>神戸</td> <td>743</td> <td>231</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>206</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>広島</td> <td>34</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>徳島</td> <td>48</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>福岡</td> <td>18</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,049</td> <td>340</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 県立病院単独の合同説明会の実施 (H30. 4. 28)</p> <p>3 看護師修学資金制度の実施 H30:50名に貸与</p> <p>4 認定看護師養成派遣制度の実施 H30：新たに10名を研修派遣者に決定 （養成困難な課程について、一部応募なし）</p> <p>5 看護補助者の配置 10病院1診療所に364名配置 (H30. 12)</p> <p>6 e-ナースセンターの活用 各病院において活用</p>	試験会場	応募者数	合格者数	神戸	743	231	姫路	206	71	広島	34	13	徳島	48	19	福岡	18	6	合計	1,049	340	○		<p>1 採用試験の実施方法の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方試験会場（神戸除く）の設置状況 H24～：岡山、徳島、福岡 H25～：姫路、岡山、徳島、福岡、福井、沖縄 H26～：姫路、広島、徳島、福岡、福井、沖縄 H28～：姫路、広島、徳島、福岡 ・受験可能年齢の引き上げ H23～：40歳→45歳 ・実施回数の増 H23～：1回→3回 H25～：3回→4回 ・実施日の増 R1～：1回目採用試験（6月）は、新卒者と既卒者をそれぞれ別日（連続する2日）に実施 <p>2 県立病院単独の合同説明会の実施 (H31. 4. 27)</p> <p>3 看護師修学資金制度の創設 (H23) と募集枠の拡大 H23～：50名 H24～：120名 H25～：150名 H26～：200名 H27～：200名以内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師修学資金の最終学年の新規貸付決定者への貸与額を倍増 (H26) （月額5万円→月額10万円） <p>4 認定看護師養成派遣制度の実施 (H30：10名)</p> <p>5 看護補助者の配置 (R1. 7：373名)</p>
試験会場	応募者数	合格者数																							
神戸	743	231																							
姫路	206	71																							
広島	34	13																							
徳島	48	19																							
福岡	18	6																							
合計	1,049	340																							

IV 安定した医療提供体制の確立

項目6 給与構造改革の取り組み

○ 基本方向	地方公営企業法の給与の決定原則を踏まえ、地方公営企業として適正な給与制度を構築する。
○ 取組内容	1 職務の性格や内容を踏まえつつ、国、地方公共団体の同種の職員、民間の同種の職種に従事する者との均衡に留意するとともに、病院事業の経営状況等を勘案し、県全体の動向を踏まえた給与の見直し検討をする。 2 職員給与の透明性を高め、県民等の一層の理解と納得が得られるよう、職種ごとに給与等の状況を明らかにするとともに、他団体との比較や全国的な指標を示すなど、県民等が理解しやすい工夫を講じていく。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）										
<p>〔目標〕</p> <p>地方公営企業として適正な給与制度を維持する。</p>	<p>行財政構造改革の趣旨等を踏まえ、平成20年度より減額措置を継続していたが、平成30年度で減額措置を終了した。</p>	○												
<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 給与の見直し</p> <p>(1) 国、地方公共団体の同種の職員、民間の同種の職種に従事する者との均衡に留意するとともに、病院事業の経営状況等を勘案し、県全体の動向を踏まえ、職員団体との交渉を経て給与の見直しを行う。</p> <p>(2) 行革による給与抑制措置の緩和 第3次行革プランにおける給与抑制措置の段階的縮小方針に基づき、給与の抑制率を縮小</p> <p>2 県公報及びホームページにより、給与情報の公表 〔主な公表内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員給与費の決算額及び給与の抑制措置の状況 職員別平均年齢、基本給及び平均月収額 期末手当、勤勉手当等の各種手当の状況 特殊勤務手当の名称、支給対象職員、対象業務及び支給単価 	<p>〔共通取組項目〕</p> <p>1 給与の見直し</p> <p>(1) 人事院勧告・報告関係及び県（知事部局）の動向を踏まえ見直しを実施</p> <table border="1" data-bbox="728 582 1384 730"> <tr> <th colspan="2">〔平成30年度分の主な改定内容〕</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>改定内容</th> </tr> <tr> <td>給料表</td> <td>公民格差の解消のため、平均0.2%引上げ</td> </tr> <tr> <td>期末・勤勉手当</td> <td>年間支給額を0.05月引上げ〔4.40月→4.45月〕</td> </tr> <tr> <td>医師・歯科医師職の初任給調整手当</td> <td>限度額について、約0.1%引上げ</td> </tr> </table> <p>(2) 行革による給与抑制措置の緩和</p> <p>〔給料〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役職に応じて0.8%～1.4%カット ※一般職員は減額措置終了 <p>〔期末・勤勉手当〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役職加算 部長・局長級は2.0%カット ・管理職加算 役職に応じて1.0%～3.5%カット <p>2 県公報及びホームページにより、給与情報の公表 〔主な公表内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員給与費の決算額及び給与の抑制措置の状況 ・職員別平均年齢、基本給及び平均月収額 ・期末手当、勤勉手当等の各種手当の状況 ・特殊勤務手当の名称、支給対象職員、対象業務及び支給単価 	〔平成30年度分の主な改定内容〕		区分	改定内容	給料表	公民格差の解消のため、平均0.2%引上げ	期末・勤勉手当	年間支給額を0.05月引上げ〔4.40月→4.45月〕	医師・歯科医師職の初任給調整手当	限度額について、約0.1%引上げ	○		(2) 給与抑制措置を解消
〔平成30年度分の主な改定内容〕														
区分	改定内容													
給料表	公民格差の解消のため、平均0.2%引上げ													
期末・勤勉手当	年間支給額を0.05月引上げ〔4.40月→4.45月〕													
医師・歯科医師職の初任給調整手当	限度額について、約0.1%引上げ													

IV 安定した医療提供体制の確立

項目7 組織活性化策の推進 (1) 優秀な人材の確保・育成

○ 基本方向	県立病院組織の活力を更に向上するため、若手職員の抜擢や女性職員の管理監督職への積極的な登用、有能かつ意欲のある外部人材の登用を行うとともに、多種多様な研修機会の提供や研修内容の充実等を通じ、服務規律を確保し、職員の資質・能力を高めるための取り組みを積極的に進める。
○ 取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 優秀な人材については、年功や性別にとらわれず、病院局組織の上位職へ積極的に登用する。 2 高度の専門性を要する職については、有能かつ意欲のある外部人材も登用する。 3 職種・職務毎に研修の体系や内容を点検し、更なる充実を図る。 4 患者に接する機会の多い職員を対象とする接遇研修を更に充実する。 5 職場会議等を通じて執務姿勢の確立通知の内容の周知徹底を行うなど、服務規律向上に向けた取り組みを進める。 6 病院運営に顕著な功績のあった職員等を対象に、管理者表彰及び院長表彰を積極的に実施する。 7 査定昇給制度の適切な運用や勤勉手当への勤務成績の反映により、職員の士気高揚を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）
<p>【目標】</p> <p>経営感覚に優れた人材の育成や、優秀な人材の確保・養成を図るための取り組みを実施する。</p>	<p>経営感覚に優れた人材の育成や、優秀な人材の確保・養成を図るための取り組みを実施した。</p>	○		
<p>【共通取組項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 職員の外部からの登用や勤務延長の活用により、それぞれの専門分野に精通した人材を登用 2 職員の資質向上のため職種別研修や階級別研修を効率的に実施 3 接遇研修の実施【再掲 P39】 4 綱紀粛正について通知し、職場会議等を通じて職員へ周知 5 管理者表彰や院長表彰の積極的な実施 6 職員の士気高揚を図るため、勤務成績を反映した査定昇給や勤勉手当への反映を実施 	<p>【共通取組項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 副院長に看護職を積極的に登用（H30.4：3名） 勤務延長の活用（H30.4：5名） 医療情報職職員を初採用（H30.4：1名） 2 看護師等の職種別研修や副院長研修、新任職員研修等の階層別研修を実施（H30：27研修） 3 接遇研修の実施（H30.9.11）【再掲 P39】 4 県民の信頼確保と厳正な規律の保持について通知（H30.4.23）し、職場会議等を通じて職員へ周知 5 病院運営に顕著な功績のあった職員等を対象に管理者表彰（H30.10.5、H31.2.1の2回実施）及び院長表彰（適宜実施）を積極的に実施 6 査定昇給（年1回）の適切な運用や勤勉手当への勤務成績の反映（年2回）により、職員の士気高揚を推進 	○ ○ ○ ○ ○ ○		<ol style="list-style-type: none"> 1 専門分野に精通した人材の登用 <ul style="list-style-type: none"> ・副院長に看護職を積極的に登用（H31.4:3名） ・勤務延長の活用（H31.4:3名） ・新たな専門職の創設：医療情報職（H31.4:2名） 2 職員の人材育成を積極的に推進するため、看護師等の職種別研修や副院長研修、新任職員研修等の階層別研修を実施（R1:28研修実施予定） 3 接遇リーダー養成研修の実施【再掲 P39】（R1.9 予定） 4 県民の信頼確保と厳正な規律の保持について通知（H31.4.22）し、職場会議等を通じて職員へ周知 5 病院運営に顕著な功績のあった職員等を対象に管理者表彰（年2回実施）及び院長表彰（適宜実施）を積極的に実施

IV 安定した医療提供体制の確立

項目7 組織活性化策の推進 (2) 働きやすい職場づくり

- 基本方向
 職員の健康管理に資するため、超過勤務の縮減に取り組むとともに、職員が心身ともにリフレッシュできる機会を積極的に提供し、また、職務能率の維持・向上を図るため、計画的な休暇の取得を促進する。
 さらに、職員の疾病予防と早期の健康回復を図るため、職員が自らの心身の健康に関し気軽に相談できる環境を整備するとともに、ハラスメント等を職場全体の課題として認識し、特に管理監督職員は働きがいのある風通しの良い職場環境づくりに取り組む。
- 取組内容
 1 衛生委員会、安全衛生協議会を活用し、職員の健康障害の防止、職員の健康の保持増進の観点から、労使により必要な対策について調査審議を行う。
 2 ICT化の促進など、業務執行方法の合理化、効率化に向けた取り組みを進める。
 3 各所属で職員ごとの年次休暇や特別休暇の取得計画表を作成するなど、計画的な休暇の取得を促進するための取り組みを進める。
 4 職場研修や定期健康診断等の機会を通じ、職員相談事業の内容を周知するとともに、職員自身の健康管理意識の高揚を図る。
 5 管理監督職員が職員との積極的な意思疎通を通じて所属職員の健康状態を把握し、職員相談事業の活用など適切な助言を行うことにより、疾病予防と早期の健康回復を図る。
 6 仕事と育児を両立することができる育児短時間勤務制度や部分休業制度の利用促進、院内保育所の充実等を図ることにより、職員が働きやすい環境整備をより一層推進する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明	参考：現況（令和元年7月の状況等）				
<p>〔目標〕 働きやすい職場づくりに向けて、超過勤務の縮減や職員自身の健康管理意識の高揚を図るため、継続して以下の取組を実施する。</p> <p>〔共通取組項目〕 1 衛生委員会、安全衛生協議会の実施 (1) 衛生委員会の実施（各病院） (2) 安全衛生協議会の実施（病院局）</p> <p>2 年休の計画的な取得や定時退庁の促進</p> <p>3 定期健診の受診徹底、全庁的な職員相談事業（職員相談室、健康なやみ相談室等）の実施</p> <p>4 ハラスメントの防止に向けた取組を実施 (1) ハラスメント防止に向けた対策・啓発を実施 (2) ハラスメント防止等に関するハラスメント防止委員会を各病院に設置 (3) ハラスメント防止委員会で対応出来ない案件等を審議するハラスメント委員会を病院局に設置</p> <p>5 育児短時間勤務制度や非常勤嘱託など、多様な勤務形態を提供</p>	<p>超過勤務の削減や計画的な年休の取得を推進するほか、職員自ら健康に関し気軽に相談できる環境や働きがいのある風通しの良い職場づくりを実施</p> <p>〔共通取組項目〕 1 各所属において労使による衛生委員会、安全衛生協議会を随時実施 (1) 衛生委員会(各病院)の主な議題 ・健康診断の受診状況 ・公務災害の状況 ・超過勤務の状況 ・病休・休職の状況 (2) 安全衛生協議会(病院局、H30.8.1)の主な議題 ・職員の健康対策について ・長時間労働の状況について ・公務災害の状況について</p> <p>2 年休の計画的な取得や定時退庁の促進</p> <p>3 定期健診の受診徹底、全庁的な職員相談事業（職員相談室、健康なやみ相談室等）の実施</p> <p>4 ハラスメントの防止に向けた取組を実施 ・綱紀粛正通知の発出（H30.4） ・各病院及び病院局にハラスメント防止に係る委員会を設置</p> <p>5 育児短時間勤務制度や非常勤嘱託など、多様な勤務形態を提供</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>取組実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>育児支援制度の利用促進</td> <td>・「子育て支援休暇」の対象となる子を満15歳までに拡大（H30） ・在宅勤務制度の試行導入（H30）</td> </tr> </tbody> </table>	項目	取組実績	育児支援制度の利用促進	・「子育て支援休暇」の対象となる子を満15歳までに拡大（H30） ・在宅勤務制度の試行導入（H30）	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・看護師相談員の設置（尼崎、淡路）</p> <p>・病院局にハラスメント委員会を、各病院にハラスメント防止委員会を設置</p>	
項目	取組実績							
育児支援制度の利用促進	・「子育て支援休暇」の対象となる子を満15歳までに拡大（H30） ・在宅勤務制度の試行導入（H30）							

V 各県立病院における経営改善の取組方策

(1) 尼崎総合医療センター

項目	主な数値目標				取組内容	備考	
1 収益増加・確保対策							
患者の受入れ促進	・ 1日当たり入院患者 (単位:人/日)				(1) 診療科責任者と事務職ペアによる地域クリニック・診療所の定期的訪問活動の強化 (2) 救急患者の積極的な受入(救急応需率の向上) (3) 「市民すこやかセミナー」の開催、社会福祉協議会との「コラボレーション健康セミナー」、ホームページによる医療情報・臨床指標の提供		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院患者数	694	689	699			99.3%
	・ 1日当たり外来患者 (単位:人/日)						
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
外来患者数	1,835	1,889	1,839	102.9%			
診療機能に見合う収入の確保	・ 入院単価 (単位:円)				(1) 医療資源投入量の最適化・医療プロセスの標準化 DPCベンチマーク分析、クリニカルパスの適用拡大等 (2) 在院日数の適正化 PFM-AGMCの推進、「AGMC連携協力会議」による転帰先医療機関との連携強化等 (3) 集中系治療室・手術室の稼働率向上 患者状態に応じた最適な院内ベッドコントロール、手術室ベンチマーク分析等 (4) 減点・返戻対策、請求漏れ防止対策の強化 査定傾向の例月分析、査定機関との対話実行等		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院単価	86,336	87,713	85,020			101.6%
	・ 外来単価 (単位:人/日)						
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
外来単価	16,917	18,112	17,080	107.1%			
2 費用削減・抑制対策							
材料費比率の改善	・ 材料費比率の改善 (単位:%)				(1) 薬品費の抑制 ① 後発医薬品の使用拡大 ② 県立3病院(尼崎、西宮、柏原)医薬品卸1者購入による価格交渉の強化 ③ 院内在庫の適正化 (2) 診療材料費の抑制 ① ベンチマーク分析による価格交渉の強化 ② 手術材料管理システムによる在庫の適正化や請求漏れの防止 ③ ディスポーザブル品目を中心とした低価格品への切替え促進		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	材料費比率	32.0	34.3	33.3			107.1%
経費比率の改善	・ 経費比率の改善 (単位:%)				(1) 臨床工学技士の医療機器整備による修繕費の削減 (2) 空調機器の効率的な運転等省エネルギー対策の推進による光熱水費の削減 (3) 施設・設備等保守・管理委託の集約化による委託料の削減 (4) 委託契約や賃貸借契約の更新時における仕様見直しによる委託料・賃借料の削減 (5) 職員のコスト意識向上を図り、光熱水費や消耗品費を縮減		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	経費比率	14.8	14.4	14.6			97.3%

3 経営指標に係る数値目標

区分		30年度 計画①	30年度 実績②	29年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	730	730	730	100.0%		
	病床利用率 (%)	95.0	94.4	95.7	99.4%		
	1日当たり入院患者数 (人)	694	689	699	99.3%		
	1日当たり外来患者数 (人)	1,835	1,889	1,839	102.9%		
財務	経常収支比率 (%)	100.9	100.9	100.7	100.0%		
	医業収支比率 (%)	89.3	89.4	89	100.1%		
	入院単価 (円)	86,336	87,713	85,020	102.4%		
	外来単価 (円)	16,917	18,112	17,080	107.5%		
	給与費比率 (%)	56.3	54.6	55.6	97.0%		
	材料費比率 (%)	32.0	34.3	33.3	107.2%		
	経費比率 (%)	14.8	14.4	14.6	97.3%		
医療機能	平均在院日数	9.5	9.6	9.9	101.1%		○
	救急患者数	23,349	24,265	24,337	103.9%		○
	(うち救急車搬送件数)	11,276	11,789	11,203	104.5%		○
	糖尿病新規入院患者数	370	275	349	74.3%		△
	手術件数	22,850	23,634	22,806	103.4%		○
	(うち高額手術件数)	2,700	3,359	2,790	124.4%		◎
	(うちがん手術件数)	1,302	1,437	1,289	110.4%		○
	(うち冠動脈形成術件数)	615	599	607	97.4%		○
	(うち開心術件数)	220	169	189	76.8%		△
	頭頸部血管内治療件数	35	42	59	120.0%		◎
	TAVI実施件数	40	51	32	127.5%		◎
	外来化学療法件数	7,000	9,316	6,839	133.1%		◎
	分娩件数	1,045	1,108	1,020	106.0%		○
	さい帯血採取数	0	0	-	-		-
	ハイリスク妊娠数 (人)	142	170	143	119.7%		○
	母体搬送受入数 (人)	120	106	129	88.3%		○
	2500g未満新生児実入院患者数 (人)	257	240	179	93.4%		○
	新生児搬送受入総数 (人)	70	70	74	100.0%		○
	ドクターカー出動回数	404	376	469	93.1%		○
	物忘れ外来患者数	80	109	87	136.3%	◎	
	薬剤管理指導件数	32,705	32,833	32,103	100.4%	○	
	リハビリ件数	125,642	125,721	123,383	100.1%	○	
	(うちOTリハビリ件数)	21,523	15,086	24,525	70.1%	△	
	(うちPTリハビリ件数)	81,148	89,261	77,839	110.0%	○	
	(うちSTリハビリ件数)	22,971	21,374	21,019	93.0%	○	

区分		30年度 計画①	30年度 実績②	29年度 実績	②/①	評価
医療機能	クリニカルバス件数	315	343	306	108.9%	○
	紹介率 (%)	73.1	73.2	73.0	100.1%	○
	逆紹介率 (%)	75.9	84.5	79.1	111.3%	○
	在宅復帰率 (%)	97.0	90.3	92.5	93.1%	○
	臨床研修医の受入件数	49	54	43	110.2%	○
その他	医師派遣等件数	270	307	275	113.7%	○
	医療相談件数	8,500	6,945	6,033	81.7%	○
	セカンド・オピニオン実施件数	32	17	23	53.1%	▲
	TVカンファレンス実施回数	12	12	12	100.0%	○

4 収支計画

(単位：百万円)

区分		H30 計画	H30 実績	H29 実績
収益	入院収益	21,860	22,069	21,689
	外来収益	7,574	8,347	7,666
	その他医業収益	628	706	656
	医業収益計	30,063	31,122	30,012
	その他の収益	1,417	1,594	1,464
	収益合計	31,480	32,716	31,475
費用	給与費	16,919	17,004	16,681
	(うち退職給与金)	422	450	457
	材料費	9,627	10,687	9,999
	経費	4,457	4,472	4,391
	その他の医業費用	2,671	2,650	2,667
	医業費用計	33,674	34,813	33,738
	その他の費用	601	770	383
	費用合計	34,275	35,583	34,122
差引損益		△ 2,795	△ 2,867	△ 2,647
一般会計繰入金		2,822	2,892	2,848
当期純損益		27	25	201
経常損益		309	306	234

V 各県立病院における経営改善の取組方策

(2) 西宮病院

項目	主な数値目標				取組内容	備考	
1 収益増加・確保対策							
患者の受入れ促進	・ 1日当たり入院患者 (単位:人/日)				(1) 地域医療連携の推進 ① 地域の医療機関との連携強化 ② 地域医療連携クリニカルパスの活用 (2) 救命救急センターの受入強化、総合診療科の新設 (3) 術前センターの機能充実と休日入院の拡充		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院患者数	349	344	346			98.6%
	・ 1日当たり外来患者 (単位:人/日)						
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
外来患者数	665	670	659	100.8%			
診療機能に見合う収入の確保	・ 入院単価 (単位:円)				(1) 診療報酬への取組み ① DPC分析ソフトの活用によるクリニカルパスの見直し ② 効率的な手術室の活用による高額手術件数の増加 ③ 各種加算等の取得 (2) 高額医療機器の有効活用 (3) 減点・返戻対策、請求もれ防止対策の強化		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院単価	62,186	61,850	61,101			99.5%
	・ 外来単価 (単位:人/日)						
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
外来単価	17,760	17,076	17,434	96.1%			
2 費用削減・抑制対策							
材料費比率の改善	・ 材料費比率の改善 (単位:%)				(1) 薬品費の抑制 ① 後発医薬品の使用拡大 ② 県立病院間の連携強化による価格交渉の強化 ③ 阪神・柏原3病院医薬品卸1者購入による価格交渉の強化 (2) 診療材料費の抑制 ① 低価格品への切替及びスケールメリットを活かした価格交渉の強化		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	材料費比率	26.6	27.0	27.0			101.5%
経費比率の改善	・ 経費比率の改善 (単位:%)				(1) 経費の抑制 ① 臨床工学技士の医療機器整備による修繕費の削減 ② 空調機器の効率的な運転等省エネルギー対策の推進による光熱水費の削減		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	経費比率	13.9	14.2	14.3			102.2%

3 経営指標に係る数値目標

区分		30年度 計画①	30年度 実績②	29年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	400	400	400	100.0%	/	
	病床利用率(%)	87.3	86.1	86.5	98.6%		
	1日当たり入院患者数(人)	349	344.4	346	98.7%		
	1日当たり外来患者数(人)	665	669.6	659	100.7%		
財務	経常収支比率(%)	102.8	101.8	102.7	99.0%		
	医業収支比率(%)	91.0	89.0	90.1	97.8%		
	入院単価(円)	62,186	61,850	61,101	99.5%		
	外来単価(円)	17,760	17,076	17,434	96.1%		
	給与費比率(%)	62.8	64.4	62.9	102.5%		
	材料費比率(%)	26.6	27.0	27.0	101.5%		
経費比率(%)	13.9	14.2	14.3	102.2%			
医療機能	手術件数(件)	4,980	5,195	5,127	104.3%		○
	がん手術総件数	1,080	956	1,148	88.5%		○
	術前センター入院・検査説明件数	2,150	2,397	2,268	111.5%		○
	クリニカルパス件数	225	208	225	92.4%		○
	化学療法件数	6,500	6,843	6,013	105.3%		○
	うち外来化学療法件数	4,000	3,513	3,656	87.8%		○
	救急患者数(人)	6,730	6,780	6,428	100.7%		○
	救急車搬送件数	4,000	4,324	4,047	108.1%		○
	小児救急車搬送件数	480	437	437	91.0%		○
	ドクターカー出動実績	600	805	588	134.2%		◎
	分娩件数	650	602	611	92.6%		○
	ハイリスク妊娠数	190	161	205	84.7%		○
	母体搬送受入数	135	114	124	84.4%		○
	2500g未満新生児実入院患者数	120	119	128	99.2%		○
	新生児搬送受入総数	60	65	47	108.3%		○
	さい帯血採取数	120	96	129	80.0%		○
	糖尿病新規入院患者数	240	238	221	99.2%		○
	腎移植実施数	22	12	23	54.5%	▲	
	透析件数	4,300	4,333	4,176	100.8%	○	
	リハビリ件数	36,400	40,700	38,080	111.8%	○	
	紹介率(%)	80.0	79.7	78.4	99.6%	○	
	逆紹介率(%)	78.0	134.1	86.5	171.9%	◎	
	臨床研修医の受入件数	20	20	20	100.0%	○	

4 収支計画

(単位:百万円)

区分		H30 計画	H30 実績	H29 実績
収益	入院収益	7,922	7,776	7,720
	外来収益	2,884	2,790	2,801
	その他医業収益	292	279	287
	医業収益計	11,098	10,845	10,808
	その他の収益	421	475	451
	収益合計	11,518	11,321	11,259
費用	給与費	6,966	6,981	6,803
	(うち退職給与金)	223	263	185
	材料費	2,956	2,929	2,916
	経費	1,542	1,539	1,544
	その他の医業費用	727	742	733
	医業費用計	12,191	12,191	11,996
	その他の費用	150	158	204
	費用合計	12,341	12,348	12,200
差引損益		△ 823	△ 1,027	△ 941
一般会計繰入金		1,156	1,242	1,227
当期純損益		333	215	286
経常損益		340	224	325

V 各県立病院における経営改善の取組方策

(3) 加古川医療センター

項目	主な数値目標				取組内容	備考	
1 収益増加・確保対策							
患者の受入れ促進	・ 1日当たり入院患者 (単位:人/日)				(1) 地域医療連携の推進 地域の医療機関の訪問、意見交換会などの取り組みを強化し、紹介患者の確保・拡大を図る。 (2) 救急患者の受入 3次救急医療の展開とともに、2次救急患者のより積極的な受入れに向け、体系的な取組みを進める。 (3) 甲南加古川病院から移転した診療機能(リウマチ・透析)の本格的展開 甲南加古川病院から引き継いだ診療機能を着実に実施するとともに、新規患者の確保・拡大を図る。		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院患者数	295	275	288			93.2%
	・ 1日当たり外来患者 (単位:人/日)						
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
外来患者数	802	748	784	93.3%			
診療機能に見合う収入の確保	・ 入院単価 (単位:円)				(1) リウマチ科、腎臓内科開設による外来・入院単価の増 (2) 7対1入院基本料の維持(重症度、医療・看護必要度の維持) (3) 客観的データ等に基づく在院日数の適正化 (4) MRI増設による検査収益・画像診断料の増収 (5) 施設基準・加算の着実な取得 (6) 減点・返戻対策、請求漏れ防止対策の強化		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院単価	64,978	66,448	65,605			102.3%
	・ 外来単価 (単位:人/日)						
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
外来単価	18,276	18,479	18,643	101.1%			
2 費用削減・抑制対策							
材料費比率の改善	・ 材料費比率の改善 (単位:%)				(1) 薬品費の抑制 ①同効安価品への切り替えの推進 ②薬品調達額の徹底した圧縮、全部署において使用量の見直し・削減、不使用の検討 (2) 診療材料費の抑制 ①全部署あげての診療材料、消耗品等の削減運動の展開 ②SPD事業者の協力を得て、診療材料等の調達額の削減に向けた取組の推進。		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	材料費比率	29.8	30.8	31.0			103.4%
経費比率の改善	・ 経費比率の改善 (単位:%)				(1) 経費の抑制 ① 空調機器の効率的な運転や適切な設定 ② 全職員の参画により、省エネルギー、節電・節水運動の展開 ③ 主要委託業務を中心に現行業務内容等の精査・確認、必要に応じた契約の見直し		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	経費比率	15.6	17.3	16.1			110.9%

3 経営指標に係る数値目標

区 分		30年度 計画①	30年度 実績②	29年度 実績	②/①	評価	
業 務 量	病床数 (床)	353	353	353	100.0%		
	病床利用率 (%)	83.6	77.8	81.7	93.1%		
	1日当たり入院患者数 (人)	295	274.7	288	93.1%		
	1日当たり外来患者数 (人)	802	748.0	784	93.3%		
財 務	経常収支比率 (%)	101.8	99.0	101.2	97.2%		
	医業収支比率 (%)	86.6	82.5	86.0	95.3%		
	入院単価 (円)	64,978	66,448	65,605	102.3%		
	外来単価 (円)	18,276	18,479	18,643	101.1%		
	給与費比率 (%)	60.4	62.5	60.3	103.5%		
	材料費比率 (%)	29.8	30.8	31.0	103.4%		
	経費比率 (%)	15.6	17.3	16.1	110.9%		
医 療 機 能	ドクターヘリ搬送件数	526	538	666	102.3%		○
	救急患者数 (人)	6,622	6,899	6,738	104.2%		○
	手術件数 (件)	4,092	4,535	4,346	110.8%	○	
	化学療法件数	3,328	3,122	4,188	93.8%	○	
	[うち外来化学療法件数]	[2,844]	[2,667]	[3,631]	[93.8%]	○	
	緩和ケア病床入院患者数 (人)	3,431	5,041	5,289	146.9%	◎	
	糖尿病教育入院患者数 (人)	120	117	108	97.5%	○	
	リハビリ件数 (人)	30,000	29,947	30,104	99.8%	○	
	紹介率 (%)	97.0	92.1	97.4	94.9%	○	
	逆紹介率 (%)	111.2	109.7	126.8	98.7%	○	

4 収支計画

(単位：百万円)

区分		H30 計画	H30 実績	H29 実績
収 益	入院収益	7,003	6,663	6,903
	外来収益	3,576	3,373	3,565
	その他医業収益	324	312	314
	医業収益計	10,903	10,348	10,782
	その他の収益	933	1,029	945
	収益合計	11,836	11,377	11,728
費 用	給与費	6,582	6,472	6,506
	(うち退職給与金)	158	239	210
	材料費	3,248	3,188	3,346
	経費	1,698	1,786	1,735
	その他の医業費用	1,064	1,103	955
	医業費用計	12,592	12,548	12,542
	その他の費用	360	389	373
	費用合計	12,952	12,937	12,915
差引損益		△ 1,116	△1,560	△1,187
一般会計繰入金		1,334	1,386	1,348
当期純損益		218	△174	161
経常損益		230	△132	156

V 各県立病院における経営改善の取組方策

(4) 淡路医療センター

項目	主な数値目標				取組内容	備考	
1 収益増加・確保対策							
患者の受入れ促進	・ 1日当たり入院患者 (単位:人/日)				(1) 地域医療連携の推進 ① 地域の医療機関との連携強化 ② あわじネットの拡充による患者確保 (2) 救急患者の積極的な受入れ (3) 診療機能充実による患者確保 ① 手術枠の拡大、HCU病床の増床 ② 病理診断システムの機能向上による病理診断体制の充実		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院患者数	387	371	376			95.9%
	・ 1日当たり外来患者 (単位:人/日)						
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
外来患者数	846	827	857	97.8%			
診療機能に見合う収入の確保	・ 入院単価 (単位:円)				(1) 診療報酬への取り組み ① DPCデータ分析による収益の改善 ② 減点・返戻対策、請求もれ防止対策の強化 ③ 診療科別診療報酬勉強会の開催 (2) 手術室、高額医療機器等の有効活用 ① 手術枠の拡大による手術件数の増加 ② HCU病床の増床による高度急性期医療の充実 ③ 病理診断システムの機能向上による病理診断体制の充実 (3) 診療機能に相応した各種加算の取得		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院単価	59,090	62,414	60,488			105.6%
	・ 外来単価 (単位:人/日)						
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
外来単価	12,786	13,078	12,739	102.3%			
2 費用削減・抑制対策							
材料費比率の改善	・ 材料費比率の改善 (単位:%)				(1) 薬品費の抑制 ① 後発医薬品の採用拡大 (2) 診療材料費の抑制 ① 県立病院間の共同購入品への切替え促進(虚血分野への参画等) ② 診療材料委員会を通じた低価格品への切替え促進及び高額手術材料等についてスケールメリットを活かした価格交渉の強化 (3) 手術室運用分析による材料調達合理化(キット材料導入等)		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	材料費比率	27.9	29.2	28.0			104.7%
経費比率の改善	・ 経費比率の改善 (単位:%)				(1) 経費の抑制 ① エネルギー使用の合理化を目指した設備運転、職員一体となった省エネ推進による光熱水費等の削減 ② 臨床工学技士による医療機器の管理・点検・修繕による修繕費の抑制		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	経費比率	16.3	16.1	16.1			98.8%

3 経営指標に係る数値目標

区 分		30年度 計画①	30年度 実績②	29年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	441	441	441	100.0%		
	病床利用率 (%)	87.8	84.1	85.4	95.8%		
	1日当たり入院患者数 (人)	387	371	376	95.9%		
	1日当たり外来患者数 (人)	846	827	857	97.8%		
財務	経常収支比率 (%)	100.7	100.5	100.3	99.8%		
	医業収支比率 (%)	84.8	84.1	84.7	99.2%		
	入院単価 (円)	59,090	62,414	60,488	105.6%		
	外来単価 (円)	12,786	13,078	12,739	102.3%		
	給与費比率 (%)	63.3	63.0	63.7	99.5%		
	材料費比率 (%)	27.9	29.2	28.0	104.7%		
医療機能	経費比率 (%)	16.3	16.1	16.1	98.8%		
	救急患者数 (人)	9,200	9,271	9,866	100.8%		○
	手術件数 (件)	3,600	3,520	3,547	97.8%		○
	地域医療支援病院紹介率 (%)	74.9	82.4	75.6	110.0%		○
	地域医療支援病院逆紹介率 (%)	62.0	82.4	72.6	132.9%	◎	
	リハビリ延単位数 (単位)	58,833	58,506	58,497	99.4%	○	
認知症鑑別診断件数 (人)	300	300	294	100.0%	○		

4 収支計画

(単位：百万円)

区分		H30 計画	H30 実績	H29 実績
収益	入院収益	8,347	8,448	8,311
	外来収益	2,639	2,638	2,662
	その他医業収益	212	200	200
	医業収益計	11,199	11,286	11,172
	その他の収益	874	870	844
	収益合計	12,073	12,157	12,017
費用	給与費	7,093	7,115	7,113
	(うち退職給与金)	169	200	240
	材料費	3,129	3,290	3,132
	経費	1,822	1,820	1,801
	その他の医業費用	1,158	1,189	1,138
	医業費用計	13,203	13,414	13,184
	その他の費用	290	292	362
	費用合計	13,493	13,706	13,546
差引損益		△ 1,420	△1,549	△1,529
一般会計繰入金		1,525	1,612	1,553
当期純損益		105	63	24
経常損益		88	63	41

V 各県立病院における経営改善の取組方策

(5) 柏原病院

項目	主な数値目標				取組内容	備考	
1 収益増加・確保対策							
患者の受入れ促進	・ 1日当たり入院患者 (単位:人/日)				(1) 地域医療連携の推進 (2) 救急患者の積極的な受け入れ		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院患者数	164	160	159			97.6%
	・ 1日当たり外来患者 (単位:人/日)						
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①			
外来患者数	351	373	359	106.3%			
2 費用削減・抑制対策							
診療機能に見合う収入の確保	・ 入院単価 (単位:円)				(1) DPC分析ソフトを活用した適切なDPC請求の実施 (2) 手術室、高額医療機器の有効活用 (3) 減点・返戻対策、請求漏れ防止対策の強化 (4) クリニカルパスの見直しと積極的な活用 (5) 新たな診療報酬施設基準の取得促進		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院単価	49,526	52,881	49,864			106.8%
	・ 外来単価 (単位:人/日)						
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①			
外来単価	12,327	12,413	12,337	100.7%			
材料費比率の改善	・ 材料費比率の改善 (単位:%)				(1) 後発医薬品の積極採用に努めるとともに、診療材料の価格競争を一層強化して経費削減に努める。		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	材料費比率	20.1	20.3	20.9			101.0%
	・ 経費比率の改善 (単位:%)						
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①			
経費比率	25.7	26.2	22.8	101.9%			
経費比率の改善	・ 経費比率の改善 (単位:%)				(1) 空調機器の効率的な運転等省エネルギーの推進による光熱水費の削減 (2) 医療機器の計画的な更新による修繕費の抑制 (3) 統合移転を踏まえた既存建物修繕の抑制		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	経費比率	25.7	26.2	22.8			101.9%

3 経営指標に係る数値目標

区分		30年度 計画①	30年度 実績②	29年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	184	184	184	100.0%		
	病床利用率(%)	89.3	87.2	86.3	97.6%		
	1日当たり入院患者数(人)	164	160	159	97.6%		
	1日当たり外来患者数(人)	351	373	359	106.3%		
財務	経常収支比率(%)	91.1	96.3	93.6	105.7%		
	医業収支比率(%)	74.1	77.8	75.9	105.0%		
	入院単価(円)	49,526	52,881	49,864	106.8%		
	外来単価(円)	12,327	12,413	12,337	100.7%		
	給与費比率(%)	84.5	77.8	83.1	92.1%		
	材料費比率(%)	20.1	20.3	20.9	101.0%		
	経費比率(%)	25.7	26.2	22.8	101.9%		
医療機能	がんの手術件数(件)	230	219	230	95.2%		○
	緩和ケア病棟の入院患者数	7,000	6,310	6,881	90.1%		○
	冠動脈形成術の件数	100	91	101	91.0%	○	
	救急患者数	6,000	6,154	6,268	102.6%	○	
	救急車搬送件数	1,500	1,757	1,628	117.1%	○	
	分娩件数	200	233	198	116.5%	○	
	小児の救急車搬送件数	230	260	205	113.0%	○	
	リハビリ件数	15,500	17,016	14,499	109.8%	○	
	へき地診療所への派遣回数	45	98	46	217.8%	◎	
	紹介率(%)	55.0	65.0	65.2	118.2%	○	
	逆紹介率(%)	70.0	67.9	67.2	97.0%	○	
	研修医受入人数	40	50	31	125.0%	◎	
	その他	医療相談の件数	7,400	9,372	7,199	126.6%	◎
県養成医の受入れ人数		6	7	5	116.7%	○	
TVカンファレンスの実施		120	122	117	101.7%	○	

4 収支計画

(単位:百万円)

区分		H30 計画	H30 実績	H29 実績
収益	入院収益	2,971	3,095	2,891
	外来収益	1,055	1,129	1,079
	その他医業収益	118	114	120
	医業収益計	4,144	4,338	4,090
	その他の収益	208	244	201
	収益合計	4,353	4,582	4,291
費用	給与費	3,501	3,374	3,400
	(うち退職給与金)	146	145	122
	材料費	834	879	853
	経費	1,064	1,137	932
	その他の医業費用	193	188	207
	医業費用計	5,592	5,579	5,392
	その他の費用	220	250	122
	費用合計	5,812	5,829	5,515
差引損益		△ 1,459	△1,247	△1,224
一般会計繰入金		861	864	872
当期純損益		△598	△383	△352
経常損益		△510	△209	△351

V 各県立病院における経営改善の取組方策

(6) ひょうごこころの医療センター

項目	主な数値目標				取組内容	備考	
1 収益増加・確保対策							
患者の受入れ促進	・ 1日当たり入院患者 (単位:人/日)				(1) 地域医療連携の推進 ① 地域の医療機関や保健所等の行政機関や福祉関係機関等との連携促進 ② 地域患者自助グループ、家族会、作業所等の地域援助事業者やピアサポーターとの連携促進 (2) 特色ある専門医療の推進 ① 精神科救急医療センター ② 児童思春期センター ③ 認知症疾患医療センター (3) 県立病院間の連携の推進 ① 尼崎総合医療センター等との連携等による身体合併症患者対応の充実		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院患者数	223	207	218			92.8%
	・ 1日当たり外来患者 (単位:人/日)						
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①			
外来患者数	212	211	208	99.5%			
診療機能に見合う収入の確保	・ 入院単価 (単位:円)				(1) 診療報酬への取り組み ① 救急病棟及び児童思春期病棟の重点的、優先的な運用 ② 退院支援や地域生活支援等の地域移行の推進による在院日数の短縮及び再入院の抑制 ③ 精神療法、作業療法等の積極的な実施 (2) 高度先進医療機器の有効活用 ① C T、光トポグラフィー、MRI、SPECTの地域の医療機関からの検査依頼等への対応による共同利用等の活用促進 (3) 減点・返戻対策、請求漏れ防止対策の推進		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院単価	22,845	24,199	23,136			105.9%
	・ 外来単価 (単位:円)						
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①			
外来単価	7,000	6,933	6,990	99.4%			
2 費用削減・抑制対策							
材料費比率の改善	・ 材料費比率の改善 (単位:%)				(1) 後発医薬品の使用拡大 (2) 診療材料費の抑制 低価格品への切替等		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	材料費比率	8.8	8.1	7.5			92.0%
経費比率の改善	・ 経費比率の改善 (単位:%)				(1) 経費の抑制 ① 長期継続契約の拡大や庁舎管理部門の一括契約等による効率化 ② 空調機器の効率的な運転等、省エネルギー対策の推進による光熱水費の削減		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	経費比率	21.8	25.1	23.2			115.1%

3 経営指標に係る数値目標

区 分		30年度 計画①	30年度 実績②	29年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	286	286	286	100.0%	/	
	病床利用率 (%)	77.9	72.5	76.3	93.1%		
	1日当たり入院患者数 (人)	223	207.4	218	93.0%		
	1日当たり外来患者数 (人)	212	211.2	208	99.6%		
財務	経常収支比率 (%)	96.9	98.1	96.3	101.2%		
	医業収支比率 (%)	57.0	56.4	56.0	98.9%		
	入院単価 (円)	22,845	24,199	23,136	105.9%		
	外来単価 (円)	7,000	6,933	6,990	99.0%		
	給与費比率 (%)	131.1	130.3	134.0	99.4%		
	材料費比率 (%)	8.8	8.1	7.5	92.0%		
経費比率 (%)	21.8	25.1	23.2	115.1%			
医療機能	平均在院日数 (日)	73.7	74.4	75.2	100.9%		○
	紹介率 (%)	54.0	45.8	48.7	84.8%		○
	逆紹介率 (%)	40.8	52.1	43.7	127.7%		◎
	クリニカルパス数	8	7	6	87.5%		○
	救急患者数 (人)	550	504	481	91.6%		○
	訪問看護件数 (件)	3,582	3,180	3,509	88.8%	○	
	相談件数	33,000	42,308	34,813	128.2%	◎	

4 収支計画

(単位：百万円)

区分		H30 計画	H30 実績	H29 実績
収益	入院収益	1,859	1,831	1,842
	外来収益	362	357	355
	その他医業収益	14	16	14
	医業収益計	2,234	2,205	2,211
	その他の収益	214	223	222
	収益合計	2,449	2,429	2,433
費用	給与費	2,930	2,872	2,963
	(うち退職給与金)	141	104	161
	材料費	196	179	166
	経費	487	554	513
	その他の医業費用	309	304	309
	医業費用計	3,923	3,910	3,951
	その他の費用	155	133	139
	費用合計	4,078	4,042	4,091
	差引損益	△ 1,629	△1,613	△1,658
一般会計繰入金	1,483	1,527	1,505	
当期純損益	△146	△86	△153	
経常損益	△126	△81	△153	

V 各県立病院における経営改善の取組方策
(7) こども病院

項目	主な数値目標				取組内容	備考										
1 収益増加・確保対策																
患者の受入れ促進	<ul style="list-style-type: none"> 1日当たり入院患者 (単位:人/日) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>248</td> <td>218</td> <td>234</td> <td>87.9%</td> </tr> </tbody> </table>				区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	入院患者数	248	218	234	87.9%	<ul style="list-style-type: none"> (1) 地域連携の推進によるハイリスク妊婦及び胎児、新生児患者の受入拡大 <ul style="list-style-type: none"> 登録医療機関との連携強化による紹介患者の獲得 神戸中央市民病院との連携推進 「在宅療養移行支援病棟」の円滑な運営 等 (2) 救急医療機能の強化による小児救急患者の受入拡大 <ul style="list-style-type: none"> 断り案件の個別検討と改善 救急入院の促進 等 (3) 小児がん拠点病院として小児に重点を置いた陽子線治療をアピールすることにより、近隣府県の小児がん患者の確保 <ul style="list-style-type: none"> 患者確保に向けた医療機関等への働きかけ 等 (4) 診療応援等による先天性心疾患の新規患者の確保 <ul style="list-style-type: none"> 先天性心疾患に対する胎内診断、手術、移行期医療への取組みの推進 等 	
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①											
	入院患者数	248	218	234	87.9%											
	<ul style="list-style-type: none"> 1日当たり外来患者 (単位:人/日) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来患者数</td> <td>390</td> <td>408</td> <td>384</td> <td>104.6%</td> </tr> </tbody> </table>				区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	外来患者数	390	408	384	104.6%		
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①												
外来患者数	390	408	384	104.6%												
<ul style="list-style-type: none"> 入院単価 (単位:円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院単価</td> <td>93,268</td> <td>100,843</td> <td>94,215</td> <td>108.1%</td> </tr> </tbody> </table>				区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	入院単価	93,268	100,843	94,215	108.1%			
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①												
入院単価	93,268	100,843	94,215	108.1%												
<ul style="list-style-type: none"> 外来単価 (単位:人/日) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来単価</td> <td>17,464</td> <td>17,365</td> <td>17,722</td> <td>99.4%</td> </tr> </tbody> </table>				区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	外来単価	17,464	17,365	17,722	99.4%			
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①												
外来単価	17,464	17,365	17,722	99.4%												
診療機能に見合う収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> 入院単価 (単位:円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院単価</td> <td>93,268</td> <td>100,843</td> <td>94,215</td> <td>108.1%</td> </tr> </tbody> </table>				区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	入院単価	93,268	100,843	94,215	108.1%	<ul style="list-style-type: none"> (1) 診療報酬への取組み <ul style="list-style-type: none"> ① 特定入院料の算定率の向上 ・病棟に対する患者の入院可能日数等の情報提供を通じた的確な病床運営 等 ② 在院日数の適正化によるDPC算定の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・DPCⅡ期を基準とした在院日数適正化 ・クリニカルパスの拡大による適正化 ③ 新規施設基準取得の検討(診療報酬改定の対応) 等 (2) 手術室、高額医療機器の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・手術枠の随時見直しによる有効活用、高額手術件数の増 等 (3) 減点、返戻、請求漏れ防止対策の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・医療情報システムを活用した算定漏れ防止の取組み 等 	
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①												
入院単価	93,268	100,843	94,215	108.1%												
<ul style="list-style-type: none"> 外来単価 (単位:人/日) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来単価</td> <td>17,464</td> <td>17,365</td> <td>17,722</td> <td>99.4%</td> </tr> </tbody> </table>				区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	外来単価	17,464	17,365	17,722	99.4%			
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①												
外来単価	17,464	17,365	17,722	99.4%												
2 費用削減・抑制対策																
材料費比率の改善	<ul style="list-style-type: none"> 材料費比率の改善 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料費比率</td> <td>20.6</td> <td>21.4</td> <td>21.3</td> <td>103.9%</td> </tr> </tbody> </table>				区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	材料費比率	20.6	21.4	21.3	103.9%	<ul style="list-style-type: none"> (1) 薬品費の抑制 <ul style="list-style-type: none"> ① 後発医薬品の使用拡大 ② 県立病院間の連携強化による価格交渉の強化 (2) 診療材料費の抑制 <ul style="list-style-type: none"> ① SPDを活用した余剰在庫の圧縮および請求漏れ防止対策の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・部署別の配置定数の定期的な見直しによる余剰在庫の圧縮 ・低価格品への切替えの検討及びベンチマークを活用した価格交渉の強化 	
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①											
材料費比率	20.6	21.4	21.3	103.9%												
<ul style="list-style-type: none"> 経費比率の改善 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経費比率</td> <td>19.5</td> <td>20.9</td> <td>19.8</td> <td>108.9%</td> </tr> </tbody> </table>				区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	経費比率	19.5	20.9	19.8	108.9%			
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①												
経費比率	19.5	20.9	19.8	108.9%												
経費比率の改善	<ul style="list-style-type: none"> 経費比率の改善 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経費比率</td> <td>19.5</td> <td>20.9</td> <td>19.8</td> <td>108.9%</td> </tr> </tbody> </table>				区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	経費比率	19.5	20.9	19.8	108.9%	<ul style="list-style-type: none"> (1) 経費の抑制 <ul style="list-style-type: none"> ① 臨床工学技士の医療機器整備等による修繕費の削減 ② 空調機器の効率的な運転など、省エネルギー対策の推進による光熱水費の抑制 	
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①												
経費比率	19.5	20.9	19.8	108.9%												

3 経営指標に係る数値目標

区 分		30年度 計画①	30年度 実績②	29年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	275	275	269	100.0%	/	
	病床利用率(%)	90.2	79.1	86.9	87.7%		
	1日当たり入院患者数(人)	248	218	234	87.9%		
	1日当たり外来患者数(人)	390	408	384	104.6%		
財務	経常収支比率(%)	100.3	99.2	97.3	98.9%		
	医業収支比率(%)	77.7	75.0	74.7	96.5%		
	入院単価(円)	93,268	100,843	94,215	108.1%		
	外来単価(円)	17,464	17,365	17,722	99.4%		
	給与費比率(%)	75.3	77.4	78.7	102.8%		
	材料費比率(%)	20.6	21.4	21.7	103.9%		
経費比率(%)	19.5	20.9	19.8	107.2%			
医療機能	救急患者数(人)	7,000	11,722	8,551	167.5%		◎
	小児の救急車搬送患者数(人)	1,800	1,932	1,812	107.3%		○
	手術件数(件)	4,600	3,585	3,755	77.9%		△
	開心術(件)	200	168	175	84.0%		○
	ハイリスク妊娠数(人)	180	103	150	57.2%		▲
	母体搬送受入数(人)	120	40	109	33.3%	▲	
	2500g未満新生児実入院患者数(人)	230	188	200	81.7%	○	
	新生児搬送受入総数(人)	160	176	161	110.0%	○	
	造血管細胞移植	25	25	15	100.0%	○	
	リハビリテーション実施単位	17,900	17,905	16,812	100.0%	○	
	看護相談外来	2,500	1,948	1,627	77.9%	△	

4 収支計画

(単位:百万円)

区分		H30 計画	H30 実績	H29 実績
収益	入院収益	8,449	8,009	8,042
	外来収益	1,662	1,728	1,659
	その他医業収益	133	135	128
	医業収益計	10,244	9,872	9,828
	その他の収益	1,854	1,911	925
	収益合計	12,098	11,783	10,753
費用	給与費	7,717	7,637	7,734
	(うち退職給与金)	232	225	346
	材料費	2,112	2,110	2,091
	経費	1,994	2,060	1,944
	その他の医業費用	1,366	1,358	1,386
	医業費用計	13,190	13,165	13,155
	その他の費用	261	246	297
	費用合計	13,451	13,411	13,453
差引損益		△ 1,353	△1,628	△2,700
一般会計繰入金		2,319	2,455	2,322
当期純損益		966	827	△378
経常損益		39	△109	△368

V 各県立病院における経営改善の取組方策

(8) がんセンター

項目	主な数値目標				取組内容	備考	
1 収益増加・確保対策							
患者の受入れ促進	・ 1日当たり入院患者 (単位:人/日)				(1) 地域医療連携の推進強化等による患者確保 ① がんフォーラム等の出前開催 (従来:神戸市中央区・明石市+出前:垂水区+α) ② 情報誌の発行回数増・送付先増、診療トピックスの適宜配信 (HP+お手紙) ③ がん検診後の要精密検査患者の積極的受入 (精検受診率90%への対応) ④ 明石市在宅医療連携システム (子午線ネット) の活用 (2) 診療機能の高度化 (PR) による患者確保 ① ゲノム医療・臨床試験センターの設置 ・ 遺伝子パネル検査への取組 (ゲノム医療連携病院の指定) ・ 臨床試験等の実施促進 (I相・II相治験への取組、医師主導臨床試験への取組) ② 低侵襲手術等の促進 ・ ダヴィンチ支援下手術の取組強化 (前立腺・腎臓+胃がん・子宮体がん・子宮頸がん (先進)) ・ 甲状腺がん内視鏡手術の導入 ③ 高性能機器の稼働 ・ 超高精細CT (H29年度末稼働。従来機と比べて画素数8倍) ・ リニアック (H30年度内稼働。IMRT2機体制) ④ 安全・安心な検査体制 ・ 臨床検査室の国際標準ISO15189取得 (H29.2月認定、H30.3月認定更新) ・ 遺伝子変異検査の院内実施 (分子標的薬の迅速投与) ・ PD-L1免疫染色検査の院内実施 (免疫チェックポイント阻害薬の迅速投与) ・ 3Dマンモグラフィー (H30.4月稼働) による乳房精密検査の精度向上 (3) 療養環境の向上による患者確保 ① 個室の増 (+20室:4床室×10室→個室20室) (H29年度) ② 風呂の改修 (東病棟)、病室の結露防止対策 ③ 患者呼出システムの改修 (フルネーム呼出→番号呼出) ④ 相談支援センターでの就労支援を強化、アピアランス支援センターを併設		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院患者数	302	288	290			95.4%
	・ 1日当たり外来患者 (単位:人/日)						
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
外来患者数	620	650	624	104.8%			
診療機能に見合う収入の確保	・ 入院単価 (単位:円)				(1) 診療機能の高度化に応じた診療単価の向上 (2) 低侵襲手術等の促進による在院日数の縮減 (3) 診療報酬改定への適切な対応 (医療機能に応じた診療報酬の確保) (4) DPC算定・出来高算定の比較を踏まえた、効率的・効果的医療の実施 (5) 減点・返戻対策、請求漏れ防止対策の強化		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院単価	65,351	66,800	65,480			102.2%
	・ 外来単価 (単位:人/日)						
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
外来単価	47,258	48,789	48,110	103.2%			
2 費用削減・抑制対策							
材料費比率の改善	・ 材料費比率の改善 (単位:%)				(1) 薬品費の抑制 ・ 後発医薬品の使用拡大 (2) 診療材料費の抑制 ・ 低価格品への切替 ・ 同種同効品の集約化 ・ 診療材料総数の抑制 (新規1増・既存1減の原則化) ・ 汎用診療材料の共同購入 (NHA)		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	材料費比率	46.5	48.2	48.0			103.7%
経費比率の改善	・ 経費比率の改善 (単位:%)				(1) 臨床工学技士の医療機器整備による修繕費の削減 (2) 空調機器の効率的な運転等省エネルギー対策の推進による光熱水費の削減 (3) 事務用品の共同購入 (NHA)		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	経費比率	11.4	11.0	10.8			96.5%

3 経営指標に係る数値目標

区 分		30年度 計画①	30年度 実績②	29年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	377	377	377	100.0%	/	
	病床利用率 (%)	80.1	76.3	76.9	95.3%		
	1日当たり入院患者数 (人)	302	288	290	95.4%		
	1日当たり外来患者数 (人)	620	650	624	104.8%		
財務	経常収支比率 (%)	102.1	101.0	101.7	98.9%		
	医業収支比率 (%)	93.9	93.1	93.2	99.1%		
	入院単価 (円)	65,351	66,800	65,480	102.2%		
	外来単価 (円)	47,258	48,789	48,110	103.2%		
	給与費比率 (%)	43.6	43.3	43.4	99.3%		
	材料費比率 (%)	46.5	48.2	48.0	103.7%		
	経費比率 (%)	11.4	11.0	10.8	96.5%		
医療機能	紹介率 (%)	81.4	78	81.4	95.8%		○
	逆紹介率 (%)	60.4	54.5	57.7	90.2%		○
	リハビリ件数	18,500	21,356	17,146	115.4%		○
	クリニカルパス件数	250	249	247	99.6%		○
	手術件数	3,400	3,391	3,332	99.7%		○
	放射線治療件数	14,800	14,365	14,386	97.1%		○
	放射線診断件数	74,600	72,800	73,089	97.6%		○
	化学療法件数	20,400	21,109	19,234	103.5%		○
	[うち外来化学療法件数]	13,500	14,291	12,938	105.9%		○
	がん登録届出件数	4,000	3,651	3,808	91.3%	○	
	相談支援件数	2,700	2,556	3,029	94.7%	○	
	薬剤管理指導件数	13,500	14,069	13,571	104.2%	○	

4 収支計画

(単位：百万円)

区分		H30 計画	H30 実績	H29 実績
収益	入院収益	7,204	7,011	6,933
	外来収益	7,149	7,734	7,319
	その他医業収益	520	590	548
	医業収益計	14,873	15,335	14,801
	その他の収益	468	517	498
	収益合計	15,341	15,852	15,299
費用	給与費	6,485	6,647	6,422
	(うち退職給与金)	163	425	156
	材料費	6,912	7,389	7,101
	経費	1,703	1,688	1,593
	その他の医業費用	743	753	757
	医業費用計	15,842	16,477	15,874
	その他の費用	112	151	116
	費用合計	15,954	16,628	15,991
差引損益		△ 613	△776	△692
一般会計繰入金		942	929	967
当期純損益		329	153	275
経常損益		335	173	278

V 各県立病院における経営改善の取組方策

(9) 姫路循環器病センター

項目	主な数値目標				取組内容	備考	
1 収益増加・確保対策							
患者の受入れ促進	・ 1日当たり入院患者 (単位:人/日)				(1) 地域医療連携の推進 ① 地域医療機関への訪問活動等による連携強化 ② 地域医療連携クリニカルパスの活用 (2) 救急隊との連携強化による患者確保		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院患者数	253	231	233			91.3%
	・ 1日当たり外来患者 (単位:人/日)						
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	外来患者数	366	363	361			99.2%
2 費用削減・抑制対策							
診療機能に見合う収入の確保	・ 入院単価 (単位:円)				(1) 診療報酬増収への取り組み ① 各種加算等の取得 ② 地域医療支援病院の取り組み ③ クリニカルパスの活用等による平均在院日数の適正化 ④ DPC分析ソフトを活用したクリニカルパスの見直しと適切なDPC請求の実施 (2) 高額医療機器、手術室の有効活用 最新高額医療機器の整備と稼働率の増(連携病院との共同利用) (3) 減点・返戻対策、請求もれ防止対策の強化		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院単価	97,003	101,888	100,899			105.0%
	・ 外来単価 (単位:人/日)						
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	外来単価	27,893	27,765	28,061			99.5%
材料費比率の改善	・ 材料費比率の改善 (単位:%)				(1) 薬品費の抑制 後発医薬品の使用拡大 県立病院間の連携強化による価格交渉の強化 (2) 診療材料費の抑制 低価格品への切り替え、スケールメリットを活かした価格交渉の強化		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	材料費比率	44.6	46.1	46.5			103.4%
経費比率の改善	・ 経費比率の改善 (単位:%)				(1) 臨床工学技士の医療機器整備による修繕費の削減 (2) 空調機器の効率的な運転等省エネルギー対策の推進による光熱水費の削減		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	経費比率	10.9	13.8	11.8			126.6%

3 経営指標に係る数値目標

区分		30年度 計画①	30年度 実績②	29年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	330	330	330	100.0%		
	病床利用率(%)	76.8	70.1	70.5	91.3%		
	1日当たり入院患者数(人)	253	231	233	91.3%		
	1日当たり外来患者数(人)	366	363	361	99.2%		
財務	経常収支比率(%)	101.8	100.7	101.7	98.9%		
	医業収支比率(%)	90.6	91.95	90.3	101.5%		
	入院単価(円)	97,003	101,888	102,863	105.0%		
	外来単価(円)	27,893	27,765	28,150	99.5%		
	給与費比率(%)	49.5	47.4	49.2	95.8%		
材料費比率(%)	44.6	46.1	45.4	103.4%			
経費比率(%)	10.9	13.8	11.8	126.6%			
医療機能	救急患者数(人)	4,823	4,802	4,903	99.6%		○
	手術件数(件)	1,550	1,594	1,530	102.8%		○
	平均在院日数(日)	14.4	13.2	13.3	91.7%	○	
	紹介率(%)	73.5	71.1	75.6	96.7%	○	
	地域連携バス件数	206	242	243	117.5%	○	
	頭頸部血管内治療件数	86	106	81	123.3%	◎	
	TAVI実施件数	54	53	81	98.1%	○	
	リハビリ件数(件)	36,734	36,088	39,904	98.2%	○	
	糖尿病新規入院患者数	186	117	150	62.9%	△	
糖尿病新規外来患者数	332	325	296	97.9%	○		

4 収支計画

(単位:百万円)

区分		H30 計画	H30 実績	H29 実績
収益	入院収益	8,974	8,599	8,566
	外来収益	2,490	2,457	2,473
	その他医業収益	179	172	173
	医業収益計	11,643	11,227	11,213
	その他の収益	367	428	439
	収益合計	12,010	11,655	11,652
費用	給与費	5,762	5,320	5,461
	(うち退職給与金)	390	207	305
	材料費	5,191	5,175	5,208
	経費	1,271	1,545	1,318
	その他の医業費用	627	653	688
	医業費用計	12,850	12,694	12,677
	その他の費用	60	65	60
費用合計	12,911	12,759	12,737	
差引損益		△ 901	△ 1,104	△ 1,084
一般会計繰入金		1,132	1,195	1,166
当期純損益		231	91	82
経常損益		232	93	72

V 各県立病院における経営改善の取組方策
(10-1) 粒子線医療センター

項目	主な数値目標	取組内容	備考										
1 収益増加・確保対策													
患者の受入れ促進	<ul style="list-style-type: none"> 1日当たり入院患者 (単位:人/日) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>37</td> <td>38</td> <td>39</td> <td>102.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	入院患者数	37	38	39	102.7%	(1) 広報の充実による治療効果・実績のPR ① 粒子線治療の一部保険適用の積極的PR及び粒子線治療連携懇談会の開催等県内外の医療機関との連携強化による患者確保 ② ホームページの充実とパンフレット・ニュースレターの効果的な配布 ③ マスコミ等取材への積極的な対応 ④ 医療関係者等の見学受け入れ、講演の充実、周辺病院へのPRの実施 ⑤ 粒子線空白地域である四国等のがん診療拠点病院での出前講座等による情報発信	
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①								
	入院患者数	37	38	39	102.7%								
	<ul style="list-style-type: none"> 1日当たり外来患者 (単位:人/日) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来患者数</td> <td>34</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>85.3%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	外来患者数	34	29	30	85.3%		
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①									
外来患者数	34	29	30	85.3%									
<ul style="list-style-type: none"> 入院単価 (単位:円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院単価</td> <td>85,695</td> <td>76,851</td> <td>81,925</td> <td>89.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	入院単価	85,695	76,851	81,925	89.7%			
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①									
入院単価	85,695	76,851	81,925	89.7%									
<ul style="list-style-type: none"> 外来単価 (単位:人/日) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来単価</td> <td>63,350</td> <td>51,558</td> <td>68,435</td> <td>81.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	外来単価	63,350	51,558	68,435	81.4%			
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①									
外来単価	63,350	51,558	68,435	81.4%									
診療機能に見合う収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> 入院単価 (単位:円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院単価</td> <td>85,695</td> <td>76,851</td> <td>81,925</td> <td>89.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	入院単価	85,695	76,851	81,925	89.7%	(1) 治療後経過観察の実施 今後の保険収載対象がん種の拡大に向けて、より精度の高いエビデンスを蓄積していくために、これまで、紹介元病院において実施し、情報の提供を受けていた治療後経過観察を、粒子線医療センターにおいて実施 (2) がん患者指導管理の実施 がん患者の精神的なケアの重要性が増してきていることを踏まえ、がん患者に対する継続的な指導管理を実施 (3) 治療用材料（ポーラス・コリメータ等）の診療報酬措置の要望 治療用材料にかかる費用が粒子線治療料に含まれているが、粒子線治療料とは別に診療報酬で措置されるよう要望	
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①									
入院単価	85,695	76,851	81,925	89.7%									
<ul style="list-style-type: none"> 外来単価 (単位:人/日) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来単価</td> <td>63,350</td> <td>51,558</td> <td>68,435</td> <td>81.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	外来単価	63,350	51,558	68,435	81.4%			
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①									
外来単価	63,350	51,558	68,435	81.4%									
2 費用削減・抑制対策													
材料費比率の改善	<ul style="list-style-type: none"> 材料費比率の改善 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料費比率</td> <td>6.9</td> <td>6.4</td> <td>5.5</td> <td>92.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	材料費比率	6.9	6.4	5.5	92.8%	(1) 材料費の抑制 複数回使用可能な診療材料導入による材料費の縮減	
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①								
材料費比率	6.9	6.4	5.5	92.8%									
<ul style="list-style-type: none"> 経費比率の改善 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経費比率</td> <td>52.8</td> <td>60.6</td> <td>51.6</td> <td>114.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	経費比率	52.8	60.6	51.6	114.8%			
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①									
経費比率	52.8	60.6	51.6	114.8%									
経費比率の改善	<ul style="list-style-type: none"> 経費比率の改善 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経費比率</td> <td>52.8</td> <td>60.6</td> <td>51.6</td> <td>114.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	経費比率	52.8	60.6	51.6	114.8%	(1) 保守管理費用の整理 現有治療装置の老朽化対策を踏まえた保守管理費用の整理 (2) 修繕費の削減 修繕の計画的執行による修繕費の削減	
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①									
経費比率	52.8	60.6	51.6	114.8%									

3 経営指標に係る数値目標

区分		30年度 計画①	30年度 実績②	29年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	50	50	50	100.0%		
	病床利用率 (%)	73.7	76.3	78.8	103.5%		
	1日当たり入院患者数 (人)	37	38	39	102.7%		
	1日当たり外来患者数 (人)	34	29	30	85.3%		
	経常収支比率 (%)	103.3	98.1	102.8	95.0%		
財務	医業収支比率 (%)	56.9	50.2	56.6	88.2%		
	入院単価 (円)	85,695	76,851	81,925	89.7%		
	外来単価 (円)	63,350	51,558	68,435	81.4%		
	給与費比率 (%)	34.2	38.6	38.6	112.9%		
	材料費比率 (%)	6.9	6.4	5.5	92.8%		
経費比率 (%)	52.8	60.6	51.6	114.8%			
医療機能	医師派遣等件数	101	135	162	133.7%		◎
	紹介率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0%		○
	逆紹介率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0%	○	
	クリニカルパス導入状況 (種類)	90	96	90	106.7%	○	
	セカンド・オピニオン実施状況 (件数)	137	101	135	73.7%	△	
	インシデント報告件数	430	421	412	97.9%	○	
	経過観察 (電話相談) 件数	4,121	2,755	3,365	66.9%	△	
	連携病院からの通院患者数	61	65	67	106.6%	○	
外国人患者の治療実績	6	8	5	133.3%	◎		
その他	患者満足度 (%)	96.9	96.6	97	99.7%	○	
	医療相談件数	103	60	110	58.3%	▲	

4 収支計画

(単位：百万円)

区分		H30 計画	H30 実績	H29 実績
収益	入院収益	1,153	1,070	1,178
	外来収益	518	367	498
	その他医業収益	70	58	60
	医業収益計	1,741	1,495	1,735
	その他の収益	1,206	1,156	1,222
	収益合計	2,947	2,652	2,957
費用	給与費	595	578	670
	(うち退職給与金)	23	24	19
	材料費	120	95	96
	経費	920	905	895
	その他の医業費用	1,425	1,402	1,406
	医業費用計	3,061	2,980	3,067
	その他の費用	313	314	341
費用合計	3,374	3,294	3,408	
差引損益		△ 427	△ 642	△ 451
一般会計繰入金		534	580	544
当期純損益		107	△ 62	93
経常損益		110	△ 64	97

V 各県立病院における経営改善の取組方針
 (10-2) 粒子線医療センター附属神戸陽子線センター

項目	主な数値目標				取組内容	備考	
1 収益増加・確保対策							
患者の受入れ促進	・ 1日当たり入院患者 (単位:人/日)				(1) 小児がんに対する陽子線治療の保険収載について積極的にPRを行う。 小児患者家族及び一般向け公開講座、シンポジウム等の開催、小児がん患者団体等への施設見学会等を通じ、当センターの認知度を高め、患者確保へとつなげる。 (2) 県内外で開催される学会等における新施設のPRを行う。 (3) 粒子線医療センター・こども病院をはじめとする関係病院との連携強化を図る。 関係医療機関に対し、見学会及び個別訪問等により良好な関係を構築し、照会元医療施設の拡大を図る。 (4) 経過観察を当センターで実施 治療後の経過観察業務を交通の便のよい当センターで実施することで患者数を確保し、さらに粒子線医療センターとの連携により精度の高いエビデンスを蓄積していく。		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院患者数	-	-	-			-
	・ 1日当たり外来患者 (単位:人/日)						
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①			
外来患者数	48	19	3	39.6%			
2 費用削減・抑制対策							
診療機能に合う収入の確保	・ 入院単価 (単位:円)					(1) 治療後経過観察の実施によるエビデンスの蓄積により、保険収載対象がん種の拡大を図る。 (2) がん患者に対して継続的な指導管理を実施。 (3) 治療用材料(ボラス・コリメーター等)の診療報酬措置を要望。 高額治療用材料が粒子線治療料に含まれているため、国等に粒子線治療料とは別に診療報酬で措置されるよう要望していく。	
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①		
	入院単価	-	-	-	-		
・ 外来単価 (単位:人/日)							
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①	
外来単価	60,733	72,484	82,717			119.3%	
材料費比率の改善	・ 材料費比率の改善 (単位:%)				(1) 複数回使用可能な診療材料導入による材料費の抑制 複数回使用可能な診療材料及び検査試薬等を安価製品へ切り替え、材料費を縮減する。		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	材料費比率	3.4	1.8	32.1			52.9%
経費比率の改善	・ 経費比率の改善 (単位:%)				(1) 職員のコスト意識向上による光熱水費や消耗品費の縮減		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	経費比率	85.9	127.6	739.2			148.5%

3 経営指標に係る数値目標

区 分		30年度 計画①	30年度 実績②	29年度 実績	②/①	評価
業務量	病床数 (床)	—	—	—	—	
	病床利用率 (%)	—	—	—	—	
	1日当たり入院患者数 (人)	—	—	—	—	
	1日当たり外来患者数 (人)	48	19	3	39.6%	
財務	経常収支比率 (%)	68.5	51.5	12.0	75.2%	
	医業収支比率 (%)	52.2	27.6	7.1	52.9%	
	入院単価 (円)	—	—	—	—	
	外来単価 (円)	60,733	72,484	82717	119.3%	
	給与費比率 (%)	42.3	80.9	586.1	191.3%	
	材料費比率 (%)	3.4	1.8	32.1	52.9%	
医療機能	経費比率 (%)	85.9	127.6	739.2	148.5%	
	紹介率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0%	○
	逆紹介率 (%)	100.0	100.0	28.0	100.0%	○

4 収支計画

(単位：百万円)

区分		H30 計画	H30 実績	H29 実績
収益	入院収益	—	—	—
	外来収益	711	341	18
	その他医業収益	0	0	0
	医業収益計	711	341	18
	その他の収益	256	280	3
	収益合計	967	621	21
費用	給与費	301	276	108
	(うち退職給与金)	0	0	0
	材料費	24	6	6
	経費	610	435	136
	その他の医業費用	425	518	2
	医業費用計	1,360	1,235	253
	その他の費用	132	97	5
	費用合計	1,493	1,332	258
	差引損益	△ 526	△ 711	△ 237
	一般会計繰入金	56	65	10
当期純損益	△ 470	△ 646	△ 227	
経常損益	△ 470	△ 646	△ 227	

V 各県立病院における経営改善の取組方策

(1.1) 災害医療センター

項目	主な数値目標	取組内容	備考										
1 収益増加・確保対策													
患者の受入れ促進	<ul style="list-style-type: none"> 1日当たり入院患者 (単位:人/日) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>28</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>85.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	入院患者数	28	24	25	85.7%	<p>(1) 県下の消防機関、特に救急隊との顔の見える信頼関係を築くことが患者確保の基本である。そのため当センター医師がメディカルコントロール協議会の活動等に積極的に参画すること、また、救命救急士の実習教育機関として研修機会を積極的に提供することで信頼関係を構築する。</p> <p>(2) 消防署ごと当センターへの搬送患者数動向を常にモニターしていく。</p>	
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①								
	入院患者数	28	24	25	85.7%								
	<ul style="list-style-type: none"> 1日当たり外来患者 (単位:人/日) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来患者数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	外来患者数	1	1	1	100.0%		
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①									
外来患者数	1	1	1	100.0%									
診療機能に見合う収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> 入院単価 (単位:円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院単価</td> <td>135,446</td> <td>142,485</td> <td>141,941</td> <td>105.2%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	入院単価	135,446	142,485	141,941	105.2%	<p>(1) 入院単価は救命救急入院料の対象患者か否かで大きく差が生じるため、可能な限り救命救急治療を目的とした患者の受入に努める。</p>	
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①									
入院単価	135,446	142,485	141,941	105.2%									
<ul style="list-style-type: none"> 外来単価 (単位:人/日) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来単価</td> <td>500,963</td> <td>484,552</td> <td>541,112</td> <td>96.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	外来単価	500,963	484,552	541,112	96.7%			
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①									
外来単価	500,963	484,552	541,112	96.7%									
2 費用削減・抑制対策													
材料費比率の改善	<ul style="list-style-type: none"> 材料費比率の改善 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料費比率</td> <td>33.5</td> <td>28.5</td> <td>33.5</td> <td>85.1%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	材料費比率	33.5	28.5	33.5	85.1%	<p>(1) 手術時における輸血、補液の診療報酬審査時のゼロ査定（過剰使用として請求を認められないことが多い）対策を重点的に行っていく。（救命医療における補液等は、救命のため不可欠なものであるが一般診療では経験しないような量を使用せざるを得ないことが多い。）</p>	
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①								
材料費比率	33.5	28.5	33.5	85.1%									
経費比率の改善	<ul style="list-style-type: none"> 経費比率の改善 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30 計画①</th> <th>H30 実績②</th> <th>H29 実績</th> <th>②/①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経費比率</td> <td>20.2</td> <td>21.2</td> <td>20.1</td> <td>105.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①	経費比率	20.2	21.2	20.1	105.0%	<p>(1) 開院から14年が経過しているため、計画的な補修・更新により費用の軽減、診療機能への影響等のリスクの軽減を図っていく。</p>	
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①									
経費比率	20.2	21.2	20.1	105.0%									

3 経営指標に係る数値目標

(参考) 指定管理病院の業務量等

区 分		30年度 計画①	30年度 実績②	29年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	30	30	30	100.0%		
	病床利用率 (%)	92.9	80.6	84.6	86.8%		
	1日当たり入院患者数 (人)	28	24	25	85.7%		
	1日当たり外来患者数 (人)	1	1	1	100.0%		
財務	経常収支比率 (%)	102.7	96.6	93.4	94.1%		
	医業収支比率 (%)	64.2	69.0	68.8	107.5%		
	入院単価 (円)	135,446	142,485	141,941	105.2%		
	外来単価 (円)	500,963	484,552	541,112	96.7%		
	給与費比率 (%)	84.8	93.5	90.4	110.3%		
	材料費比率 (%)	33.5	28.5	33.5	85.1%		
医療機能	経費比率 (%)	20.2	21.2	20.1	105.0%		
	平均在院日数 (日)	10.0	8.9	9.1	89.0%		○
	手術件数 (件)	1,050	1,044	1,073	99.4%		○
	(うち高額手術件数)	150	170	132	113.3%	○	

4 収支計画

(単位：百万円)

区分		H30 計画	H30 実績	H29 実績
収益	入院収益	1,411	1,258	1,314
	外来収益	114	70	111
	その他医業収益	8	8	11
	医業収益計	1,533	1,336	1,436
	その他の収益	271	54	48
	収益合計	1,804	1,390	1,484
費用	給与費	1,300	1,249	1,297
	(うち退職給与金)	0	0	0
	材料費	513	381	480
	経費	310	283	289
	その他の医業費用	265	22	19
	医業費用計	2,388	1,935	2,086
	その他の費用	45	87	85
	費用合計	2,433	2,922	2,171
	差引損益	△695	△632	△687
一般会計繰入金	695	559	543	
当期純損益	0	△73	△143	
経常損益	0	△73	△143	

V 各県立病院における経営改善の取組方策

(12) リハビリテーション中央病院

項目	主な数値目標				取組内容	備考	
1 収益増加・確保対策							
患者の受入れ促進	・ 1日当たり入院患者 (単位:人/日)				(1) 地域医療連携の推進 ① 地域の医療機関との機能分担の明確化 ② 急性期病院、地域の診療所等からの患者受入れ推進 ③ 地域連携クリニカルパスの活用促進 (2) 医師確保 ① 高度・専門的なりハビリ医療を提供する当院の特色を発揮するために必要な医師の確保		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院患者数	276	273	275			98.9%
	・ 1日当たり外来患者 (単位:人/日)						
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
外来患者数	227	223	228	98.2%			
診療機能に見合う収入の確保	・ 入院単価 (単位:円)				(1) 手術件数の増 整形外科外来の予約制により、医師の手術可能時間の拡大及び手術患者の確保 (2) 入院患者のリハビリ拡充 セラピスト一人当たりのリハビリ単位数の増 (3) 診療報酬各種加算の取得		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院単価	30,454	31,907	31,027			104.8%
	・ 外来単価 (単位:人/日)						
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
外来単価	18,507	18,716	18,478	101.1%			
2 費用削減・抑制対策							
材料費比率の改善	・ 材料費比率の改善 (単位:%)				(1) 薬品費 納入業者等との価格交渉を強化するとともに、後発医薬品の採用を促進 (2) 診療材料費 高額材料費等に係る価格交渉の強化		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	材料費比率	24.3	24.8	25.9			102.1%
経費比率の改善	・ 経費比率の改善 (単位:%)				(1) 不要不急の修繕費の抑制 (2) 省エネルギー対策推進による光熱水費の節減		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	経費比率	22.9	23.1	22.8			100.9%

3 経営指標に係る数値目標

(参考) 指定管理病院の業務量等

区 分		30年度 計画①	30年度 実績②	29年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数 (床)	330	330	330	100.0%		
	病床利用率 (%)	83.6	82.8	83.3	99.0%		
	1日当たり入院患者数 (人)	276	273	275	98.9%		
	1日当たり外来患者数 (人)	227	223	228	98.2%		
財務	経常収支比率 (%)	100.2	100.2	92.6	100.0%		
	医業収支比率 (%)	85.1	92	91.2	108.1%		
	入院単価 (円)	30,454	31,907	31,027	104.8%		
	外来単価 (円)	18,507	18,716	18,478	101.1%		
	給与費比率 (%)	61.2	60.8	60.9	99.3%		
	材料費比率 (%)	24.3	24.8	25.9	102.1%		
医療 機能	経費比率 (%)	22.9	23.1	22.8	100.9%		
	紹介率 (%)	71.7	66.3	71.6	92.5%		○
	逆紹介率 (%)	57.0	59.2	56.6	103.9%		○

4 収支計画

(単位: 百万円)

区 分		H30 計画	H30 実績	H29 実績	
収益	入院収益	3,068	3,181	3,114	
	外来収益	1,025	1,017	1,030	
	その他医業収益	59	64	58	
	医業収益計	4,152	4,262	4,202	
	その他の収益	424	479	455	
	収益合計	4,575	4,741	4,657	
費用	給与費	2,541	2,615	2,583	
	(うち退職給与金)	0	0	0	
	材料費	1,007	1,057	1,087	
	経費	952	984	958	
	その他の医業費用	376	375	370	
	医業費用計	4,877	5,031	4,999	
	その他の費用	48	47	49	
		費用合計	4,925	5,078	5,048
		差引損益	△350	△337	△391
	一般会計繰入金	358	348	456	
	当期純損益	8	11	65	
	経常損益	8	11	65	

V 各県立病院における経営改善の取組方策

(13) リハビリテーション西播磨病院

項目	主な数値目標				取組内容	備考	
1 収益増加・確保対策							
患者の受入れ促進	<ul style="list-style-type: none"> 1日当たり入院患者 (単位:人/日) 				(1) 脳卒中地域連携バス及び大腿骨頸部骨折地域連携バスを推進する。 (2) 高度で専門的なリハビリ医療の提供と、当院の特色に関する情報発信を強化する。 (3) 神経難病リハセンター(仮称)を設置し、パーキンソン病等患者の安定的確保を図る。		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院患者数	95	95	96			100.0%
	<ul style="list-style-type: none"> 1日当たり外来患者 (単位:人/日) 						
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①			
外来患者数	46	44	43	95.7%			
2 費用削減・抑制対策							
診療機能に見合う収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> 入院単価 (単位:円) 				(1) 診療報酬制度に的確に対応し、当院の診療提供機能にふさわしい、各種加算を取得する。 (2) SPECT、MRI等の医療機器を有効活用する。 (3) リハビリの単位数を増やす。		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	入院単価	36,608	37,997	37,028			103.8%
	<ul style="list-style-type: none"> 外来単価 (単位:人/日) 						
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①			
外来単価	25,564	28,152	26,451	110.1%			
材料費比率の改善	<ul style="list-style-type: none"> 材料費比率の改善 (単位:%) 				(1) 薬品費を抑制する。 (2) 納入業者との価格交渉を強化する。 (3) 低価格品への切り替えを推進する。		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	材料費比率	14.2	17.3	16.0			121.8%
	<ul style="list-style-type: none"> 経費比率の改善 (単位:%) 						
区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績	②/①			
経費比率	31.6	29.3	30.4	92.7%			
経費比率の改善	<ul style="list-style-type: none"> 経費比率の改善 (単位:%) 				(1) 医療機器の整備を抑制する。 (2) 支出内容の精査等により業務委託料や研究研修費の適正化を図る。 (3) 施設の老朽化に対応し修繕を行う。 (4) 電気料金の入札等により光熱費を抑制する。		
	区分	H30 計画①	H30 実績②	H29 実績			②/①
	経費比率	31.6	29.3	30.4			92.7%

3 経営指標に係る数値目標

(参考) 指定管理病院の業務量等

区 分		30年度 計画①	30年度 実績②	29年度 実績	②/①	評価	
業務 量	病床数 (床)	100	100	100	100.0%	/	
	病床利用率 (%)	95.5	94.9	95.8	99.4%		
	1日当たり入院患者数 (人)	95	95	96	100.0%		
	1日当たり外来患者数 (人)	46	44	43	95.7%		
財 務	経常収支比率 (%)	100.7	100.6	103.7	99.9%		
	医業収支比率 (%)	80.3	90.7	91.0	113.0%		
	入院単価 (円)	36,608	37,997	37,028	103.8%		
	外来単価 (円)	25,564	28,152	26,451	110.1%		
	給与費比率 (%)	67.2	63.6	65.7	94.6%		
	材料費比率 (%)	14.2	17.3	16.0	121.8%		
医療 機能	経費比率 (%)	31.6	29.3	30.4	92.7%		
	紹介率 (%)	78.8	68.6	73.7	87.1%		○
	逆紹介率 (%)	108.4	119.5	98.7	110.2%		○
	回復期病棟在宅復帰率 (%)	74.4	79.7	80.0	107.1%		○
	P Tリハビリ件数 (単位)	82,271	75,523	79,402	91.8%		○
	O Tリハビリ件数 (単位)	65,655	68,588	65,772	104.5%		○
	S Tリハビリ件数 (単位)	40,933	42,172	40,616	103.0%	○	
そ 他	認知症鑑別診断件数 (人)	1120	1157	1170	103.3%	○	
	脳卒中地域連携パス件数 (人)	197	159	169	80.7%	○	
	認知リハビリ件数 (人)	4,661	4,318	4,229	92.6%	○	
	音楽療法件数 (人)	3,981	3,713	3,589	93.3%	○	
	園芸療法件数 (人)	2,007	1,867	2,016	93.0%	○	
	認知症専門医療相談件数 (人)	2,719	2,632	2,575	96.8%	○	
	短時間通所リハ件数 (人)	1,355	1,147	1,221	84.6%	○	

4 収支計画

(単位: 百万円)

区分		H30 計画	H30 実績	H29 実績
収 益	入院収益	1,262	1,317	1,294
	外来収益	297	303	280
	その他医業収益	33	27	22
	医業収益計	1,592	1,646	1,597
	その他の収益	221	221	230
	収益合計	1,813	1,868	1,827
費 用	給与費	1,035	1,058	1,049
	(うち退職給与金)	0	0	0
	材料費	269	285	256
	経費	506	482	486
	その他の医業費用	185	181	177
	医業費用計	1,994	2,005	1,967
	その他の費用	34	29	30
	費用合計	2,028	2,034	1,997
差引損益		△ 215	△166	△170
一般会計繰入金		272	176	244
当期純損益		57	10	74
経常損益		57	10	74